

図44 築地 (SD80010・80014) 平面及び遺物出土状況

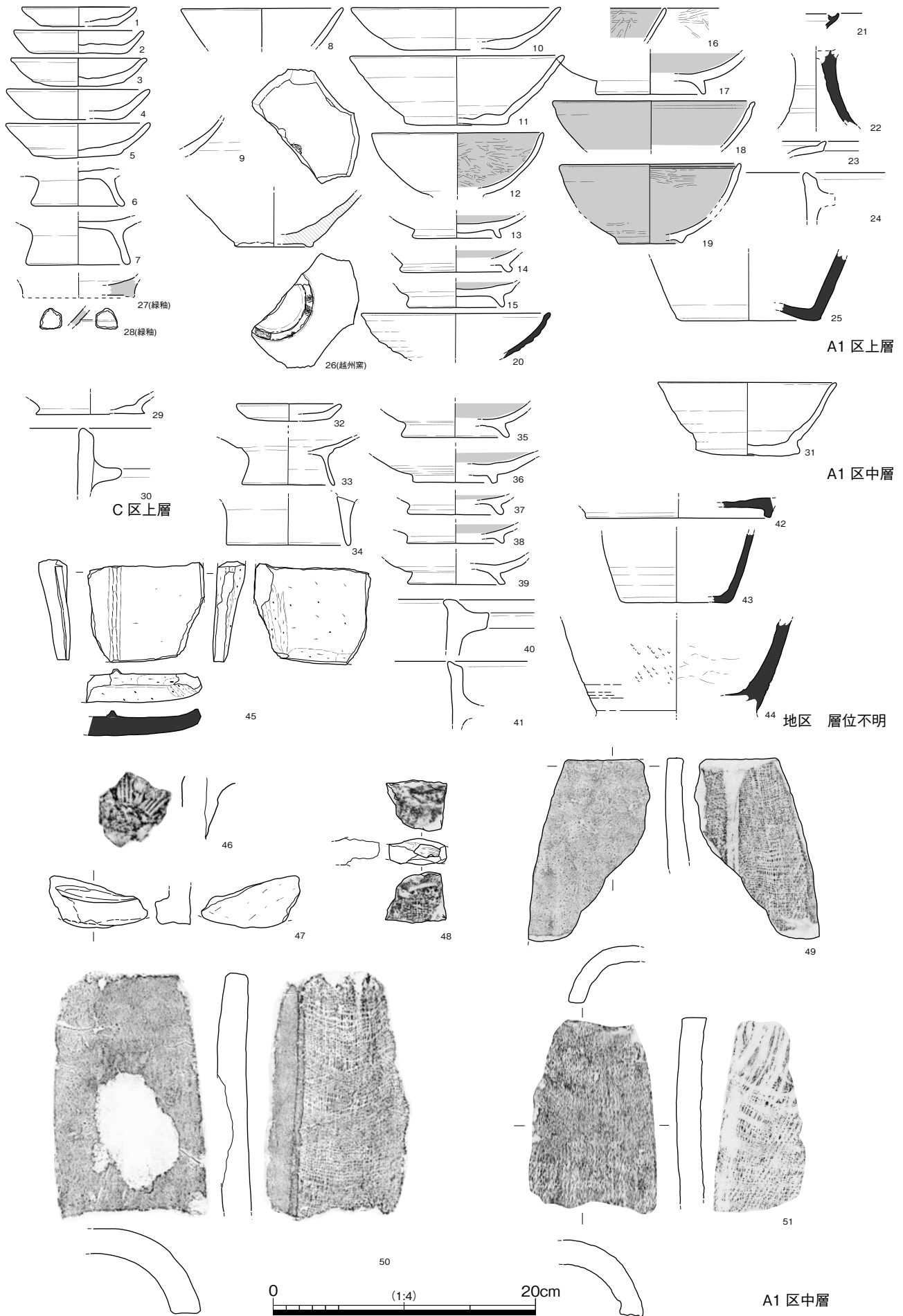


図 45 築地 (SD80010) 出土遺物 (その 1)

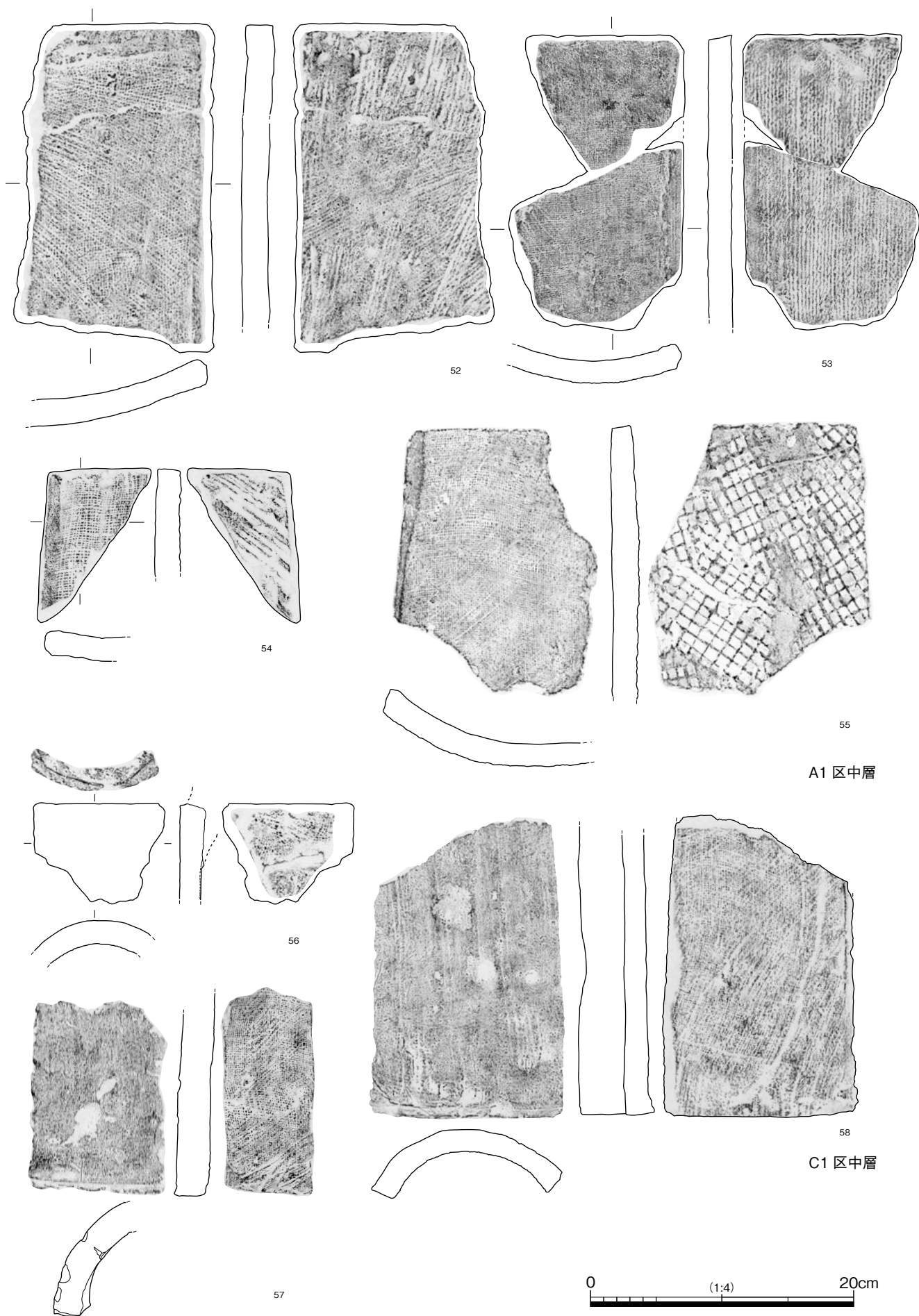


図 46 築地 (SD80010) 出土遺物 (その 2)

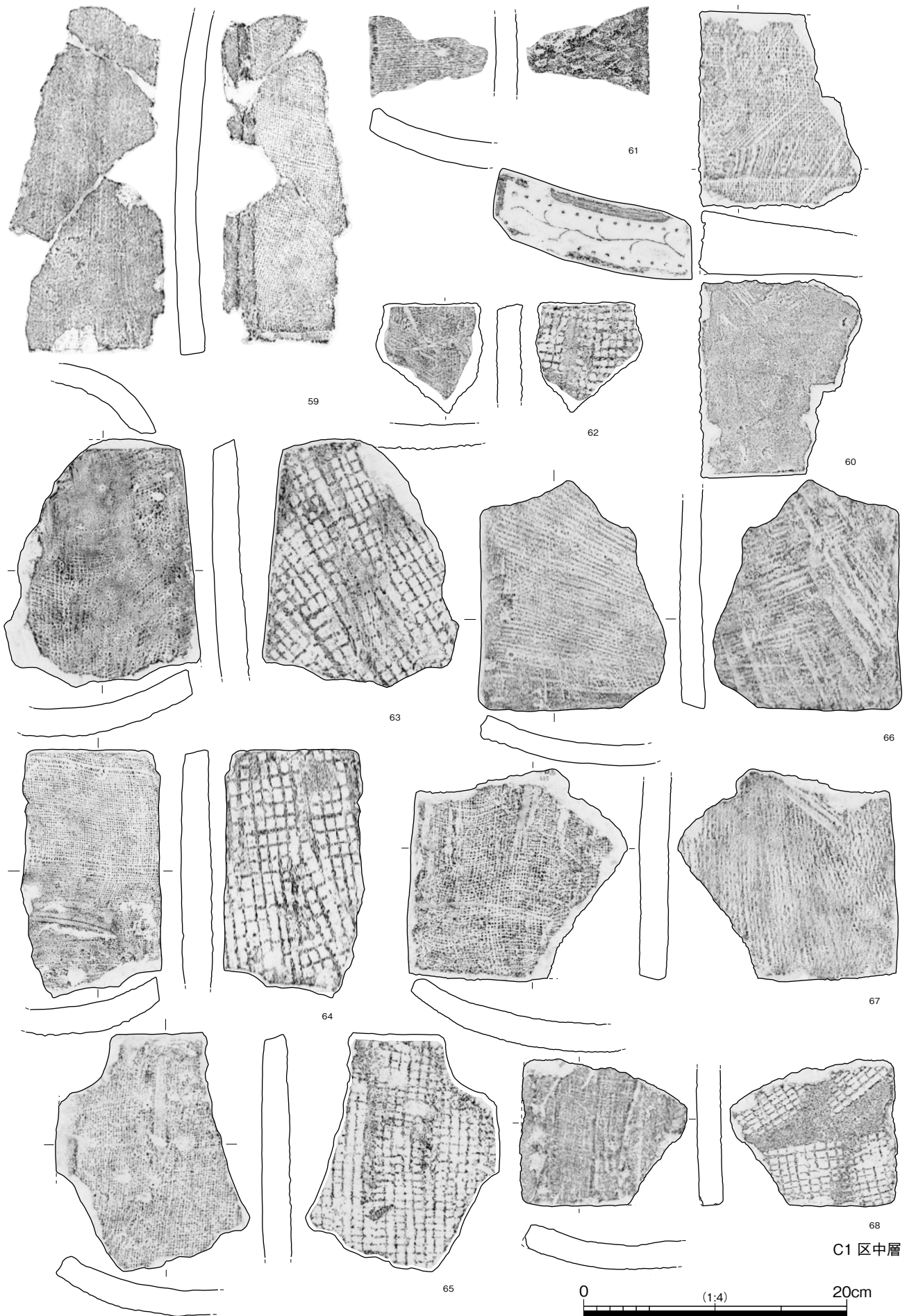


図 47 築地 (SD80010) 出土遺物 (その 3)

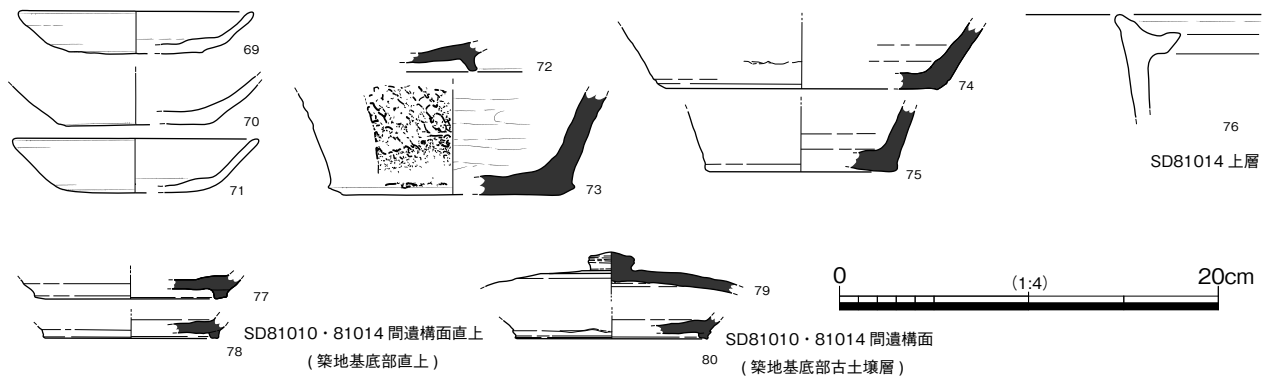


図 48 築地 (SD80014) ・ 基底部出土遺物

以上、SD80010 と SD80014 を中心にした埋没状況から、本築地は、8 世紀末葉を時間的な上限とし、10 世紀中葉に廃絶した後、埋没と再掘削を繰り返しながら 12 世紀には完全に平坦化すると考えられる。築地としての機能が失われる 10 世紀中葉の以後も溝として最低 2 回の再掘削が行われている点からみて区画施設としての機能が継続していた可能性は残るが、2 条同時併存する状況はみられないことから、本来的な機能が変質したものと考えておきたい。

図 45-1 ～ 25 は SD80010 の A1 グリッド上層から出土した資料である。26 は越州窯系青磁碗である。27 は軟質焼成



写真 46 SD80010 下層の讃岐国府式軒瓦

の緑釉陶器碗であり、9 世紀末葉から 10 世紀初頭の近江産あるいは防長産の可能性はある。28 は緑釉陶器碗の小片。焼成の雰囲気や釉調は 27 と共通しており、同一個体である可能性が高い。図 45-29. 30 は SD80010 の C1 グリッド上層からの出土遺物である。図 45-31 は SD80010 の A1 グリッド中層から出土した完形の土師質土器杯。図 45-32 ～ 45 は SD80010 の A1 グリッドから出土した資料であるが、断ち割り等により帰属する層位が不明な一群である。45 は須恵器風字硯。図 45-46 ～ 51、図 46-52 ～ 55 は SD80010 中層から出土した瓦である。軒丸瓦 46 は瓦当部の小片であり、中房と内区が僅かに残されるのみであり、型式不明とせざるを得ない。47 は軒丸瓦の瓦当外区を中心とした小片で、素文の外縁と内縁に僅かに文様がみられるが、型式は判別できない。48 は軒丸瓦の丸瓦部の小片。擬口縁となる先端部には、瓦当貼り付けに伴うへら描きを確認できる。50 ～ 51 は行基式丸瓦、52 ～ 55 は凸面縄目タタキ・格子タタキによる平瓦。図 46-56 ～ 58、図 47-59 ～ 68 は SD80010 の C1 グリッド中層から出土した瓦である。60 は讃岐国府式軒平瓦である。瓦当部内区は簡略化された均整唐草文であり、外区内縁の珠文との間に界線はみられない。内区唐草文の状態からみて、瓦当部は 1/2 程度残存しているとみられる。図 48-69 ～ 76 は SD80014 上層からの出土遺物である。土師質土器皿 (図 48-69) や杯 (70. 71) から 12 世紀代の資料と考えられる。図 48-77. 78 は築地基底に残された古土壌層直上から出土した須恵器杯。図 48-79. 80 は同古土壌層から出土した須恵器蓋・杯である。

SD80010 から出土した瓦の総量について、表 5. 6 にまとめる。瓦の分類については、既刊の調査概報 (香川県埋文セ 2013) を参照していただくこととし、ここでは数量のみ提示しておきたい。SD80010 からは総重量で 224. 24kg、隅数計測法で 65 点の瓦が出土した。丸瓦と平瓦の比は重量で 3. 4:6. 6、個体数で 3. 2:6. 8 とよく似た数値を示している。SE80001 (図 49. 50)

調査区南西部で検出した井戸であり、SD80001 を切り込む。掘方上面の平面形は、長軸約 3m 短軸 2. 4m を測る不整な楕円形を呈し、断面は漏斗状に上部部分が大きく開く。下層の水溜め部には底面に砂岩礫を敷き詰めた後、裏込め土内に 2 段に分けて砂岩礫を配しながら直径約 0. 4 m 高さ約 0. 3m の曲物を埋置し井戸枠としている。上層下位及び曲物内には、埋め戻しに伴い破壊・崩落したとみられる板材と礫群が検出されていることから、下位の 2 段の曲物の上位に横板組の井戸枠が存在していたと考えられる。

図 50-81 ～ 99 は上層の井戸枠の残骸とみられる板材とともに出土した資料である。図 50-100 ～ 108 は、下層の曲

物内から出土資料、図 50-109 ~ 114 は底面の礫群に伴って出土した一群である。上層出土の土師質土器皿（図 50-81 ~ 86）と底面の礫群に伴って出土した土師質土器皿（図 50-109 ~ 111）に大きな時間差が感じられない。これらの土師質土器皿や須恵器椀（図 50-89 ~ 93. 106）の形態からみて、本井戸は 13 世紀前葉から中葉に機能したと考えておきたい。

	軒丸瓦	丸瓦(有段)	丸瓦(無段)	丸瓦(段不明)	軒平瓦	平瓦桶巻作格子スリ溝	平瓦桶巻作格子(小)	平瓦桶巻作格子(大)	平瓦一枚作格子(大)	平瓦一枚作格子(小)	平瓦一枚作斜格子(大)	平瓦一枚作斜格子(小)	平瓦一枚作平行	平瓦一枚作スリ溝	平瓦一枚作斜格子(小)	平瓦不明	合計	
個体数	5	1	7	12	1	1	1	1	4	3	1	21	1	1	2	1	2	65
重量(kg)	0.44	0.80	12.00	58.05	1.05	1.21	0.56	1.16	16.56	9.38	0.30	8.84	0.48	0.22	10.12	0.74	13.48	224.24

表 7 SD80010 瓦組成表

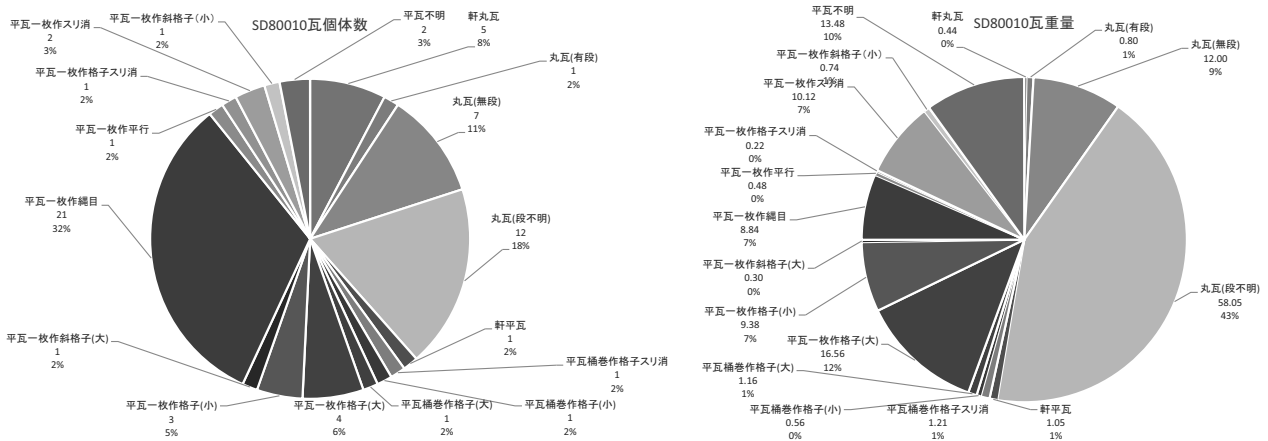


表 6 SD80010 瓦組成グラフ

SD80001 (図 42. 51)

調査区南西部から北東部へ抜ける大溝である。上面幅約 2.5 ~ 3m 深さ 1.5m を測り、暗灰色シルト~粘土で埋没する。SD80008 を除くすべての遺構に切られる。前述した通り、29 次調査 SD31 の延長部と考えられ低地帯 2 に開削された排水路と考えられ、流下方向は地形に沿うものと考えられる。土師質土器杯（図 51-115）青磁碗（図 51-116）は最上層から出土していることから包含層 6 ~ 7 層に伴う資料の可能性が高い。この他に時期決定が可能な出土遺物はみられないが、29 次調査の所見から、8 世紀代の開削・機能が想定される。

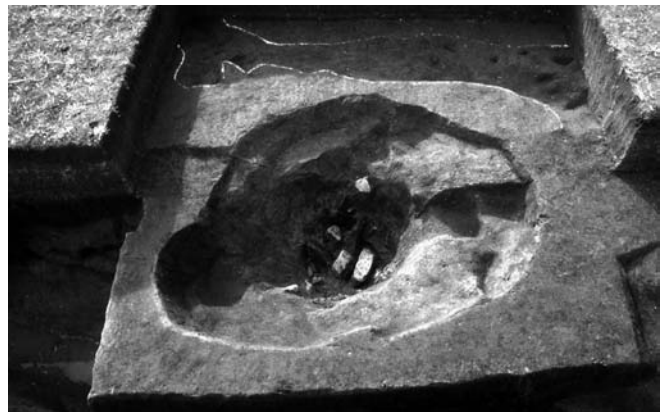


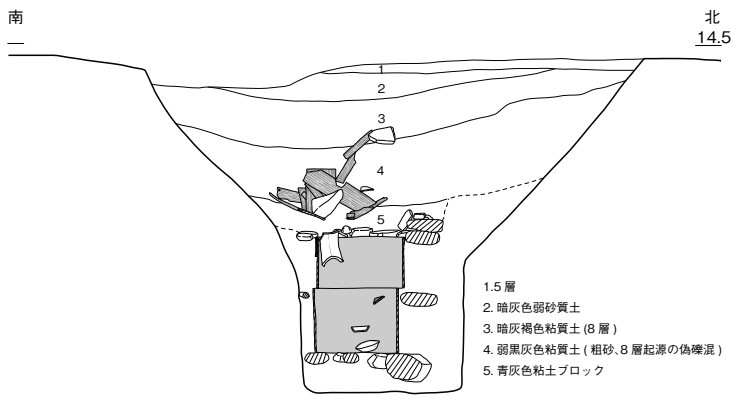
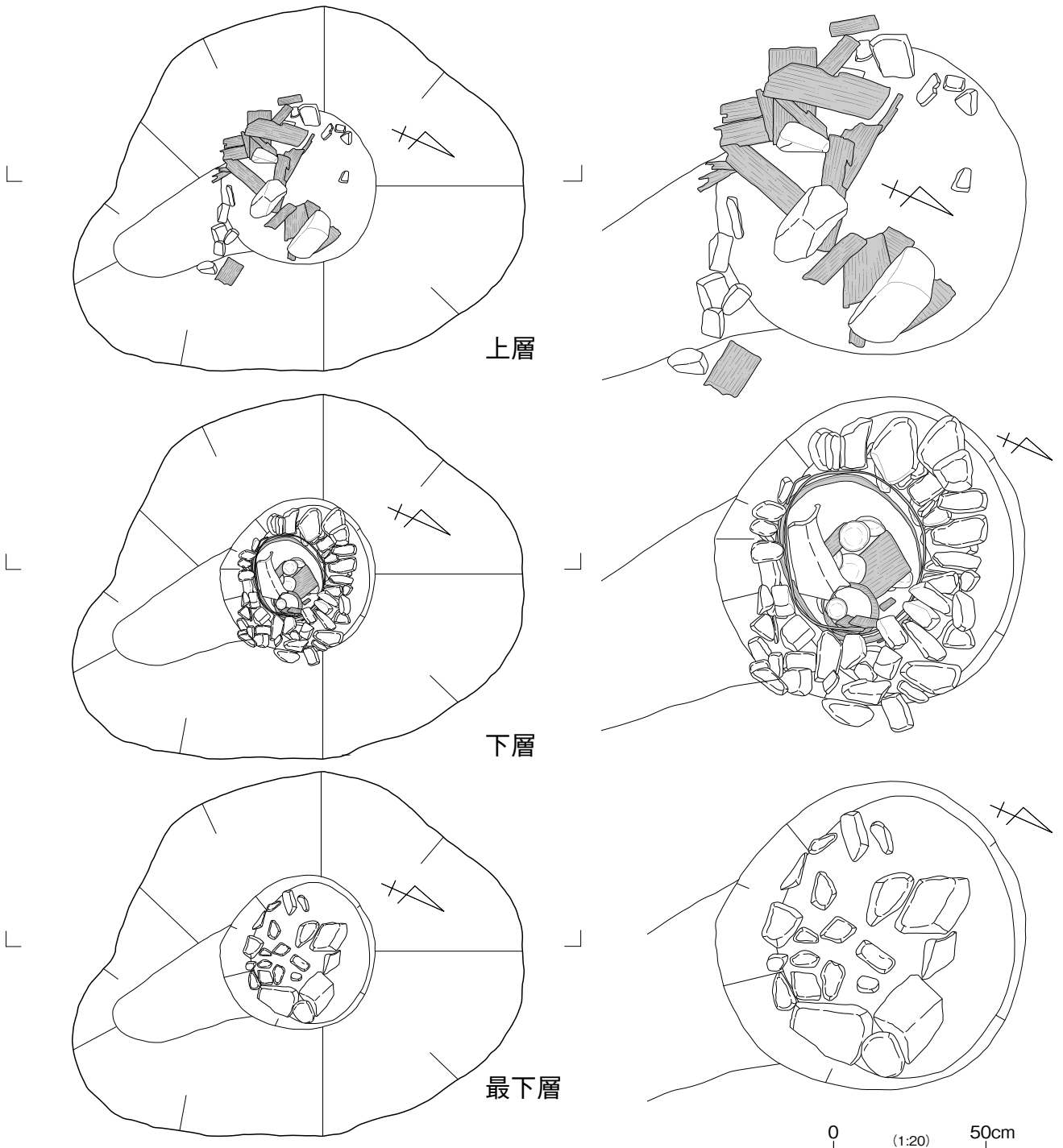
写真 47 SE80001 全景 東から



写真 48 SE80001 底面の礫群



写真 49 SE80001 下層の曲物と裏込の石組



- 1.5層
- 2. 暗灰色弱砂質土
- 3. 暗灰褐色粘質土 (8層)
- 4. 弱黒灰色粘質土 (粗砂, 8層起源の偽礫混)
- 5. 青灰色粘土ブロック

0 (1:40) 1m

図 49 SE80001 平・断面

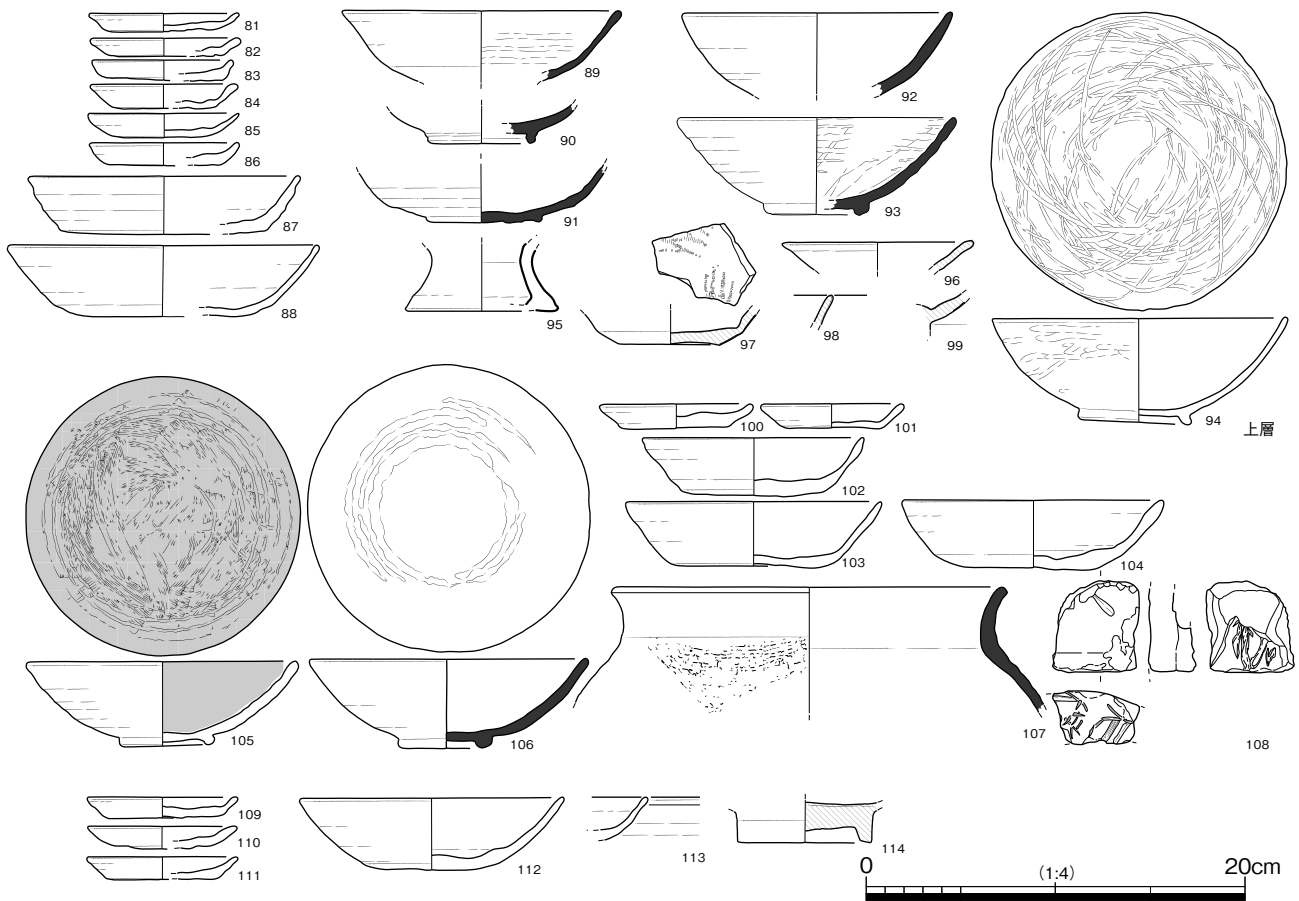


図 50 SE80001 出土遺物

SD80008 ( 図 42 )

調査区北東部の C3 グリッドを中心として検出された円形周溝である。SD80009 を切り SD80001 に切られる。時期決定可能な出土遺物はみられないが、SD80001 に切られる点からみて、8 世紀以前の溝と考えられる。溝によって囲まれる内周の直径が約 8m に達することや溝幅等から、竪穴住居の外周溝と考えられる。

SD80002 他 ( 図 51 )

調査区中央部から南部かけて小溝を多く確認している。SD80002 は、SD80001 に併走する形で南西から北東方向に流下するが、それ以外は条里地割の方向に合致している。埋没土や検出面、出土遺物からみて 12 ～ 13 世紀代に属する小溝群であり、SE80001 をはじめとした周辺に検出された柱穴群 ( 建物 ) に伴うものとみられる。

包含層出土遺物 ( 図 51 )

包含層出土遺物については、代表的な資料のみ図化している。図 51-147 ～ 150 は 4 層出土遺物。図 51-147 は緑釉陶器段皿であり、9 世紀後半の猿投窯産とみられる。148 は灰釉陶器椀であり、10 世紀代の美濃産と考えられる。図 51-151 ～ 153 は 5 層出土遺物。151 は須恵器風字硯の小片。軟質焼成で脚部と硯面が辛うじて残る小片である。152 は近江産の緑釉陶器椀であり、9 世紀末葉から 10 世紀初頭に比定される。図 51-154 ～ 169 は 6 層出土遺物。165 は灰釉陶器椀であり、美濃産の 10 世紀代の所産とみられる。166 の緑釉陶器は素地に黒化層が残り、防長産の可能性もある。167 は灰釉陶器壺であり、10 世紀代の猿投窯産に比定される。図 51-170 ～ 178 は 7 層出土遺物である。須恵器蓋 ( 図 51-170 ) は天井部に 1 条の沈線をもつ。172 の緑釉陶器椀は近江産の 10 世紀の所産とみられる。173 は緑釉陶器皿。9 世紀末葉から 10 世紀初頭の近江産と考えられる。174 は灰釉陶器椀であり、10 世紀代の美濃産とみられる。175 は滑



写真 50 SD80001 ( 低地帯 ) 東から



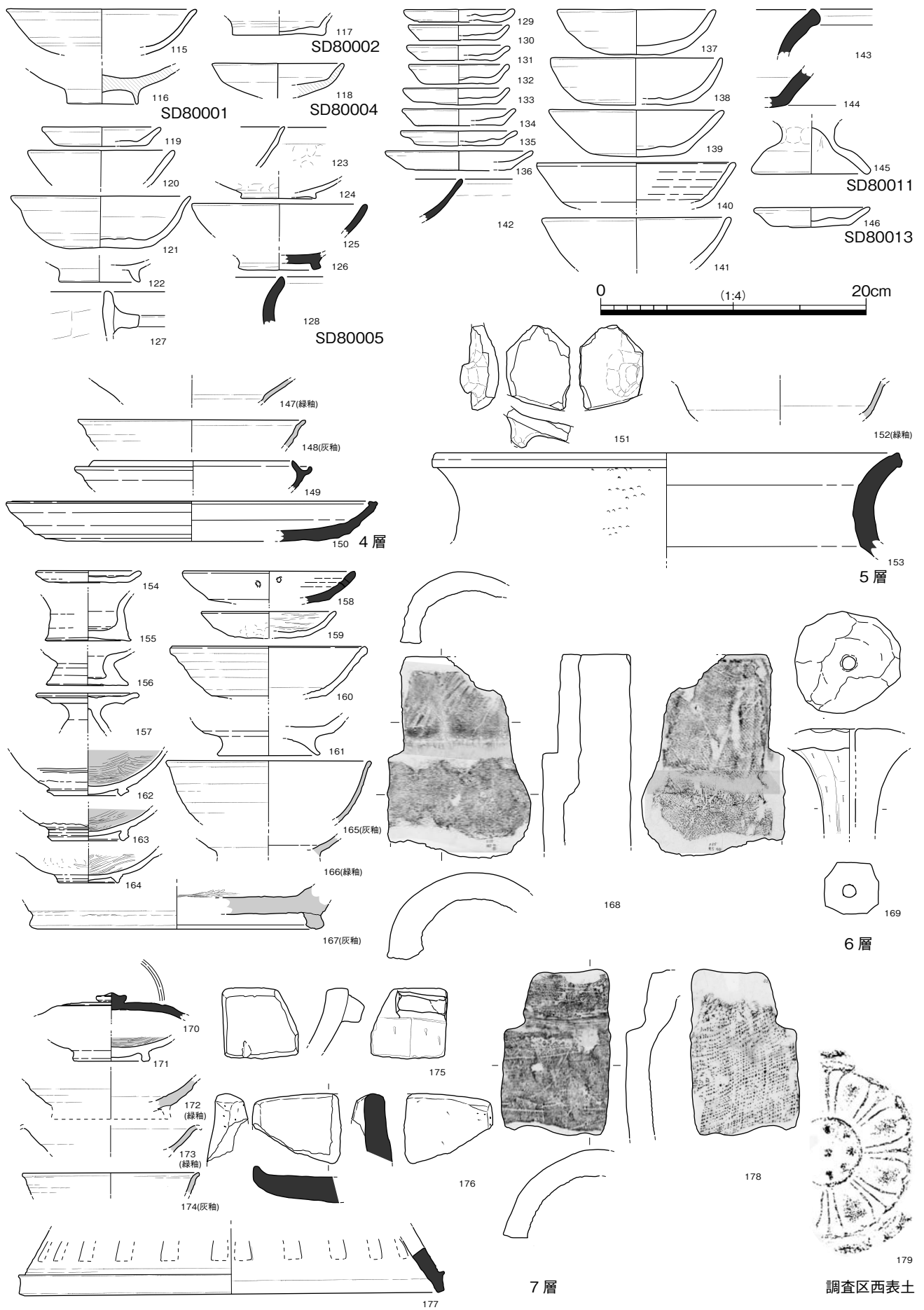


図 51 SD80001 他・包含層出土遺物

石製の石鍋。176 は須恵器風字硯、177 は須恵器円面硯である。

#### 4. 小結

本次調査では、調査区北部における 8 世紀末葉から 10 世紀中葉にかけて機能したと考えられる築地や、南部の低地帯 2 の 11 世紀までの埋没とその後の遺構形成など地形及び土地利用に係る重要な資料を得ることができた。築地によって圍繞される国衙については、低地帯 2 との関係からみて調査地北側に求めることが妥当である。その場合は、6 次調査地を含めるかどうかの問題となるが、間に低地帯 3 を挟むことから、それぞれ別の国衙域を形成する可能性が高いと考えられる。南海道推定ラインの問題を含めて、今後の調査によって検証が必要である。

### 第 7 節 8 次調査（昭和 56 年度）の調査

#### 1. 概要（図 51）

8 次調査地は南西から北西方向へ傾斜する麓屑面であり、調査区北側には西側の城山裾を開析する低地帯 6 の存在が予想される（図 7）。推定国庁域の中では最も北側に位置する。調査の方法は、東西・南北方向に幅約 4m のトレンチを 2 本設定して遺構状況の確認を行い、部分的に調査区を拡張した。調査の結果、平安期から鎌倉期の溝を中心とした遺構群と 9 世紀から 10 世紀の緑釉・灰釉陶器を多く含む遺物包含層を検出した。調査範囲内で建物遺構は明確ではないが、多量の施釉陶器群や墨書土器、硯などの遺物は、国府域の北方への広がりや近接する位置での国衙・国司館等の存在を示すものとして注目される成果が得られた。調査前の土地利用は水田である。

#### 2. 層序（図 53. 54）

現在の耕作土である 1 層から 6 層までは、近世以降の連続する旧耕作土である。調査区西側の E4 グリッド以西や、南側の I5 グリッド以南では、現況での水田面が一段高くなっているが、この段差は 1～6 層にみられる近世以降の水田面造成に伴って生じたものとみられる。7・8 層は暗青灰色砂質土と黒褐色粘質土であり、色調を違えてはいるが麓屑物である粗砂から中粒砂を多く含む点で共通しており、連続して形成された遺物包含層と考えることができ、SD81009. 81010. 81012 を除いた他の遺構は、7・8 層上面で検出された。また、本層準は、国府域のほぼ全域で確認され概ね 11 世紀から 12 世紀までの遺物を含む包含層に比定される。7・8 層は、基盤層である黄褐色粘土の傾斜に沿う形で、北部や東部では層厚を増していく。調査区北端となる SD81008 部分の断面（図 55）では 8 層と基盤層である黄褐色粘土との間に 9 層とする黒褐色粘土がみられるが、9 層は麓屑物の含有の差で 8 層と区別されるものであり、両者は同一層位とみてよい。8・9 層から出土した遺物は 10 世紀以前の資料が主体となるが、12 世紀まで下る資料も若干量みられる。6～9 層で出土した施釉陶器等の遺物は、基盤層上面での建物造営などの遺構形成が希薄であることから、12 世紀代の広範囲に及ぶ削平等に伴い、調査地近隣から二次的に流入した資料であると考えられる。

図 54-1～11 は 3～5 層出土遺物で、特徴的な遺物のみ図化した。1 は緑釉陶器碗で、9 世紀末葉から 10 世紀初頭の美濃産、あるいは近江産とみられる。2 の緑釉陶器碗は、洛北産で 9 世紀後半に比定される。3 は蛇の目高台をもつ緑釉陶器碗であり、洛北産の 10 世紀代の所



写真 51 8 次調査地北半部全景 南から



写真 52 標準土層（E4 北壁）南から

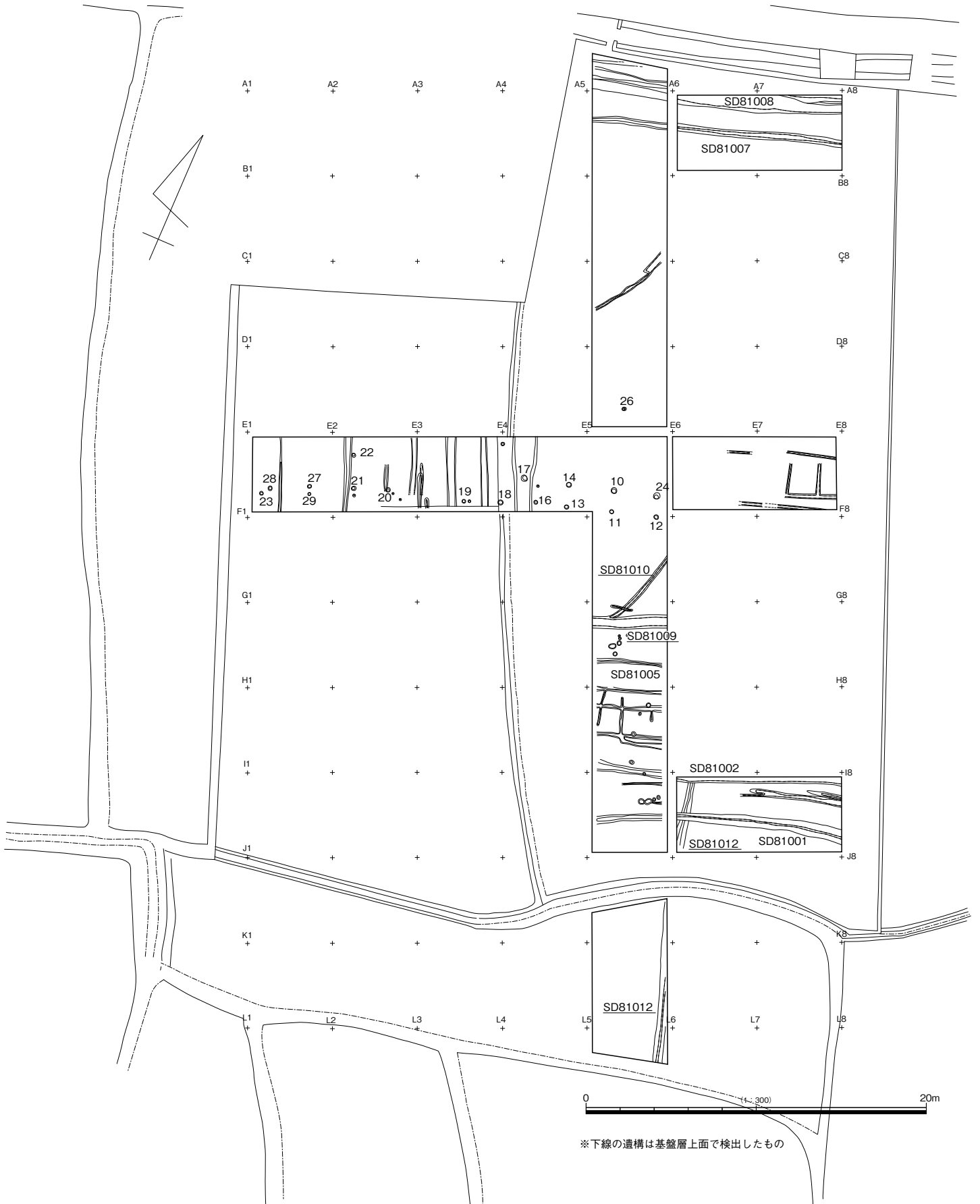


図 52 8 次調査平面

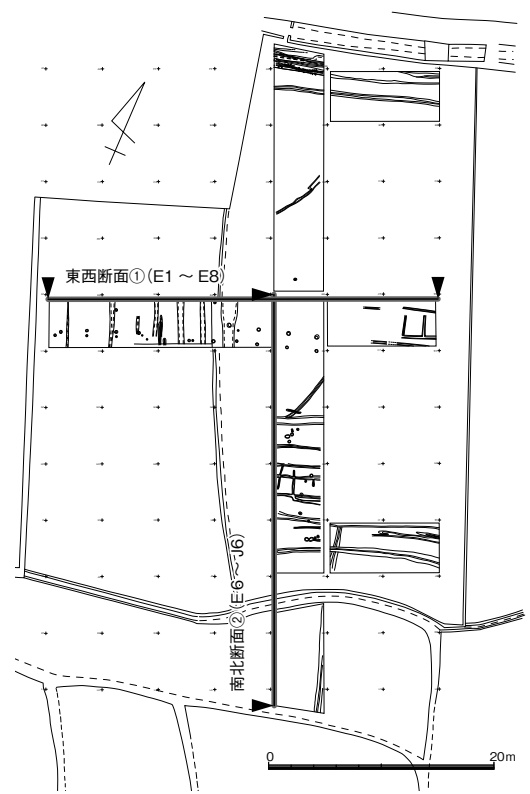
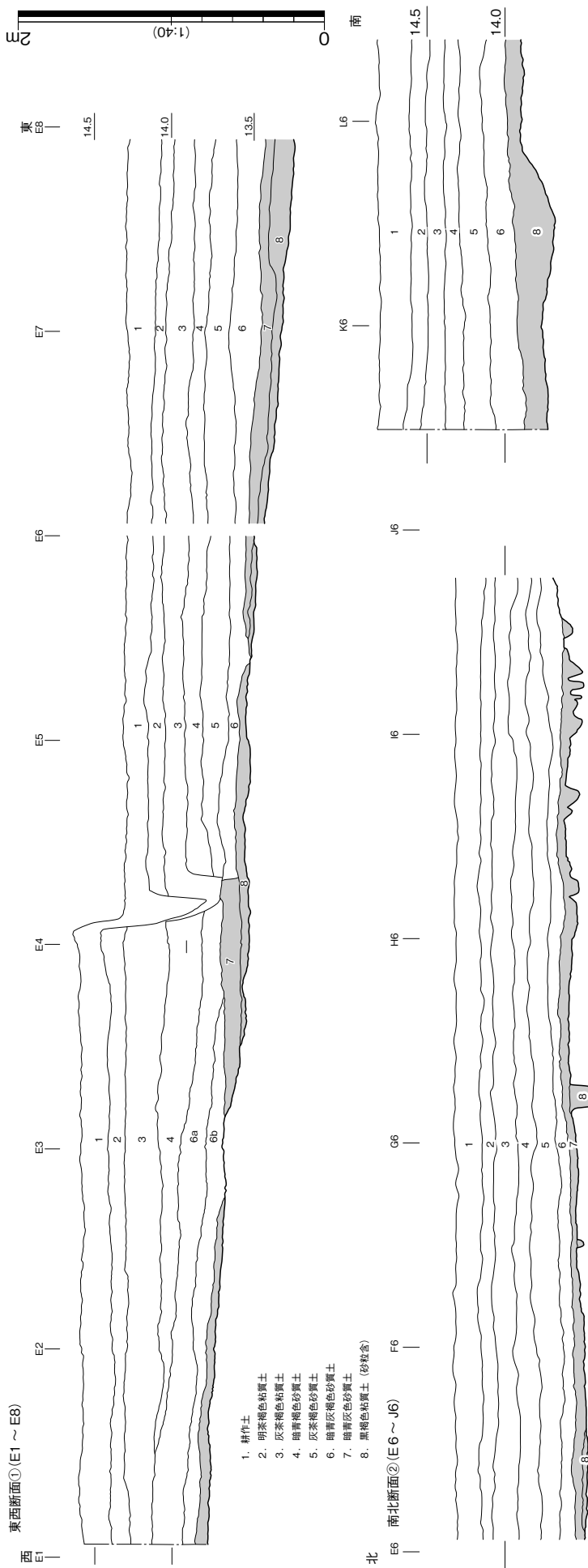


図 53 8次調査断面

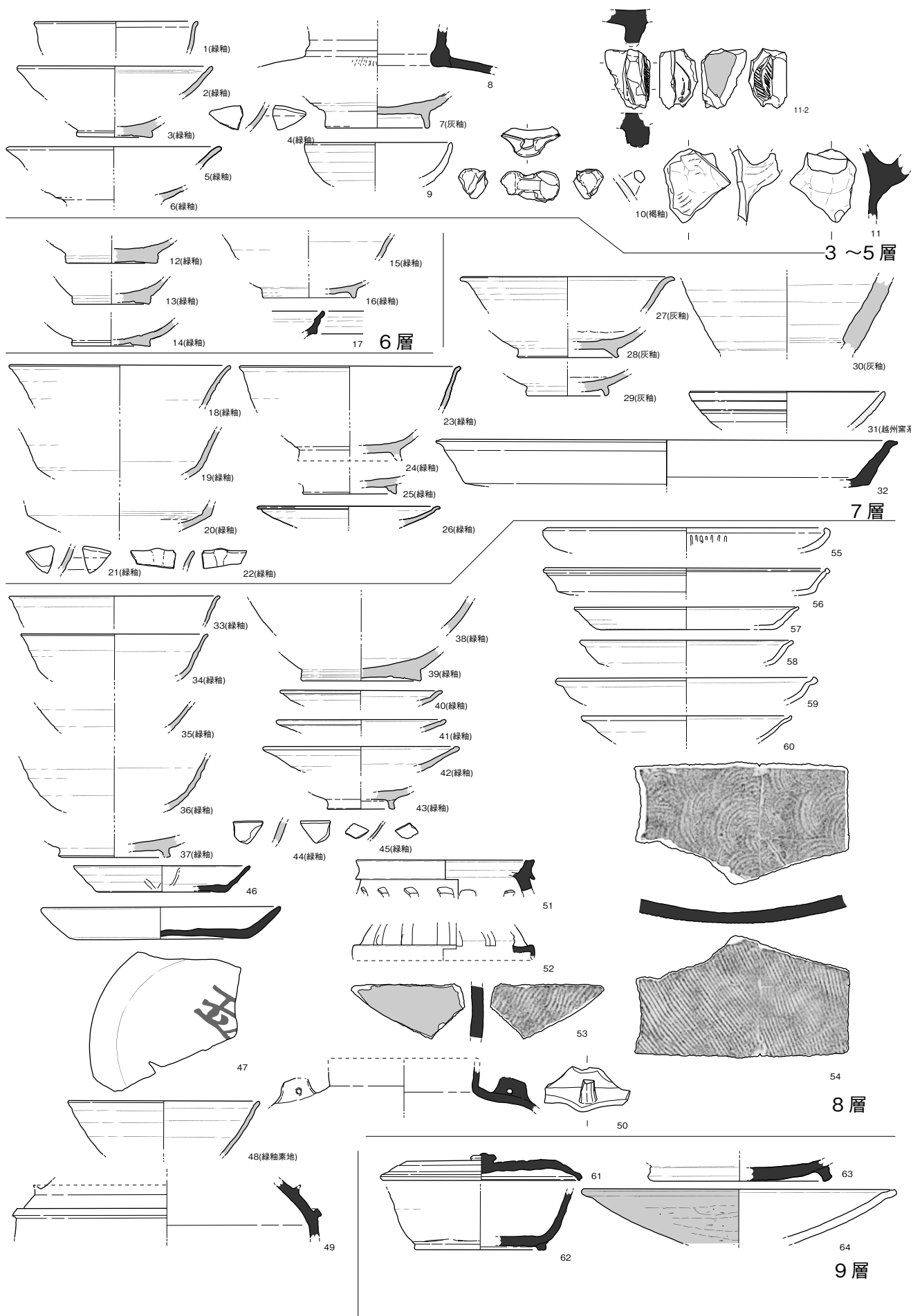


图 54 包含層出土遺物

産と考えられる。4は小片ながら猿投窯産の緑釉陶器椀とみられる。5.6は美濃産、あるいは近江産の緑釉陶器椀の小片である。7は灰釉陶器椀であり、美濃産の10世紀代の所産であろう。10は褐釉陶器四耳壺。11は須恵器双耳壺となる可能性が高い。図54-12～17は6層出土遺物。12の緑釉陶器椀は、洛西産の9世紀後半に比定される。13は洛北産の緑釉陶器椀、14.15の緑釉陶器椀は洛西産とみられる。16は篠産の緑釉陶器椀であり、10世紀中葉に比定される。図54-18～32は7層出土遺物。18の緑釉陶器椀は洛西産で9世紀末葉。19は篠産の9世紀末葉から10世紀初頭の緑釉陶器椀である。20は体部に明瞭な稜線をもつ緑釉陶器椀であり、猿投窯産の9世紀後半に比定される。21は緑釉陶器椀の小片で、10世紀の洛西産とみられる。22は緑釉陶器輪花椀であり、篠産の9世紀末葉から10世紀初頭の所産と考えられる。緑釉陶器椀(23)は洛西産で9世紀末葉から10世紀初頭の年代が想定できる。輪高台をもつ緑釉陶器椀(24)は美濃産、あるいは近江産の9世紀末葉から10世紀初頭の所産とみられる。25は貼り付け高台の内面に沈線をもつ緑釉陶器椀であり、10世紀代の近江産である。緑釉陶器皿(26)は9世紀後半の美濃産とみられる。27.28は猿投窯産の灰釉陶器椀であり、27は口縁部形態から9世紀前半に遡る可能性がある。29は猿投産、あるいは美濃産の灰釉陶器椀であり、形態から10世紀に下ると考えられる。30は灰釉陶器壺であり、猿投窯産あるいは美濃産の10世紀の所産と考えられる。図54-33～60は8層出土遺物。緑釉陶器椀(33)は美濃産の9世紀末葉から10世紀初頭の年代が想定される。34は緑釉陶器椀であり、篠産の10世紀の所産と考えられる。緑釉陶器椀(35)は洛西産、緑釉陶器椀(36)は篠産とみられる。37は緑釉陶器椀であり、猿投窯産の9世紀後半代の所産とみられる。38は洛北産の緑釉陶器椀、39は洛西産の9世紀後半の資料と考えられる。緑釉陶器皿(40～42)は、40が篠産、41.42は洛西産であり、いずれも9世紀後半の資料とみられる。緑釉陶器皿(43)は素地に黒化層が残されることから、防長産の可能性が高い。緑釉陶器椀(44)は洛西産、緑釉陶器皿(45)は篠産とみられるが、小片の為、時期を絞り込むことが困難である。須恵器皿(47)は、外底面に「盃」の墨書が認められる。双耳壺の可能性のある須恵器壺(49)は西播磨相生・龍野窯跡群の落矢ヶ谷6号窯出土品に類例がある。51.52は須恵器円面硯。53.54は須恵器甕の胴部内面を硯面として転用する。転用硯(54)は、破断面に磨滅が及ぶことから、転用後の破片形状を留めている可能性がある。土師器皿(59.60)は、口縁部形態からみて京都系とみられ、10世紀初頭の平安京Ⅱ期新段階の平安宮左兵衛府跡SD1出土資料などに類例がみられる。図54-61～64は調査区北部のD5グリッド以北に分布する9層出土資料である。畿内系土師器高杯(64)は外面に赤彩が認められる。

SD81007・81008(図55.56)

調査区北端で検出した2条の併行する溝である。SD81008北側に隣接する現水路と里道は条里地割の東西阡陌線に合致するもので、両溝ともこれに併走する形を採る。SD81007.81008ともに7層上面において検出されているが、SD81008は数回の浚渫を受けているようであり、下層上位が掘り込み面を若干違えて8層上面において掘方が検出されている。

SD81007は上面幅約0.5m深さ約0.3mの小溝であり、上層とする暗灰色粗砂で埋没している。出土遺物には、上層出土資料(図56-92～96)と下層出土資料(図56-97～103)があり、両層位ともに土師質土器台付皿(図56-93)、黒色土器椀(図56-102.103)など12世紀代の資料が含まれ、時間差が感じられず、機能時期についてはこれらの資料が示す年代を大きくは遡らない可能性が高い。一方でSD81008については、上層の7層上面では上面幅約1m深さ約0.2mで東西方向に約15m検出された後、7層を除去した段階ではやや北側へ流路位置をずらして掘方が8層上面において再び検出された。下層とした8層上面段階では、上面幅約1.8m深さ0.4mを測るなど7層上面における上層と比較して規模が大きい。下層上位にみられる灰色粗砂によって埋没している状況が窺えるが、底面形状に凹凸がみられることから、下層の段階においても数回の浚渫を受けている可能性がある。また、上層の粗砂層との不整合が著しいことを踏まえると、数回の浚渫を経ながら徐々に埋没していき、上位の粗砂層によって完全に埋没したことが想定できるのではないだろうか。図56-104～127は上層出土資料、図56-128～149は下層上位の粗砂層出土資料、図56-150～152は下層下位からの出土資料である。上層出土の土師質土器小皿(104～106)は13世紀後半まで下る資料とみられる。113は緑釉陶器段皿であり、猿投窯産の9世紀後半代の所産とみられる。緑釉陶器椀114は小片ながら猿投窯産の可能性が高い。これらは下層からの混入品とみられる。下層上位出土資料の内、土師質土器小皿(128)は12世紀代と推定されるが、他の須恵器類(134～146)は9世紀後葉から10世紀の資料が中心となる。131の緑

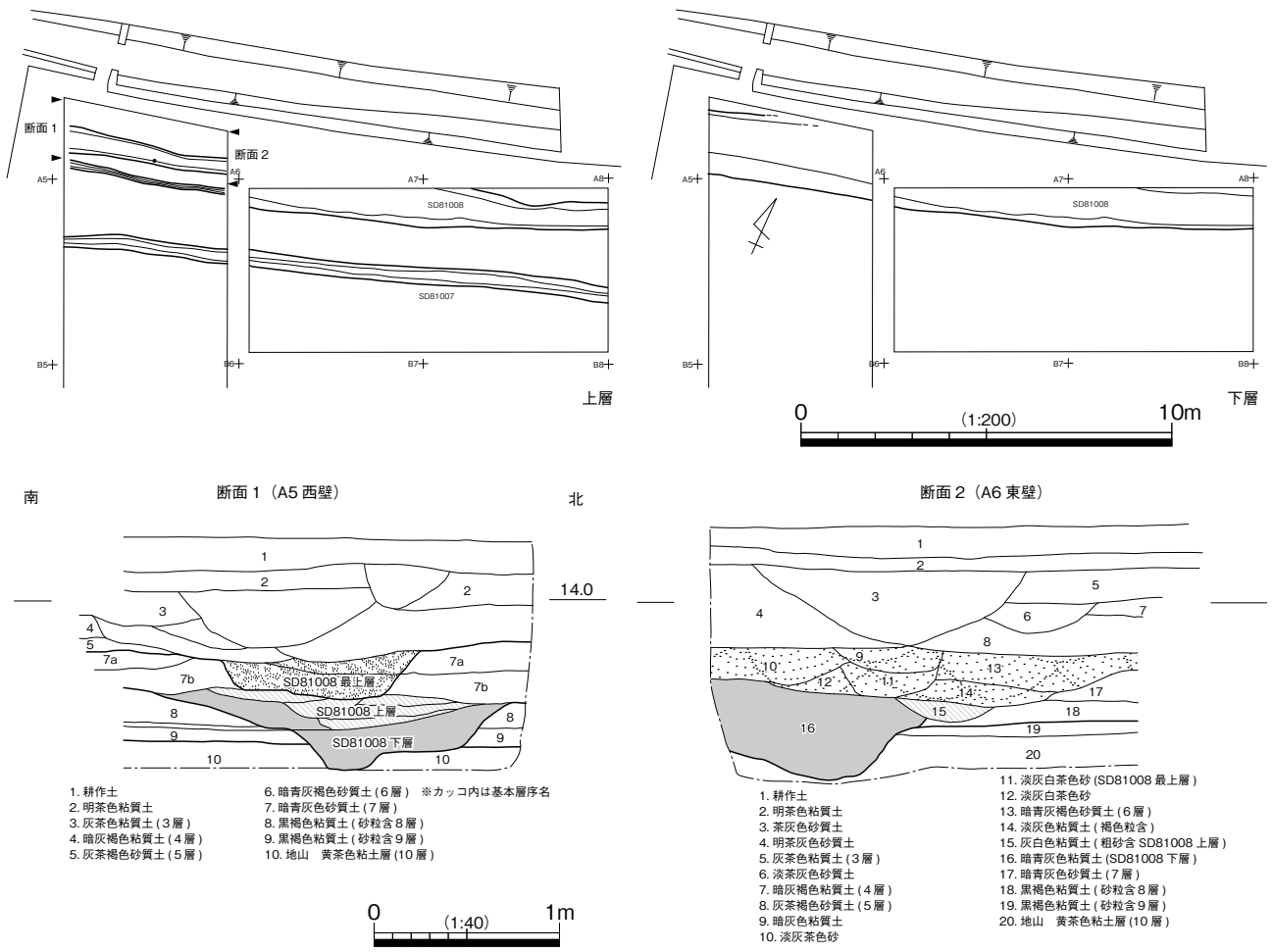


図 55 SD81008 平・断面

釉陶器皿は洛西産、あるいは篠産とみられる。緑釉陶器 132 は小片ながら近江産の可能性がある。133 は灰釉陶器皿であり、10 世紀代の美濃産と考えられる。下層下位出土資料の内、須恵器杯 (150) は 9 世紀中葉に比定されるが、黒色土器碗 (151. 152) は 12 世紀代まで下る資料と考えられる。これらの資料から、上層については 13 世紀を中心とした時期に、下層については上位、下位ともに 12 世紀までの機能していたことが出土資料から読み取れる。しかし、下層出土資料には 9 世紀後葉から 10 世紀の資料が多く含まれ、断面や堆積状況からも数回の浚渫が想定されることから、開削の上限時期については 9 世紀代まで遡るものと考えたい。

SD81001 他 (図 52. 56)

前述した通り、SD81009. 81010. 81012 以外の柱穴、小溝については基本的に 7 層上面で検出している。出土遺物 (図 55-65 ~ 91) から 12 世紀から 13 世紀に帰属すると考えられるが、積極的に機能を見出しがたい。基盤層である黄褐色粘土上面で検出した SD81009. 81012 については、条里地割の方向に合致し 8 層起源の黒褐色粘土を埋没土にもつ。時期決定の参考となる出土遺物はみられないが、検出面から判断して、10 世紀以前の所産と考えられるが、これについても調査範囲内で



写真 53 SD81008 全景 東から

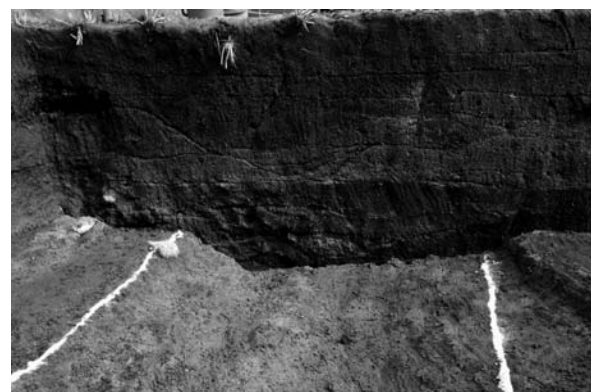


写真 54 SD81008 断面 西から

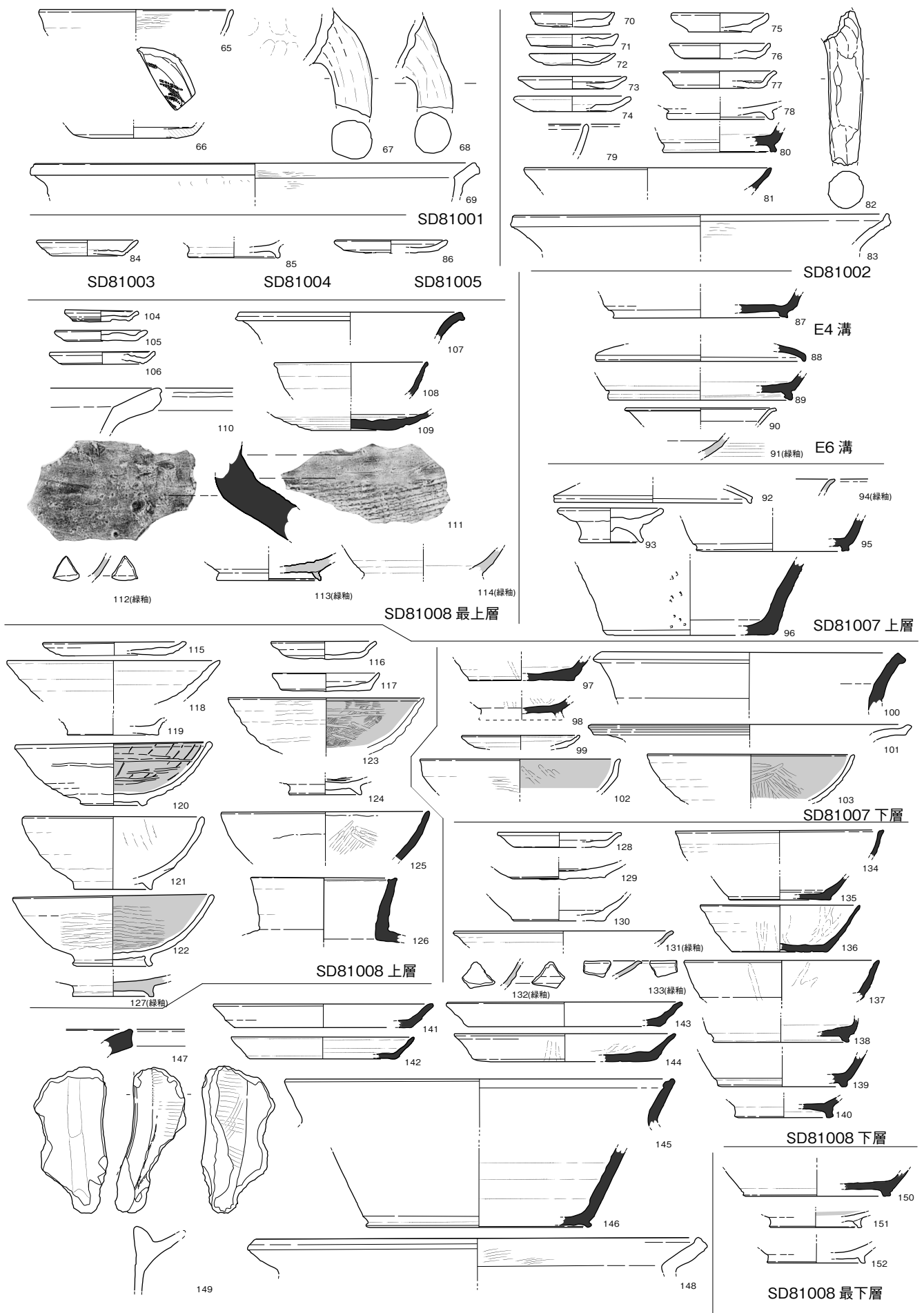


図 56 SD81008 出土遺物



明確な機能を推定することは困難である。

#### 4. 小結

調査区北端で検出した SD81008 は、条里阡陌線に合致し 9 世紀から 13 世紀にかけて維持される溝である。本溝以南においては、地表面に東西方向の条里阡陌線が部分的に認められるが、地下遺構においてこれに合致する東西溝は検出されていない。また、本溝の検出位置は、木下良氏によって想定された 60 間方格の条坊の北辺にも相当するものであり、今後発掘調査で検出された国府内の地割を検討する際の基準となる可能性をもつ。遺構として確認はできなかったが、包含層を中心に出土した硯・墨書土器・施釉陶器などの官衙関連資料は注目される。特に施釉陶器は讃岐国府域内において最も集中して出土しており、近隣の微高地上における国司館を念頭においた国衙施設の存在を示すものと考えられよう。

### 第 8 節 9 次調査（昭和 59 年度）の調査

#### 1. 概要（図 57）

9 次調査は、4 次調査地西側に隣接する地筆が調査対象地となる。地形面は麓屑面の頂部となり、現地表面の標高は約 18.2m である。調査の結果、国衙に関係する 9 世紀代の大溝、柱列を検出するなど大きな成果が得られた。調査前の土地利用は水田である。

#### 2. 層序（図 58. 59）

現在の耕作土である 1 層とその下位の 2・3 層は 1 層に伴う床土である。3 層下は黄褐色粘土の基盤層となり、間に遺物包含層を交えていない。この状況は、東側に隣接する 4 次調査区と異なっており、本調査地の方が麓屑面上における微高地に相当することを示している。一方で、遺構検出面はかなりの削平を受けているのは確実とみられ、検出遺構の広がりを検討するにはこの点に留意する必要がある。図 59 は 2・3 層からの出土遺物である。いずれも下位遺構の削平に伴う資料とみられる。7 は土師器燭台形土器であり、上面に油煙とみられる付着物が確認できる。

#### 3. 検出遺構・遺物

##### SD84001（図 57. 58. 60）

調査区西部で検出した溝である。上面幅約 3m 残存深度約 0.2～0.4m を測り、逆台形の断面をもつ。流下方向は、条里地割に合致した南北であり、粗砂を多く含む淡灰色粘質土を主体に埋没している。図 60-61～67 は出土遺物であり、土師質土器大皿（61～63）、土師質土器把手付鍋（65.66）、土師質土器茶釜形（67）等がみられ、中世末葉から近世初頭を中心に機能した溝と考えられる。

##### SD84002（図 57. 58. 60）

調査区東部で検出した大溝である。上面幅約 2.6～3.8m 残存深度 0.4～0.6m を測り、逆台形の断面をもつ。調査区中央の断面②付近では、溝東肩部に幅約 1.2m 深さ約 0.15m のテラス面が付設されている。流下方向は条里地割に合致した南北方向を採り、3 次調査において北延長部が検出されている（本章第 3 節）。埋没土は、中位から上位（断面①の 1～3 層、断面②の 1～3 層）に基盤層の黄褐色粘土を起源とする偽礫が多く含まれ、それより下位は粗砂を多く含む暗灰色粘質土で埋没しているが、盛んな流水状態を想定できるようなラミナは認められない。中位から上位は埋め戻し土であり、下位は開削後の流入土と考えられる。規模や埋没状況からみて、灌漑や排水路とも捉え難く、後述する SA84001 の存在を考慮すると国衙周囲を圍繞する大溝と考えられよう。



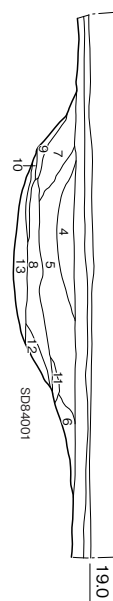
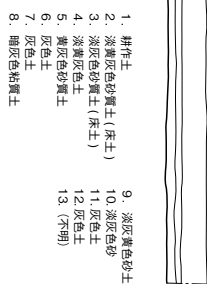
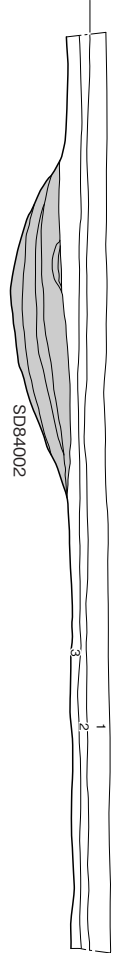
写真 55 9 次調査地全景 南から

図 60-11～60 は出土遺物である。前述した層

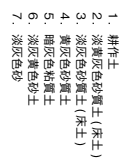
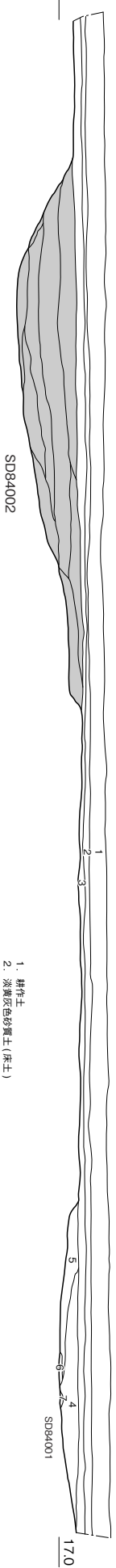


図 57 9次調査平面

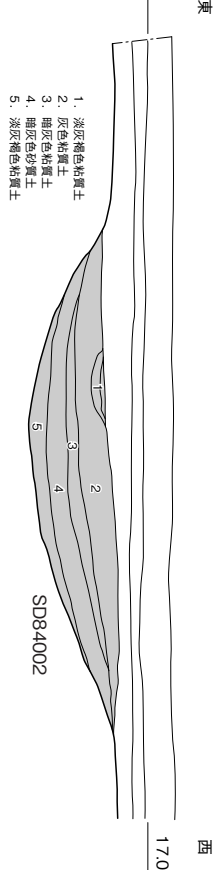
東西断面①



東西断面②



SD8402 拡大 (東西断面①部分)



SD8402 拡大 (東西断面②部分)

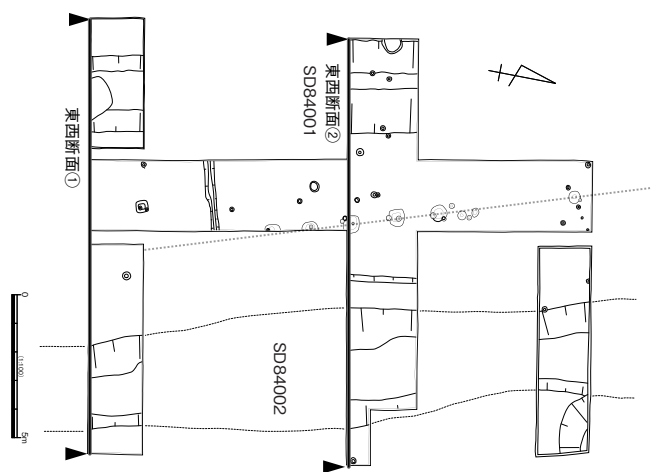
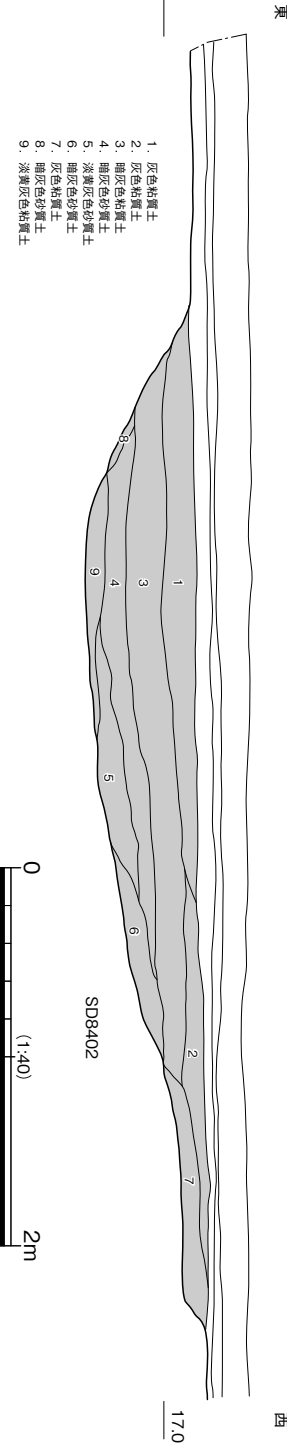


図 58 9 次調査断面

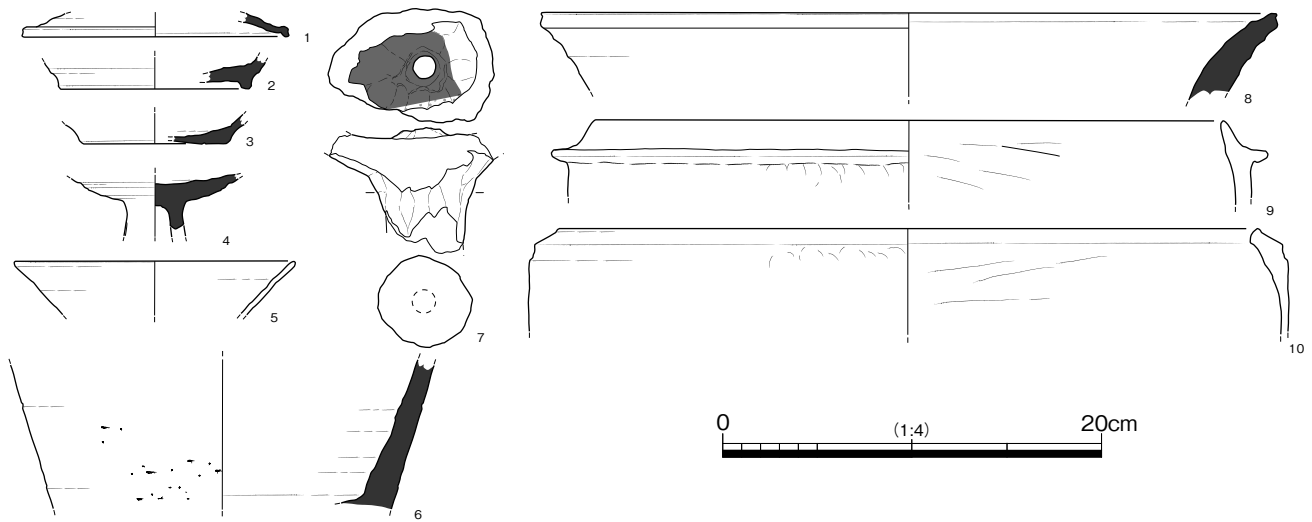


図 59 包含層出土遺物

位に対応した提示は不可能であり、一括して掲載している。須恵器は、古層を示す一群を除き 9 世紀前葉から中葉の蓋（図 60-11～14）、杯（21. 27. 28）、皿（29～32）に混じって 9 世紀後葉から 10 世紀前葉まで下る杯（20. 26）も散見される。蛇の目高台をもつ緑釉陶器碗（36）は洛西産の 9 世紀後半の所産とみられる。黒色土器碗（37. 38. 39）は年代的な位置付けが難しいが、回転ミガキが認められずミガキ幅も細いことから 10 世紀後葉を前後する時期の資料と考えられる。須恵器杯（40. 41）、ハソウ（42）、無蓋高杯（44）、甕（52～55）、畿内系土師器杯（46～48）は 7 世紀中葉から後葉の資料であり、他の資料と大きく時期を違えていることから、周辺遺構からの混入品と考えられる。



写真 56 SD84001 西から

以上、出土遺物が示す時期については揺らぎが認められる。ここでは明らかに古相を示す一群を除く他の資料が示す時間幅を使用して、本溝は 9 世紀前葉までに開削され、10 世紀後葉に埋め戻されたと考えておきたい。

SA84001（図 57. 60）

調査区中央部において検出した柱穴列である。南から SP81002～81006 とする 5 基の方形柱穴が約 1.5m 間隔で条里地割に合致した南北方向に検出された。柱穴掘方の残存深度は、0.1～0.2m と浅く極度の削平を受けている。上面検出時における柱痕は不明確であり、底面で柱の当たりと考えられる直径約 0.2m の窪みが検出された。埋没土はいずれの柱穴も黒褐色粘土を多く含む粘土であり、前述した SD84002 とも一定の共通性をもっている。埋没土から時期決定可能な遺物は出土していないが、SP84005 を切り込む小規模な柱穴 SP84024 から 12 世紀代とみられる土師質土器碗（図 60-68）が出土しており、これ以前の所産ということになる。方形基調の掘方をもつ点や 10 世紀中葉に埋め戻された SD84002 と埋没土が類似する点を評価し、本柱列は SD84002 と同時併存したものと考えておきたい。極度の削平を受けている点からみて、建物を構成する柱穴列の残骸である可能性も否定できないが、柱間



写真 57 SA84001 と SD84002 北から

が狭すぎることや、同時併存が想定される SD84002 との位置関係を考慮して、板塀等の遮蔽施設として提示しておく

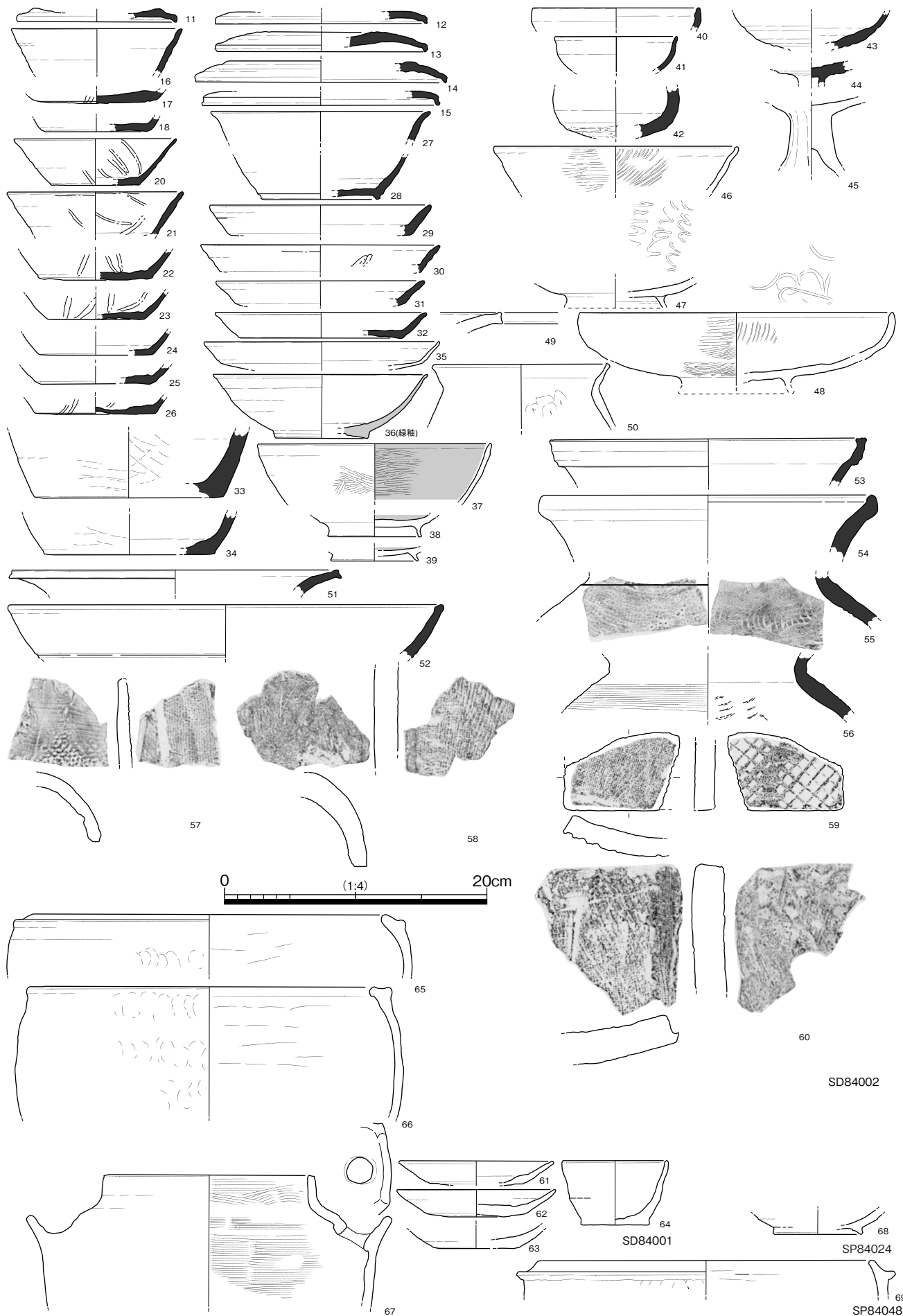


图 60 SD84001 · 84002 · 柱穴出土遺物



写真 58 SD84002 断面 北から



写真 59 SD84002 全景 北西から

たい。

#### 4. 小結

SD84002 と SA84001 は国衙围绕施設としてセットで捉えられると考えられる。その場合の国衙の位置は、4次調査で古代期の遺構が希薄であった点や SA84001 の検出位置からみて、SD84002 は国衙東辺を仕切ることとなり、本体は本次調査地西側に求められることになる。3次調査で確認された SD78001 は SD84001 の延長部であることからみて、南北約 50m は確実である。また、3次調査地北側の 27次調査で検出されていない点や、麓屑面を開析する低地帯 3・5 との位置関係などの地形を考慮すると、国衙の範囲が 50m 四方を大きく超えることはないと予測できる。詳細は規模については今後の調査が必要となるが、SD84001 内に瓦が極少量しか認められなかった点は国衙の性格を考える際に重要な資料となる。

## 第4章 総括

### 第1節 遺物

#### 1. 分布調査

第3章で紹介したとおり、讃岐国府2～9次調査で広域に涉って古代の遺構・遺物を確認したが、包蔵地全体に対する調査面積は小規模に止まらざるを得ない。そこで、発掘調査範囲外における遺構分布状況を推測することを目的として、詳細な遺物分布調査を行った。調査は平成24年5月に行い、水田・畑などの耕作地を主として遺物を採集し、地筆毎に採取量を集計した結果を図61～63に示す。採取遺物の中で主体となるのは古代末の土師質土器や黒色土器、輸入陶磁器片であり、須恵器片・古瓦片がこれに続く。須恵器・古瓦片については、採取点数を地筆毎に表示したが、土師質土器等については採取量を一括して分布状況のみ提示する。

古瓦の分布状況は、5次、16次調査地を結んだ低地帯3を境にして状況が大きく異なる。低地帯3より北側では数地点において分布が確認されるものの、南側の包蔵地南西部では面的に採取される状況にある。特に、開法寺伽藍東側の微高地上での採取量が比較的多い傾向にある。また、綾川に接した低地には殆ど分布せず、包蔵地西部の高位にある微高地や麓層面上に限って分布している点は注意されよう。

須恵器は広域で採取されるが、集中部は包蔵地の北と南で二分される。北部は確認調査があまり実施できていない27次と28次間の麓層面と8次周辺に集中する。

土師質土器・黒色土器・輸入陶磁器は包蔵地全域から採取される。採取可能な地筆が集中せず、包蔵地全域で点在する傾向ある。

#### 2. 瓦の出土量とその分布

本書で報告する2～9次調査において古瓦が多く出土している。7次調査の築地を構成するみられるSD80010を除くその多くは、古代末以降の包含層や諸遺構への混入した状態で出土しているが、これらの出土地点・量は一定程度、元々の使用された構造物の位置を示していると考えられる。今後の確認調査計画策定や国府全域のゾーニングを考えるためには、これらの古瓦の出土量や分布状況を確認しておくことは決して無駄ではない。対象とする資料は、遺構内・外に関らず凹面に布目をもつ等の特徴から古代に属すると考えられるもの全点を計測対象とした。また、讃岐国府では本書で報告する9次調査以降も確認調査が継続して行われていることから、平成23年度の29次調査までの出土資料も計測の対象とした。

計測に使用した分類の詳細は、既刊の概要報告書（香川県埋文セ2013）を参照していただきたいが、今回は讃岐国府における一定の出土傾向を把握することを目的として、大まかな分類に止めた。平瓦は、凹面の模骨痕の有無を確認して、桶巻き作と一枚作を区分し、凸面のタタキ目の種類から細分を行った。縄目タタキについては原体やタタキ板が当たる角度、タタキ原体の種類によって数多くのバリエーションがあることが予想されるが、細別は行っていない。丸瓦については、行基式と玉縁式を区分したのみであり、玉縁部形態に基づく細分は行っていない。

以上の分類を行った上で、破片毎に点数と偶数、重量を計測し、国府域における重量と個体数の分布状況を整理した。

偶数計測法における個体数算出や単純な重量の集計がもつ問題は承知しているが、タタキ目の分類と同様に、国府全体の様相の把握を主眼に置いたため、最も簡略な方法を用いた。また、開法寺域に含まれる範囲の調査資料は、計測対象から除外している。

図64は、110mメッシュの条里型地割の大区画を36分割した小単位を設定して、重量分布を表す。偶数計測法を用いた個体数分布の検討も行ったが、包含層や後世遺構への混入資料が主体を占めることや、重量分布と大きな差異はみられないため、図64に重量分布のみ図示した。また、各年度の調査面積にバラツキがあるため、各トレンチの個体数及び重量の総数を調査面積で除した上で、10㎡当たりの数値に置き換えて表示した。

全体の分布状況は、福岡神社北側を東西に抜ける5次と16次調査地を結んだ低地帯3を境に南北で様相が大きく異なる。北側では、6・23・28次調査地がやや多い傾向を示すが、大半の調査区では最小単位の出土量を示す。同推

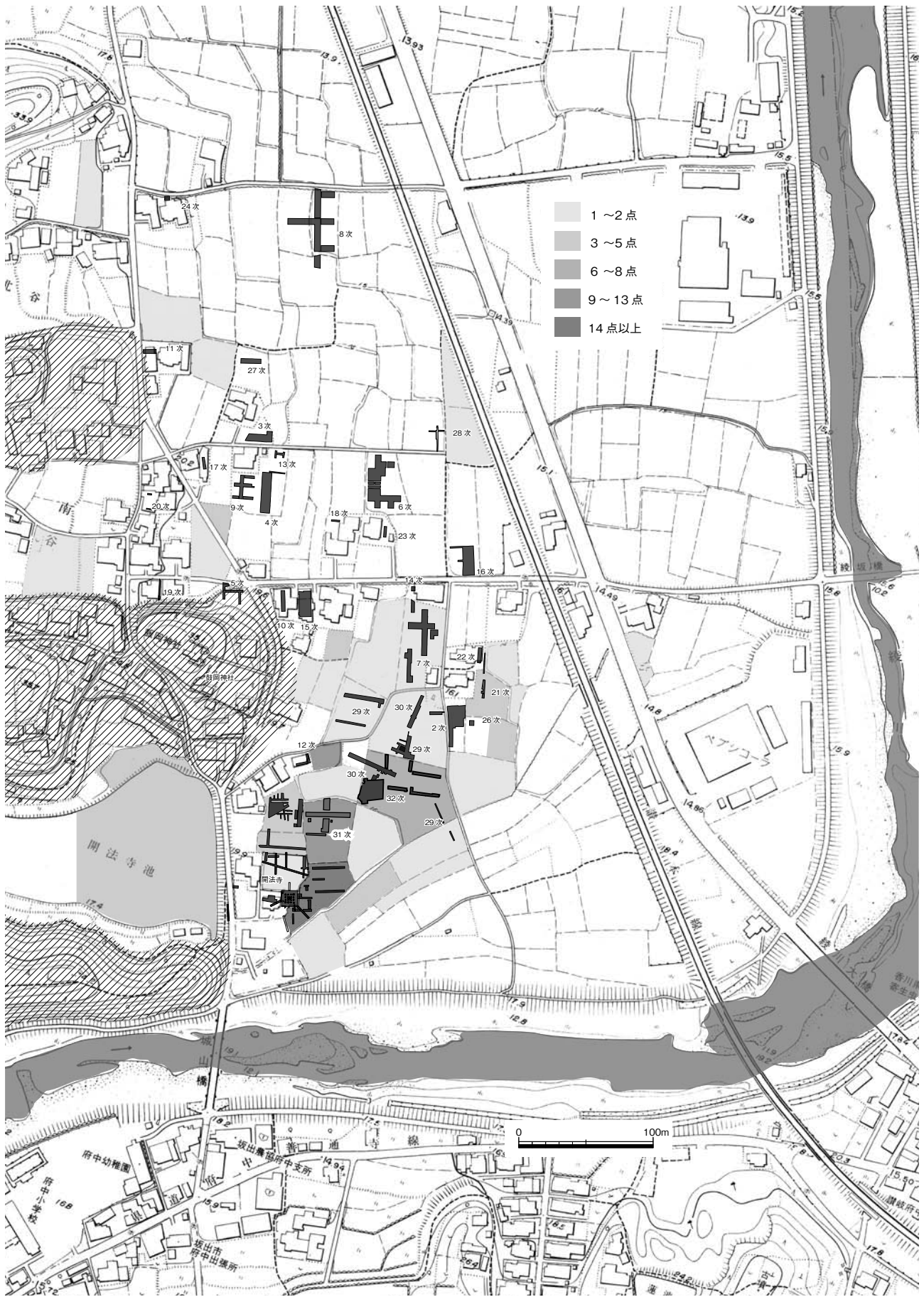


図 61 分布調査(古瓦)



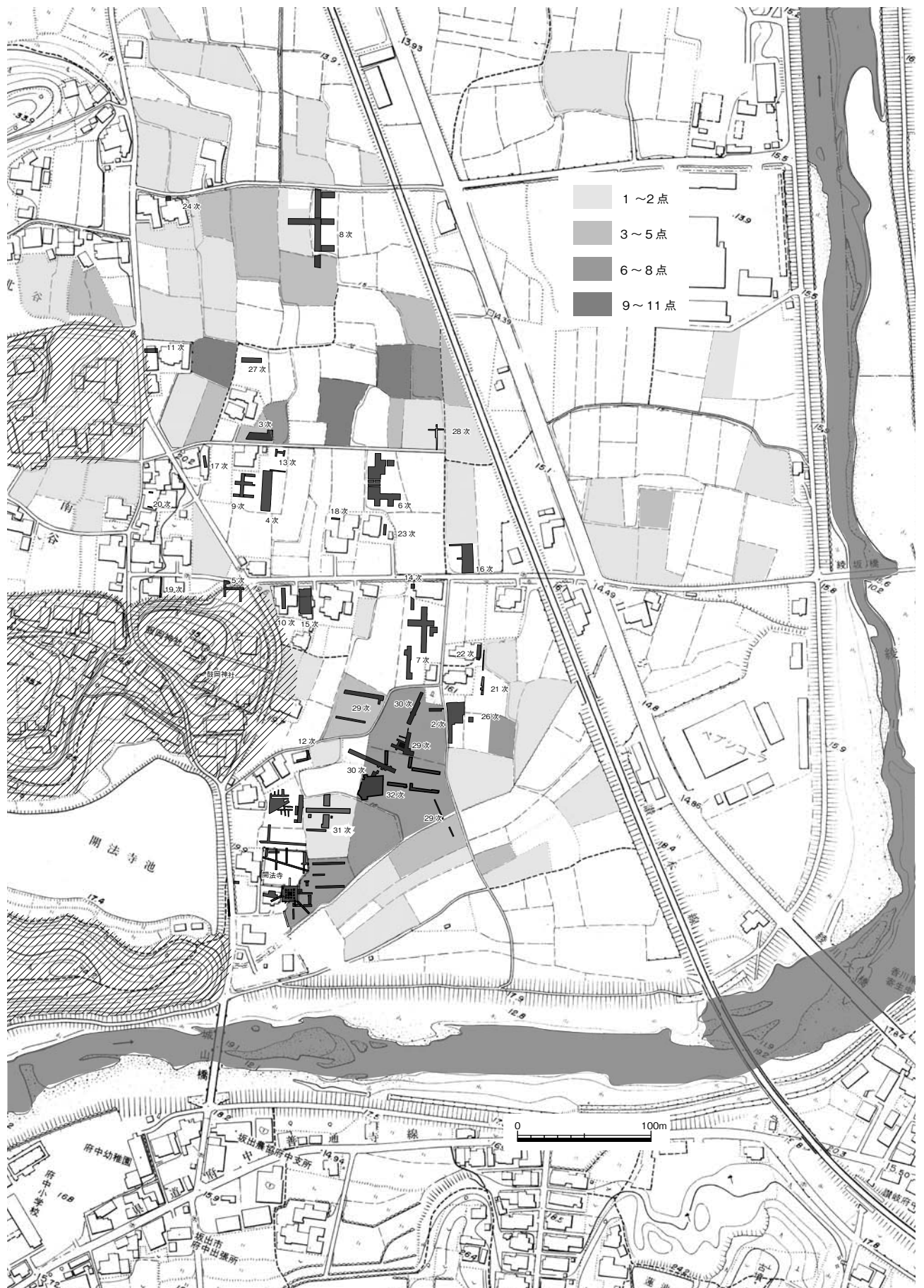


図 62 分布調査 (須恵器)

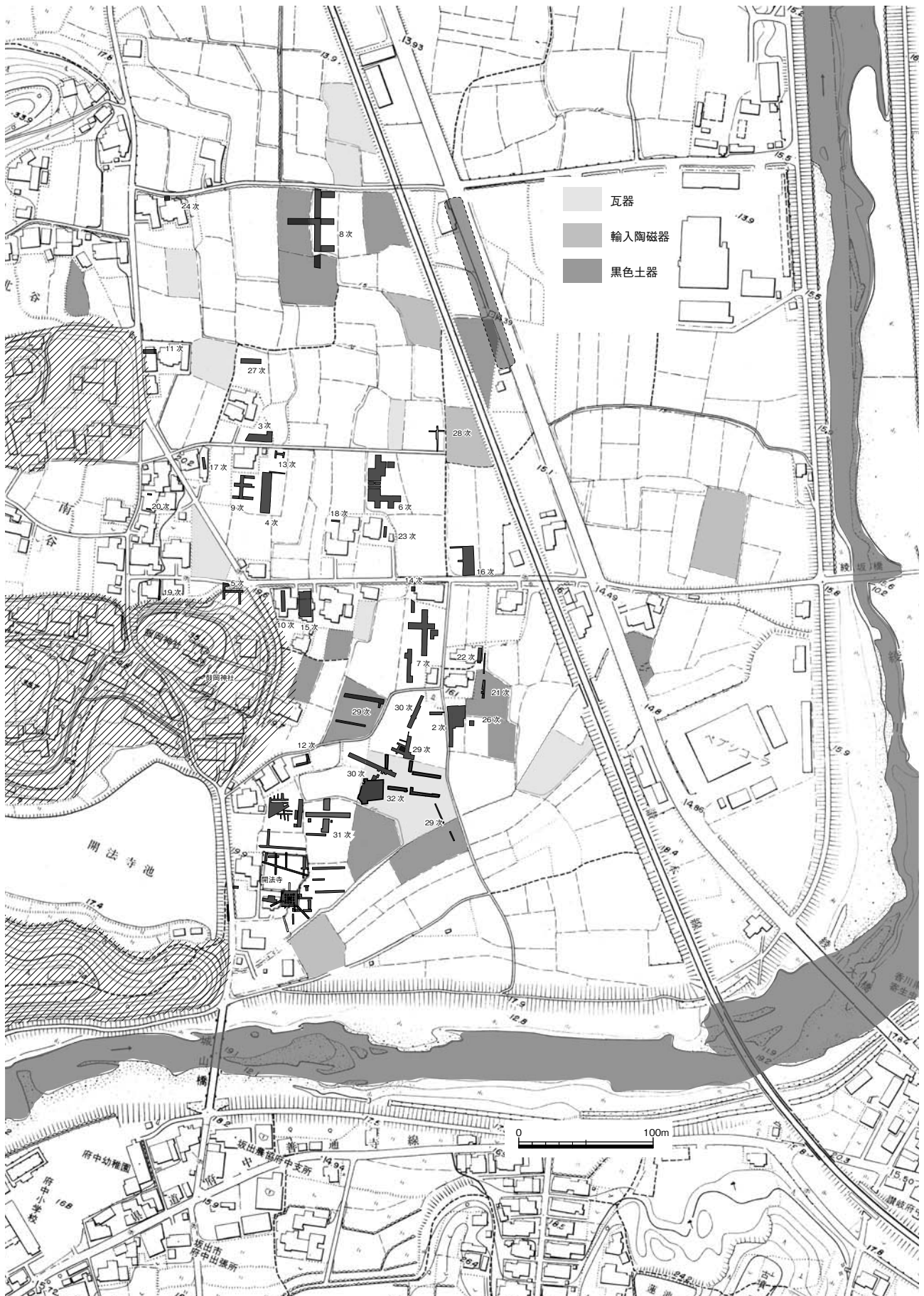


図 63 分布調査 (黒色土器・土師質土器・輸入陶磁器)

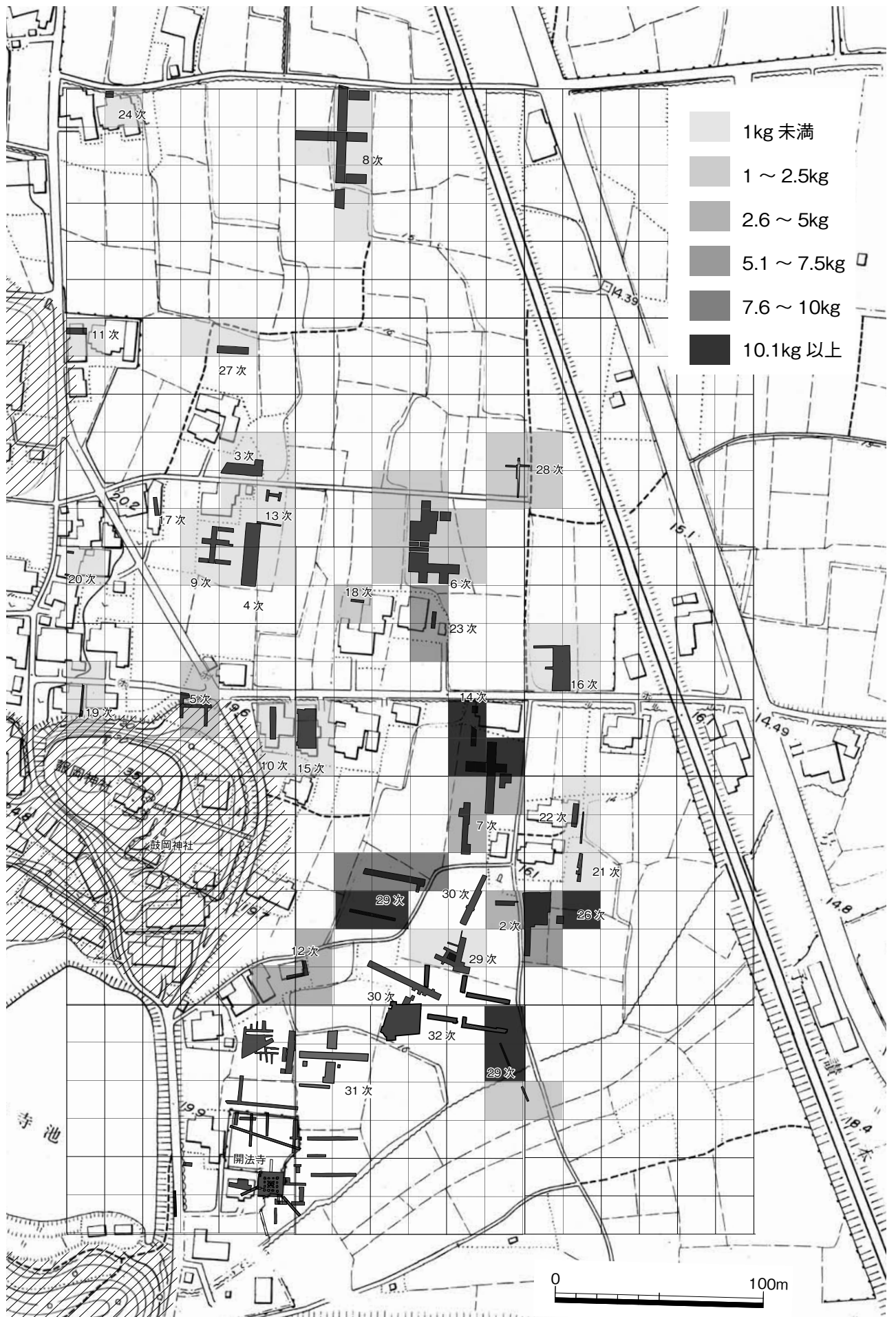


図 64 瓦の出土量と分布 (重量)

	2次1Tr	2次2Tr	3次	4次	5次	6次	7次(築地)	7次(築地南)	8次	9次	12次	15次	16次	17次	22次	23次	26次	28次	29次-1	29次-2	29次-3	29次-4	29次-5	合計
軒丸瓦・丸瓦総重量(kg)	70.5	3	0	1.5	3	12.9	71.4	33.3	1.7	0.3	3.6	3.2	1.8	0.2	1.5	2.2	1.1	0.7	20.2	15.3	0	21.9	0.2	271.4
軒丸瓦・丸瓦総個体数	29	3	0	2	2	6	25	9	2	1	3	2	2	1	1	1	1	1	15	6	0	7	2	126
平瓦桶巻作り総重量(kg)	48.2	1.4	0	0.3	0.3	5	3.1	4.4	0.6	0	0.7	0.6	0.9	0	0	0.4	1.5	2.1	18.9	15	0.2	21.1	0	125.7
平瓦桶巻作り総個体数	11	2	0	1	1	4	3	2	1	0	1	2	1	0	0	1	4	3	7	7	2	9	0	63
平瓦一枚作り総重量(kg)	114.6	3.5	0	2.3	2.7	30.1	126.6	38.8	3	1.4	8.8	8.9	3.5	1.5	0.9	5.6	2.8	2.8	31.8	19.5	0.2	44.6	0.1	461.4
平瓦一枚作り総個体数	21	1	0	3	2	8	34	9	1	3	5	5	3	2	3	5	2	5	9	6	1	9	1	147
平瓦不明重量(kg)	44.5	1.1	0	0.4	0.9	3.3	13.5	25.4	1.4	0.1	0.9	1.7	0.9	0	0	0.6	0.6	0.5	17.4	21.6	0.1	5.8	0.4	142.7
平瓦不明個体数	4	1	0	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	2	2	1	1	1	29
軒平瓦・平瓦総重量(kg)	211.9	6	0	3	3.9	38.4	143.2	68.6	5	1.5	10.4	11.2	5.3	1.5	0.9	6.6	7.8	5.4	69.3	56.4	0.5	71.5	0.5	739.2
軒平瓦・平瓦総個体数	42	4	0	5	4	13	40	13	3	4	7	8	5	2	3	7	8	9	20	17	4	19	2	252
特殊瓦総重量(kg)	0.3	0	0	0	0	0.3	0	0.5	0	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0.1	0.9	0	0.1	0	2.4
特殊瓦総点数	2	0	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	15
総重量	282.7	9	0	4.5	6.9	51.6	214.6	102.4	6.7	1.8	14	14.4	7.3	1.7	2.4	8.8	8.9	6.1	89.6	72.6	0.5	93.5	0.7	1013
総点数	73	7	0	7	6	22	65	26	5	5	10	10	9	3	4	8	9	10	36	25	4	27	4	393
単位面積(10㎡)重量(kg)	7	5	0	0.3	1.2	1.1	21.5	3.1	0.2	0.2	3.9	0.8	0.6	0.5	0.9	5.5	22.3	1.7	9.5	22	0.1	58.5	1	
単位面積(10㎡)個体数(kg)	1.8	3.9	0	0.4	1.1	0.5	10.3	0.8	0.2	0.5	2.8	0.6	0.7	0.8	1.5	5	22.5	2.7	3.8	7.6	0.4	16.9	5.8	

表7 瓦組成表

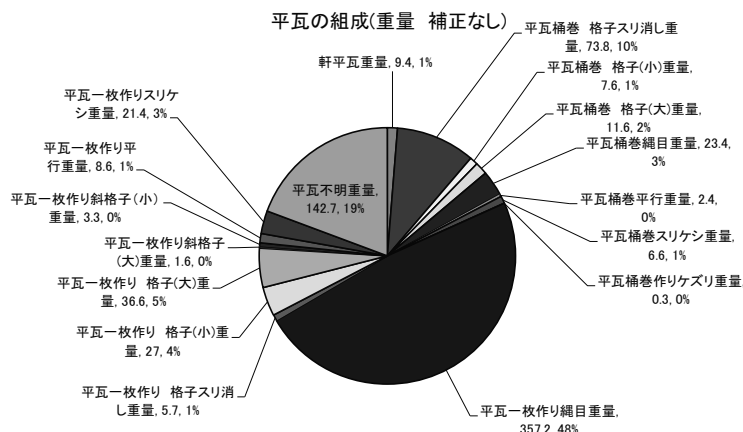
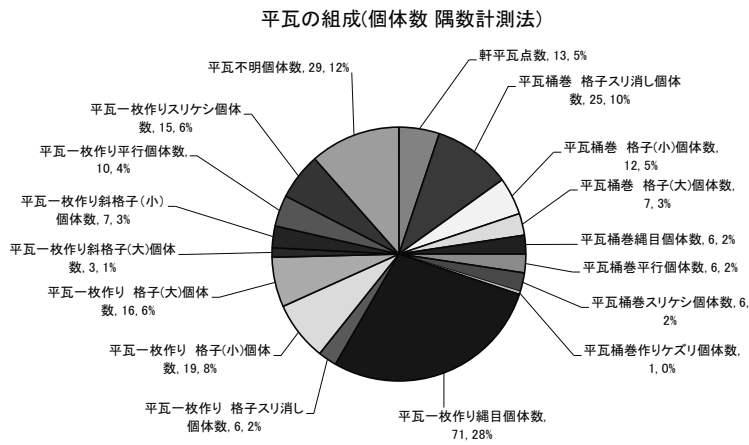


表8 平瓦の組成(隅数計測法・重量)

定ライン南側においては、個体数・重量ともに高い値を示す。これについては、7次調査において築地遺構が確認されていることも影響していると考えられるが、その他の調査区においても低地帯3より北側の調査地点と比較して、ほぼ全域で高い値を示していることは注意される。また、この点は、分布調査において確認された瓦の偏在性と共通するものであり、国府城南部の瓦葺建築物の存在を傍証するものと考えられる。

軒先瓦

軒先瓦は、開法寺と同範・同紋とした資料が、2次調査段状遺構6・7層から出土したKH101(2次図15-253)・KH103(写真図版5-18)をはじめとして、後世遺構への混入という形で比較的多く出土している。最も離れた地点における開法寺伽藍推定地からの直線距離は約150m離れている。これらは寺院と国衙でどのような使い分けがされていたのかを含め、今後の検討課題となる。開法寺以外の同範・同紋資料では、讃岐国分寺のSKM01B(2次図12-73)、SKM21(図19-622)が注目される。中でもSKM01B(2次73)は、讃岐国分寺・国分尼寺以外では初出の資料となる。2次調査出土の緑釉瓦(2次図11-12)は、畿外では希少な資料となる。周縁部を欠いた状態であるが、1点のみ出土していることや地方官衙での出土例が希少であることからみて、軒先瓦として部分的に屋根を飾ったと考えられる。

出土した軒先瓦の中には、完形品の出土は確認されていないものの、破片資料から文様構成が判明した一群には、讃岐国府跡に特有の文様構成を採る資料があり、これらを讃岐国府式と呼称する(図65)。KF101は、小さな中房に1+8の蓮子をもち、内区に複弁11葉蓮華文と外区に珠文帯を施し、断面三角形の周縁に線鋸歯文をもつ。複弁とするものの、子葉及び蓮弁内の仕切りは不明確である。焼成はやや軟質か瓦質焼成の資料が多い。

KF201は直線顎をもち、内区に簡略化した唐草文と上・下外区に珠文を施すが、内区と外区の境に界線をもたない。焼成は、KF101と同じくやや軟質か瓦質焼成の資料が多い。

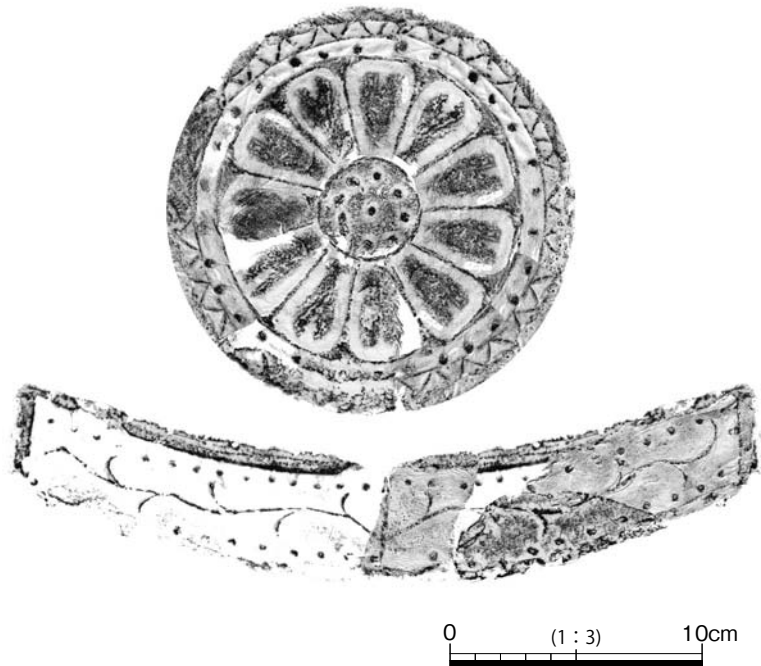


図65 讃岐国府式

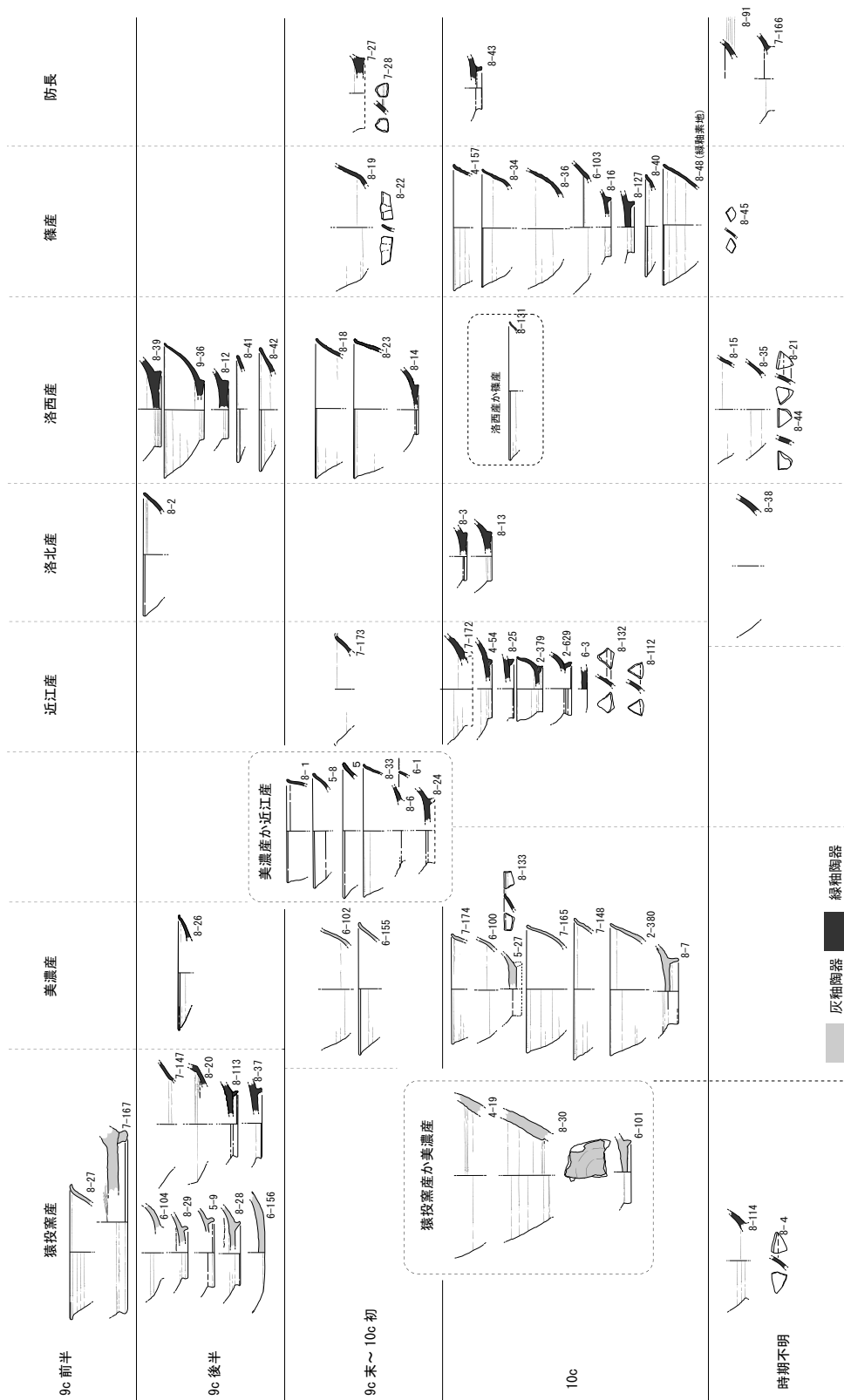


図 66 施釉陶器の産地と変遷

KF101・201の組み合わせを推定しうる状態での出土は確認できていないが、胎土・焼成からみてセット関係にあるとみてよいだろう。帰属年代については、推定材料に乏しい。KF101の周縁の線鋸歯文はやや古相の印象を与えるが、蓮弁の特徴などから、平安期に下る資料と想定しておきたい。KF201は、7次SD80010下層において、9世紀代の土器群と共伴する。詳細な時間的位置づけについては、今後の調査の進捗とともに検討していく必要がある。

分布状況(図68)は低地帯3より北側においても4次・6次調査地において少数確認されているが、低地帯3より南側で多く出土しており、先に示した丸・平瓦に符合した分布状況を示すため、中心的な国衙建物を飾った軒先瓦であると考えられる。

以上、分布調査・出土古瓦の分布状況、緑釉瓦や国府式瓦の分布状況の分析から、国府域南部に瓦葺建物群が想定できる。更に国府域南部は、

地形から微高地1と低地帯1・2に区分される。微高地1上面で継続している確認調査の成果を待つ必要があるが、2・23次調査等で出土した多量の瓦や緑釉瓦、国府式瓦の多くは微高地1周辺の古代末葉から中世以降に平坦化が進行する低地帯1・2もしくは微高地1縁辺部から出土していることを考慮すると、元来これらの資料は微高地1上面に営まれた建物群に帰属していたと考えられよう。

### 3. 官衙関連遺物

出土遺物には、施釉陶器や硯など官衙遺跡を中心に出土する資料が多く含まれている。包含層資料や中世以降の遺構への混入資料を含めて、全体相を概観し、分布状況を点検する。

施釉陶器は、猿投窯産から防長産までの複数の製品が9世紀前半代の猿投窯産の灰釉陶器を先駆けとし、10世紀代まで資料が継続的に出土する(図66)。器種は碗・皿が最も多く、少数であるが壺がみられる。

緑釉・灰釉陶器の分布状況は、鼓岡神社北側を東西に抜ける低地帯3を境にして、北側へ偏る傾向が明瞭に指摘できる。特に6次・8次年度調査地点が際立っており、奢侈的食器の集中は、国司館の存在を想起させるものがある。

硯は、円面硯・風字硯・猿面硯・長方硯・転用硯が確認されているが、転用硯の出現頻度が極めて高い点が特徴的である(図67)。転用元となる器種は須恵器蓋が最も多く、須恵器甕胴部片と杯外底面がこれに次ぐ。転用硯の多さは、広い階層による頻繁な文字使用を窺わせる。これらの資料の年代は概ね、円面硯は8世紀から9世紀前葉、風字硯・猿面硯は9～10世紀、長方硯は11～13世紀、転用硯は9世紀前葉を中心として前後の時期の資料が含まれると考えられ、想定される讃岐国府の存続期間を網羅する。出土位置は、昭和2次・6次・8次の3地点にやや集中して出土しているが顕著なものではなく広範囲に分布する状況にある。これらは曹司等の実務的官衙が複数存在していることを表していると考えられる。

また、作業中に越州窯系青磁碗・瓦埴などの希少遺物も数点確認したので、合わせて出土地点を図示した。瓦埴などの特殊遺物は、低地帯3より南側に分布があり、北側においては一切出土していない。出土数は限られるが、瓦埴の分布は、分布調査や出土古瓦の集中域に包括される状況にある。

## 第2節 遺構

### 1. 国衙配置の推定

6次調査の大型総柱建物、7次調査の築地遺構、9次調査の大溝・柵列など国衙の存在を示す遺構が確認されているが、現時点で平面的な広がりをも明らかにするには至っていない。ここでは、瓦・施釉陶器・硯などの分布状況など

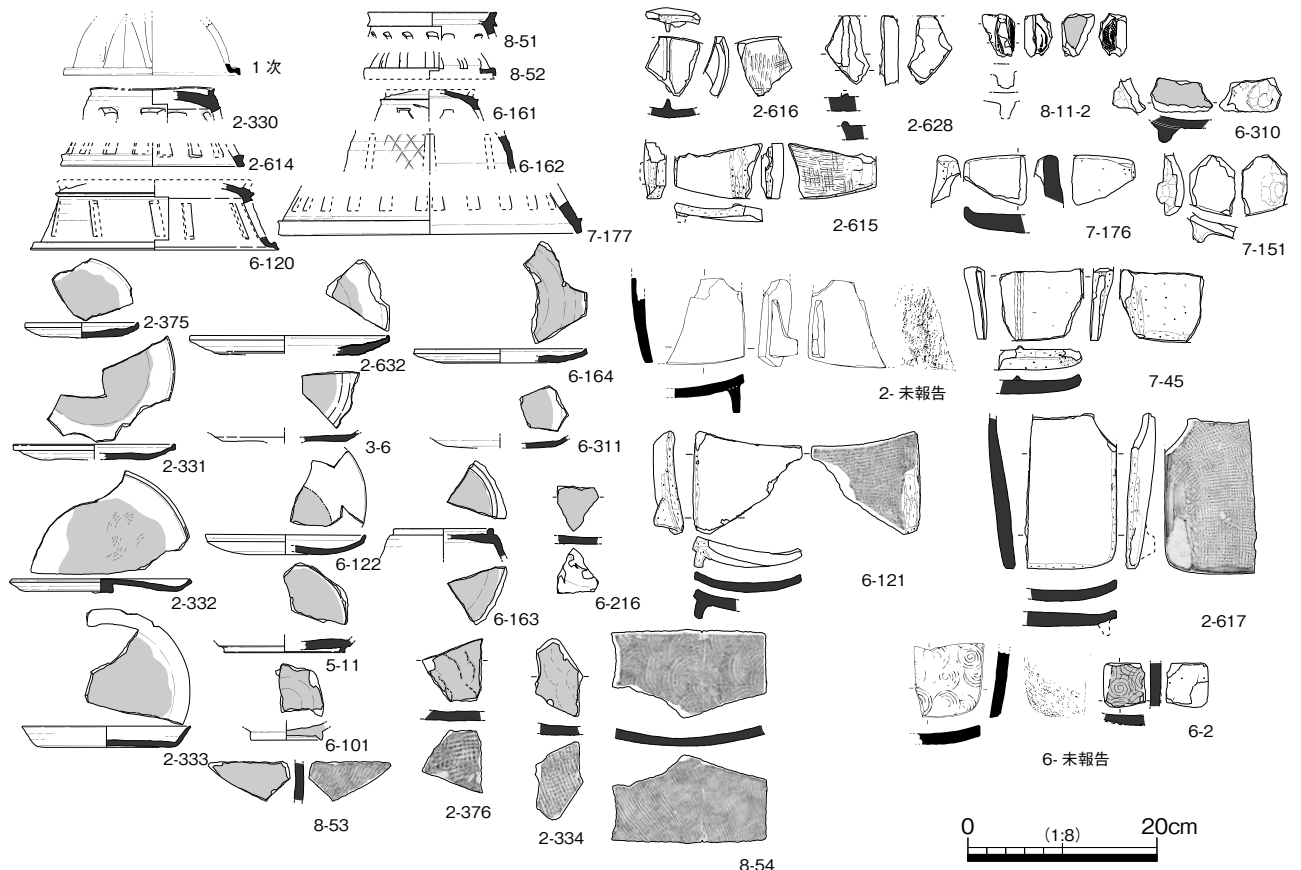


図67 硯集成

※調査次数・論文番号

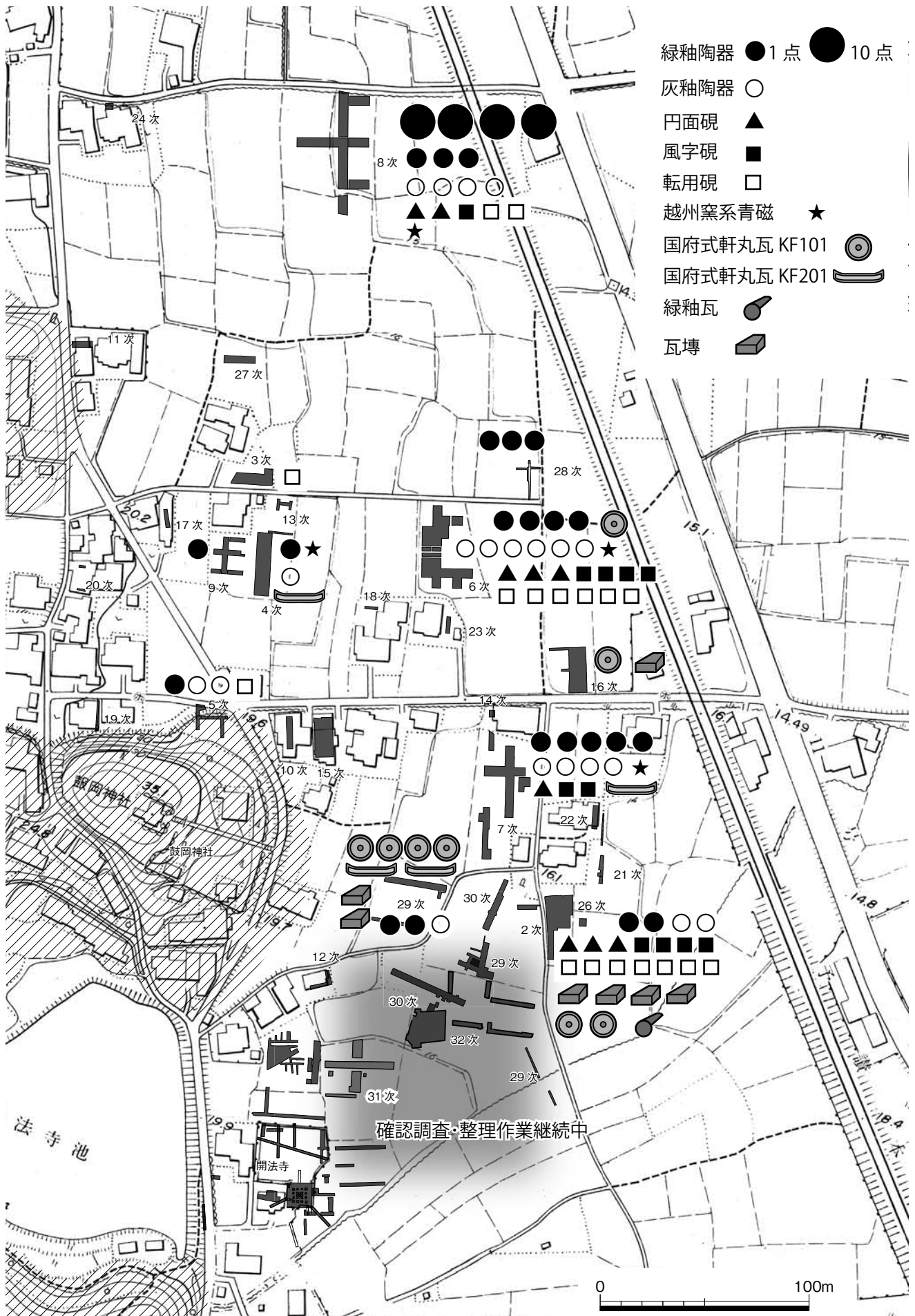


図 68 特殊遺物の分布



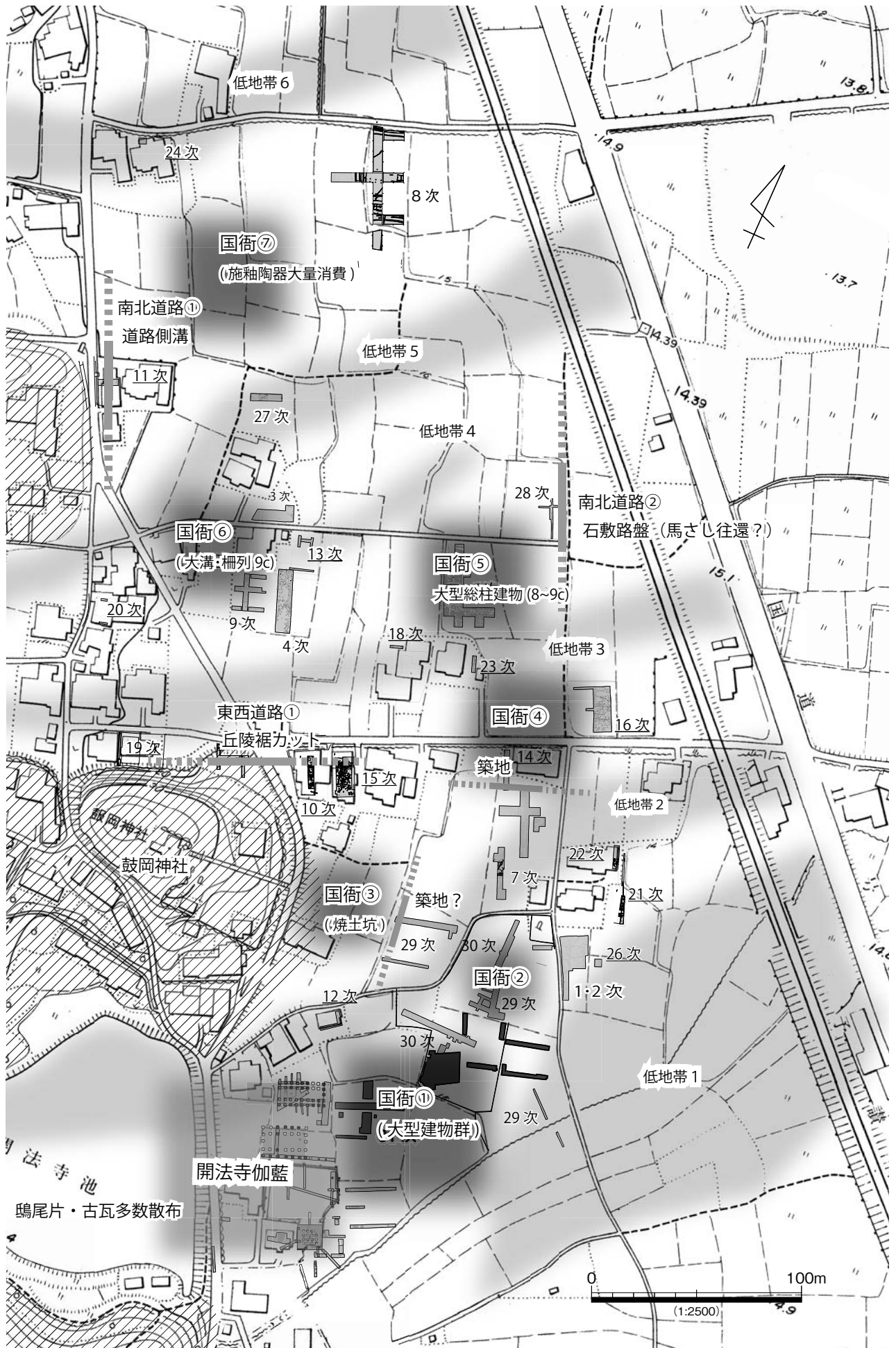


図 69 国衙配置想定図

の検討結果を加え、現時点での讃岐国府内のゾーニングをまとめることで、今後の確認調査の目的を先鋭化させておきたい。また、対象とした瓦や施釉陶器の年代観から、ここでのゾーニング案は平安期の状況を反映している可能性があるが、現時点では素案として提示しておくこととし、時期の細別については今後の発掘調査成果を追加することによって再検討していく必要がある。

瓦は、鼓岡神社北側を東西に延びる南海道推定ラインを境にして、南側に明瞭な分布域を形成する。これより北側では6次、16次・28次調査地点において出土量がやや高くなっている。「讃岐国府式」として型式設定したKF101・KF201の分布は、他の丸・平瓦の分布と同様の傾向に同推定ラインより南側に分布するが、北側においても3次・6次、16次調査地において少数確認されている。「讃岐国府式」の分布傾向は、他丸・平瓦の分布状況と整合した状況にある。瓦埴などの特殊遺物は、同ラインより南側に分布があり、北側においては一切出土していない。

施釉陶器は、ほぼ全域から出土しているが、同推定ラインより北側に主要分布があり、6次・8次調査地点が際立っている。硯は2次・6次・8次調査地に緩やかな集中が確認されているが、古瓦にみられたような低地帯3を境にした南北における面的な差異ではなく、集中地点が点在する状況にある。

これらの遺物の分布状況に検出遺構を加えて讃岐国府におけるゾーニングを総括的に検討する。まず、低地帯3より南側に瓦葺建物群が想定できる。北側においても瓦葺建物によって構成された国衙が存在する可能性があるが、出土量からみて総瓦葺の建物群が展開する状況は推定できない。施釉陶器の集中から、8次調査地周辺の微高地上に国司館若しくは国衙が存在する可能性がある。曹司については、集中することなく点在している可能性が高い。

以上のように、既往の調査成果から作業仮説としての国府内のゾーニングが推定できる(図69)。国庁等の中枢施設は瓦葺建物で構成されることが予想されるため、その確認は低地帯3以南のエリアで行うことが適切であると考えられる。その一方で、低地帯3以南のエリアにおいて国庁のような一定程度の施設の占有を可能とする地形面の所在地が問題となってくる。低地帯2は、7・29次調査によって8～10世紀段階には凹地として残されていることが明らかになっており、微高地は低地帯1・2間(微高地1)、低地帯2・3間(微高地2)に所在していたと考えられる。これらの内、微高地2は、鼓岡社が乗る丘陵に付着するもので、傾斜がきつく面積もさほど大きくはない。そうだとすれば、微高地1に対象が絞られることとなる。微高地1は、香川県埋蔵文化財センターが乗る丘陵から連続してみられるもので、南西隅の開法寺塔跡から讃岐国庁碑のある北西方向に延びているが、低地帯2との関係で微高地上面において一定程度の面積が確保できるのは南半分となる。また、微高地1周辺の2・29次調査において中世遺構や包含層に混入した状態で出土した緑釉瓦や讃岐国府式瓦、瓦埴などの遺物は、微高地1上面の削平に伴い、周辺に拡散したと理解することもできよう。

今回報告した発掘調査資料の状況から、今後の発掘調査は開法寺東側の微高地を中心に実施していくべきであろう。

### 第3節 古代末期の讃岐国府

#### 1. 遺構分布からみた景観

讃岐国府跡において数多く検出されている遺構・遺物は古代末期、中世前期と言っても過言ではない。11世紀段階の遺構については不明な点が多く残るが、12～13世紀については各地点で遺構・遺物が確認されている。遺構は、小型柱穴群(建物群)を中心に検出しており、溝や塀による遮蔽施設は不明確であるが、各調査地点において高い割合で井戸が検出されることから、複数の屋敷地が点在する景観を復元できる(図70)。

#### 2. 灯明具

当該期の遺物に特徴的なものとして、灯明具と考えられる資料がある(図71)。燭台形土器として呼称する一群は、貫通する小孔が穿たれた柱状部をもち、小孔を中心にして上部に平坦面が作出される。調整はナデを基調とするが、7次調査包含層出土の資料(図71\_7-169)のように、ケズリ調整で柱状部が多角形に仕上げられるものもみられる。用途については長らく不明であったが、上面に後述する灯明具転用をうけた土師質土器皿・杯にみられるような油煙状の付着物を留める資料(図71\_9-7)が確認できたことから、当該期の蠟燭そのものの形態や入手経路等を明らかに

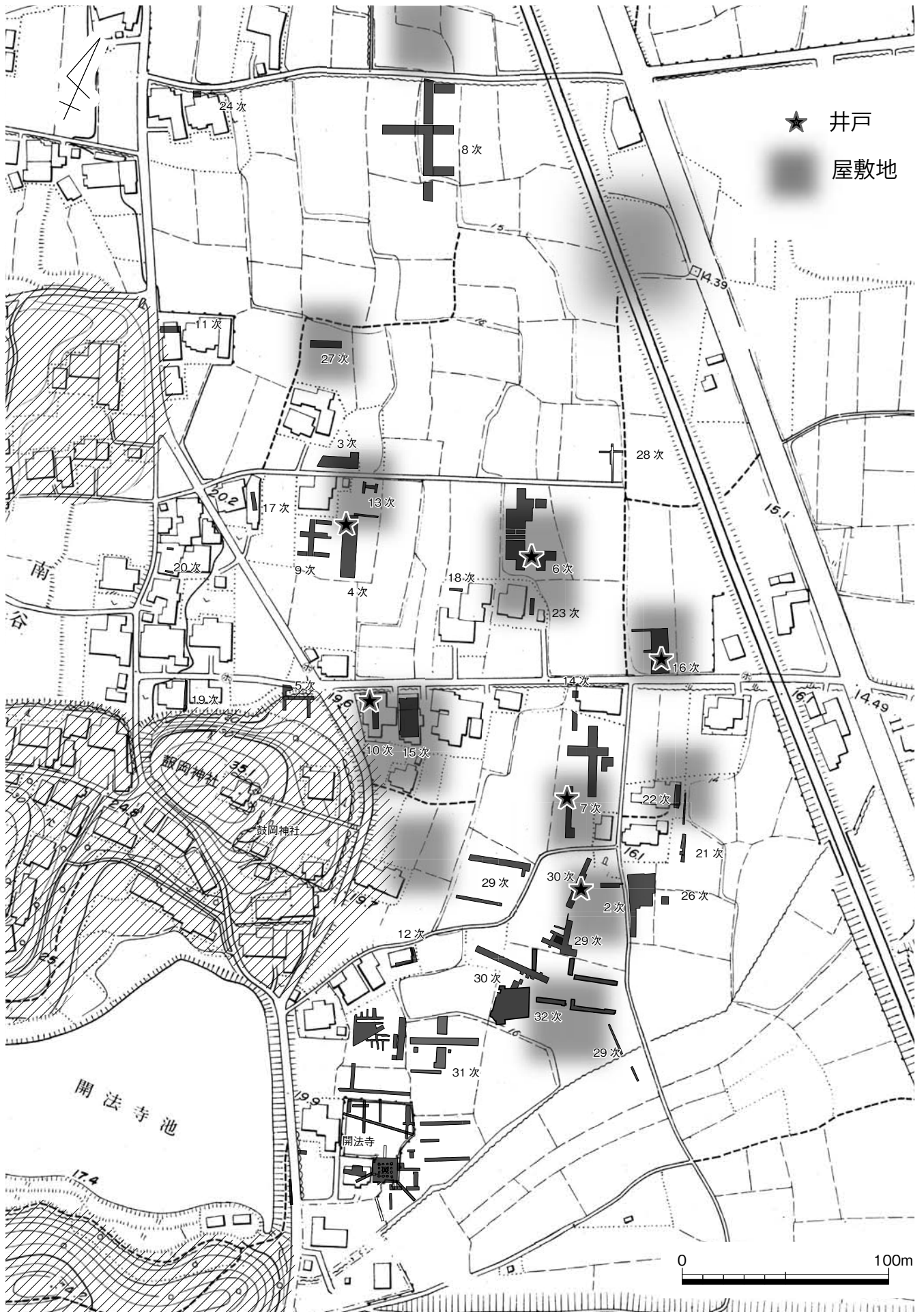


図 70 古代末～中世前期の屋敷地の想定と井戸の分布

する必要性は残るが、これらの資料の特徴的な形態や使用痕からみて、燭台として機能を推定することとしたい。

こうした灯明具がある一方で、土師質土器を転用する資料も散見される（図 71 下段）。2 次段状遺構 5 層土器溜り、6 次包含層資料を中心にして、皿・杯の口縁・見込み部を中心に油煙状の付着物が確認できる。こうした灯明具は、讃岐国内では、空港跡地遺跡 F 地区区画 1 のような居館（香川県教委他 2000）や、港町としての機能をもつ高松市浜ノ町遺跡（香川県教委他 2004）や宇多津町伊勢町遺跡の出土資料（米崎・乗松 2003）を中心に 13 世紀代以降に普遍化していく状況が知られており、讃岐国府跡の事例は先験的と評価できる。

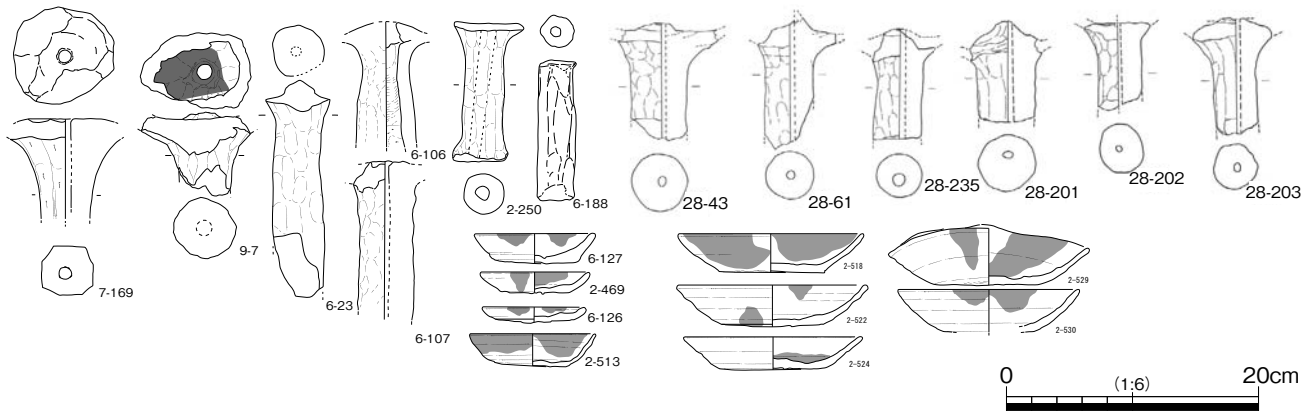


図 71 灯明具と考えられる資料

## 2. 中国産磁器

昭和 50 年代に行われた第 2・4～8 次調査では、輸入陶磁が出土した。その総数は接合作業後の破片点数で 786 点（註 1）であり、香川県内における中世前期遺跡での出土量としては最多となる。現段階で把握できるのは中国産磁器のみであり、陶器や高麗青磁は確認していない。本来であれば、その後の坂出市教委調査分や平成 21 年度以降の当センターの出土事例を加えた総合的な分析が必要であるが、ここではそのための叩き台として、所見を記しておく。なお以下の分類は、特記しない限り大宰府分類（註 2）を示す。

### 【讃岐国府跡での様相】

国府跡出土中国産磁器は、讃岐における前近代の在り土器編年（註 3）IV 期新相（10 世紀前葉後半～中葉前半）を上限とし、IX 期（14 世紀中葉～15 世紀前葉）を下限とする年代幅で捉えられる。

年代の上限は、越州窯青磁は出土状況から推測すると、白磁 I 類と同様に大宰府磁器区分 B 期（10 世紀後半～11 世紀中葉）を遡るものではないと判断される。また下限については、X・XI 期の在り土器に伴うと見られる漳州窯系染付皿が複数確認できる（カウントには入れていない）ものの、県内他遺跡では X 期に出現・普及している景德鎮窯系染付碗・皿や端反りの白磁皿（森田分類 E-2 類）が認められず、粗製の龍泉窯系青磁 IV 類碗もしくは上田分類 D 類碗と口禿の白磁 IX 類皿のセットを最終段階と見なすことができる。上記年代幅の中でも、在り土器 VII 期（12 世紀後葉～13 世紀中葉）が最も出土量の増加することが予測されるが、あくまで廃棄年代であることに留意しておく必要はあろう。

出土状況は大半が遺物包含層（耕作土含む）からの出土であり、遺構内のまとまった内容の土器群を構成するものは皆無に近い。このことは、在り土器との廃棄一括性や局所的な分布の偏在傾向といった、時間・空間的な枠組みでの考察を難しくさせる。以下では、そのようなマイクロに分解する分析ではなく、調査地点とその周辺での平均的な一定期間における累積量を示唆する資料として、中国産磁器を扱いたい。幸い、当該調査区の面積は 2,147 m<sup>2</sup> であり、広範な遺物・遺構分布を示す包蔵地としての讃岐国府跡の中ではポイント的な出方ともいえ、検出遺構群の年代幅や性格とも一定程度の関連性を考えることはできよう。

### 【組成の特徴】

分類別の破片点数の詳細は表 10 に譲り、組成の特徴を略記する。大別すると白磁 611 点・青白磁 2 点・青磁 173 点（うち越州窯系 4 点・龍泉窯系 93 点・同安窯系 71 点）、すなわち白磁 77.7%・青磁 22.0% となり、白磁が圧倒的に多い比率が示される。ただし上記のような出土状況を勘案すると、この比率は直接的に特定の年代の傾向を示すものでは

ない。

器種別に見ると、白磁では碗（小碗含む）494点・皿100点・鉢2点・壺（四耳壺・水注・小壺）15点、青磁では碗（小碗・浅形碗含む）132点・皿30点・香炉2点である。白磁・青磁ともに碗が主体で、皿が碗の1/5程度存在し、この2者すなわち供膳器種のみで大半を占める。白磁四耳壺のような奢侈品は、極めて少量にとどまる。

白磁碗を型式別に見ると、Ⅰ類3点・Ⅱ類35点・Ⅳ類255点・Ⅴ類107点・Ⅵ類10点・Ⅶ類1点・Ⅷ類49点・Ⅸ類4点・ⅩⅢ類1点であり、碗の過半が玉縁状口縁を伴う粗製のⅣ類である。

県内ではまだ類例がないⅠ類が、少数ながら見られることは注目される。また、越州窯系青磁がⅠ類碗3点と壺1点見られる。これ以外にもⅠ類碗が1点紹介されている（註4）ので、讃岐国府跡出土の越州窯系青磁は5点ということになり、現段階での県内出土例10点（註5）の半数を占めることになる。これらは、国府における中国産磁器の使用年代開始の早さと遺跡の特殊性を反映する要素といえよう。

龍泉窯系青磁碗は、劃花文に代表されるⅠ類55点、蓮弁文の施されたⅡ類21点と前者が多い。同安窯系青磁碗は、大半が内湾気味の直口縁をもち櫛目文が多用されるⅠ類（42点）である。また青磁皿では同安窯系Ⅰ類が圧倒的に多い。

#### 【県内諸遺跡との比較】

国府の様相を在土器Ⅵ・Ⅶ期の県内諸遺跡と比較する（表8）。当該期の遺跡からは中国産磁器が普遍的に出土するものの、多くが20点未満にとどまっているため、全遺跡にわたる細かな要素での比較は難しい。とはいえ一定量の出土が見られる事例、例えば高松城跡西の丸町A～C地区の港湾関連遺構からは、白磁碗Ⅱ類2点・Ⅳ類25点・Ⅴ類13点・Ⅷ類4点、皿Ⅲ類2点・Ⅵ類1点、青白磁合子1点、龍泉窯系青磁碗Ⅰ類4点・Ⅱ類2点、同安窯系青磁碗Ⅰ類8点・Ⅲ類1点、皿Ⅰ類1点が出土しており（註6）、その量比は讃岐国府跡に極めて近似した傾向をもつことが分かる。つまり組成は、国府も他遺跡もほぼ共通していることが推測される。

以上を踏まえた上で、各遺跡（調査区）に中国産磁器がどの程度もたらされているのかを表8に示した。面積は、出土陶磁器と関連性をもつと考えられる遺構の広がり概算であり、調査区全体の面積ではないことに留意されたい。まず讃岐国府跡では、中国産磁器出土の最も集中する第2・6次調査分で1.45㎡当たり1点、全調査区合計分で2.87㎡当たり1点出土していることになる。在地の有力階層の居館と推測される遺跡では、西打遺跡B2区建物群（Ⅵ期新相）で378.50㎡当たり1点、空港跡地遺跡F地区区画1（Ⅶ期古相～Ⅷ期古相）で310.87㎡当たり1点となり、国府合計分の1/100未満の出土密度ということが分かる。今回は集計に至っていないが、陶磁器の保有量でさほど居館との差異が指摘できない一般集落も、おそらく同程度の密度であろう。

国府と居館の中間の出土密度に位置付けられる遺跡が、2種類ある。一つは港湾施設やそれに近接・関連すると見られる流通中継点の遺跡（註7）である。汀線前面で礫敷き遺構（荷揚げ場）が検出された高松城下層遺跡（西の丸町B・C地区）では20.56㎡当たり1点、古・高松湾に面した海浜部の木太中村遺跡では32.10㎡当たり1点、児島の下津井を補完する港湾機能を有していた可能性がある櫃石島大浦浜遺跡では59.63㎡当たり1点であり、若干のばらつきがあるものの国府合計分の1/10～1/15程度の密度が読み取れる。もう一つは、手工業生産に関わる生産遺跡である。国府の南4kmに展開する陶工の同職集落と見られる西村遺跡では、小型窯と建物群がセットで捉えられる可能性のある箇所平均33.21㎡当たり1点の密度である。周辺に灌漑網を伴い、おそらく農業と鍛冶を生業としていたと見られる西末則遺跡J区建物群では、117.44㎡当たり1点とやや疎らになる。より農業への依存度が低いと考えられる西村遺跡で、流通中継点に近い出土密度をもつことに留意したい。

以上、国府での中国産磁器の出土密度は、在地の居館の100倍以上、生産遺跡の10～40倍、流通中継点の10～15倍、と整理することができる。表9に挙げる他地域での事例と比較すると、四万十川下流域の流通中継点と推測される具同中山遺跡（11～13世紀、高知県中村市）では16.27㎡当たり1点であり、高松城下層に近い。淀川北岸で山陽道に隣接する宮田遺跡A・B区集落（12世紀中葉～後半、大阪府高槻市）では5.17㎡で1点、上牧遺跡（11～14世紀）では95㎡で1点とばらつき（註8）が、讃岐の流通中継点を上回る出土密度と捉えることができる。博多遺跡群地下鉄1号線A・B区、祇園駅出入口2・3区（註9）では、11～16世紀までの年代幅ではあるが0.03㎡で1点となり、讃岐国府の100倍程度の出土密度を示す。鎌倉の若宮大路に近接した武家屋敷（註10）では、蔵屋敷遺跡

で0.74 m<sup>2</sup>当たり1点、蔵屋敷東遺跡で0.79 m<sup>2</sup>当たり1点であり、讃岐国府の4倍程度の出土密度を示す。平泉の柳御所遺跡（註11）では、内部地区（堀の内側）で33.33 m<sup>2</sup>に1点、外部地区で7.69 m<sup>2</sup>に1点であり、それぞれ讃岐国府の1/10、1/4程度となる。ただし柳御所遺跡では出土破片数の7割が白磁壺類であり、奢侈品に重点が置かれた組成を取るという顕著な特徴がある。鎌倉も同様であり、これらは讃岐国府のあり方とは対照的であることは押さえておく必要がある。

#### 【国府という場の特質】

在地土器Ⅵ・Ⅶ期における讃岐国府での中国産磁器のあり方は、①讃岐国内においては最多で圧倒的な出土密度を示すという量的特徴、②組成は他の遺跡と共通して奢侈品が少ない傾向にあるという質的特徴を、それぞれ確認することができた。先行する在地土器Ⅳ・Ⅴ期における越州窯系青磁（Ⅰ類碗）や邢窯・定窯系白磁（Ⅰ類碗）、といった精製品主体の状況は特徴②とは異質であるが、これらと同時共存した可能性のある国産施釉陶器が特徴②を先駆的に示すことも考えられる。

ところで讃岐国府における国産土器供膳器種は未だ数量的な把握を行っていないが、感覚的には同時期の他遺跡を大きく超えるような出土量は見出し難いといえる。つまり、最もベーシックな食器である在地土器と若干の畿内系土器が通常の形で存在するのに対し、中国産磁器は非奢侈品を主体に突出して過剰に存在していると評価できる。このような、「食器としての中国産磁器の絶対的過剰傾向」に、ステータス・シンボルとは異なる搬入事情を想定せざるを得ない（平泉における多量の白磁壺類の存在との質的相違）。

例えば「讃岐国府では中国産磁器限定で通常を超える大量消費が行われた」という解釈は、可能だろうか。潜在的な中国産磁器消費の志向が、国府という場で顕著に現れたと見るわけだが、その場合、(1)消費サイクルが著しく短くなる（讃岐国内通常の1/10～1/100のサイクルで）、(2)中国産磁器の使用量が著しく増加する（単位面積当たり通常の10～100倍の増加）、という個別事象ないしその組み合わせを想定する必要がある。しかし坂出市教委の調査分を含めても、建物遺構の数や規模の著しい増加・増大を認めるのは難しく、(2)のような事象は想定できない。また、短期での使い捨てを示唆するような一括廃棄も認められないこと、Ⅷ期古相までの在地土器碗・杯・小皿は安定的に存在するのにⅦ期には出現している龍泉窯系青磁碗Ⅱ類（蓮弁文タイプ）の量は既述のようにかなり少ないこと、などから急速な新陳代謝的使用が考え難いため、(1)の想定も難しい。やはり讃岐国府での中国産磁器には、遺跡内の消費量を超えた余剰品の保有がかなり認められる可能性が指摘できよう。遺跡の個別の事情を弾力的に考慮する必要はあるが、高松城下層遺跡でのあり方を参考にすると、讃岐では30 m<sup>2</sup>当たり1点を超えるような高密度出土例を目安として、その場での余剰品≒交易品の可能性を考えてもよいのではないだろうか。

高密度に出土する中国産磁器に交易品としての性格を考えるとすれば、讃岐国府は12世紀後葉～13世紀中葉における讃岐最大の交易品の保有地ということになる。その具体的なあり方については当該期の遺構論の深化を待つ必要があるが、中国産磁器が博多を対外的な窓口として二次的に国内流通したことは大枠では認められるであろうから、博多を起点とした二次的・三次的な西国の流通網に国府の経営層（註12）が何らかの形で関与したことが考えられる。

中世瀬戸内海の土器・陶磁器流通を素描した吉岡康暢氏の所論（註13）では、12世紀中葉～13世紀前半の中国陶磁は「博多・大宰府の寺社が京・畿内の寺社権門の末寺化し、宋商人をはじめとする海商も神人として組織され、京商人の主導下に瀬戸内を基幹コースとする求心流通が促進された」としている。その上で、都市だけでなく村落レベルにまで広範に中国陶磁が流通するのは、瓦器碗や東播系須恵器等の主体的な分布圏に表れる「大地域経済圏」の複合による広域海運網の確立と一体的な事象、として理解されている。いわば大都市を主目標とする飛び石的な遠隔地流通と、1国～隣接諸国の経済圏の連鎖による地域間流通の2つのあり方が構想されているわけである。讃岐国府への中国産磁器の搬入を、後者のようなモデルで捉えられるとすれば、高松城下層遺跡のような讃岐沿岸部に点在する港湾に個別に荷揚げされたものが国府へと集積されたと見る事が可能である。既述のように国府の中国産磁器の多くは余剰品≒交易品の可能性があるため、交易中継点としての港湾（Ⅵ・Ⅶ期にはまだ港町ではない）からかなりの量を引き寄せる強い吸引力をもつ装置（例えば市のようなもの）の存在が想定される。その場合、野原（高松城下層）では中国産磁器以上に和泉型瓦器碗・皿（Ⅰ・Ⅱ期主体）が組成の中心を占めているが、讃岐国府では瓦器は標準的な組成比であることが見込まれるため、中国産磁器に特化した吸引力が発揮されたことになる。あるいは瓦器は、高

松平野以東で特に顕著な存在感を示すため、専ら坂出平野以西の港湾経由で中国産磁器がもたらされたのだろうか。いずれにしても、流通中継点と国府との間にかなり歪んだモノの流れ方を想定せざるを得なくなる、という難点がある。

かかる意味で、国府の南4kmの綾川上流域で操業していた十瓶山窯製品の広域分布が注目される。十瓶山窯産甕は讃岐のほぼ全域の中世遺跡で確認できるが、讃岐以外では京都周辺と博多・大宰府周辺に事例の集中域があり（註14）、瀬戸内北岸の山陽諸国では現段階でもほとんど認めることができない。こうした分布状況は、生産地を中心にして次第に分布量を減じていくような同心円的な分布とは明らかに異質であり、明確に博多と京都に焦点を当てた流通のあり方が讃岐を起点に形成されていたことを示唆する。ところで十瓶山窯での同職村落的性格をもつ西村遺跡では、讃岐の流通中継点同等の中国産磁器出土密度をもつ（第1表）ことが注目でき、十瓶山窯での中国産磁器のあり方と、北部九州（博多）での十瓶山窯産甕のあり方は、あくまで讃岐からの視点ではあるが相補的と評価できよう。在地向けの西村型土器碗の流通が内陸部交通に大きく依拠していると推測されること（註15）を踏まえると、十瓶山窯の生産集団が中国産磁器の流通にも関与していた可能性が指摘できる。十瓶山窯では、白磁四耳壺を模倣した須恵器壺も製作されている。数としては少数派ではあるが中国産磁器模倣を明確に指向した生産は、同時期の東播磨系諸窯や亀山窯・勝間田窯では認められず、中国陶磁に対する十瓶山窯生産集団の強い関心がうかがわれる。そして十瓶山窯の所在地は、1256年（建長8）の「八坂神社文書」（「讃岐国司庁宣」）に「陶保」と見え、13世紀以前に成立した公領（国衙領）であることが確認できる。したがって、十瓶山窯と博多の相補的な遺物のあり方は、十瓶山窯生産集団が独自にもたらしたというよりも讃岐国府の経営層との強い繋がりによって可能になったと見る方が妥当ではないか。

むしろ、この吸引力を生み出した国府経営層の主体性を積極的に評価するのであれば、経営層の中核を担ったであろう在庁官人たちの経済活動という側面に焦点が当てられる。具体的には、国府に付随する交通機能を媒介して中国産磁器を入手した可能性である。

9世紀末葉、讃岐国司菅原道真（在任886～889：仁和2～寛平1）の漢詩「寒草十首」で「ただ要む／雇ひを受くること頻ならむことを」と詠われた「賃船人」は、国府津である松山津周辺（註16）に居住し貢納物回漕を請け負う梶取のことで推測され、1306年（嘉元4）の「昭慶門院御領目録案」に見える梶取名のように13～14世紀には給免田を与えられて依然国府と関連を有すると考えられる。また、平家に離反し備中水島に攻め上がり、敗退後には淡路福良まで逃走した「讃岐の在庁ども」を支えた機動力としても、これら梶取／船頭の存在が注目される。さらに1246年（寛元4）、海賊を追討した御家人の藤左衛門尉は在庁の流れを汲み、追討のための独自の海上機動力を基盤としていたことが想定される。以上から、12～13世紀の在庁官人が独自に「職人的海民」（註17）との繋がりを保有し続けたことは明らかで、「商品」としての中国産磁器が、国府という権力機構を構成する在庁たちの吸引力に依拠して流通する（再分配される）、という交易形態を考えておきたい。同様なあり方は周防においても指摘でき、周防国府を最多としながら吉敷郡周辺（吉田遺跡）にも中国陶磁が顕著に認められるのは、国府と吉敷郡に本拠をもつ大内氏（多々良氏）をはじめとする周防国在庁らの経済活動の一環として理解できる。

在地土器Ⅶ期新相ないしⅧ期には、讃岐国府での中国産磁器（白磁Ⅸ類を指標）は激減する。これに対しⅨ期の流通中継点である浜ノ町遺跡では40.27㎡当り1点の出土密度が見られ、この時期に急速な集落形成が進む港町でのあり方をよく示している。国府の一極的な求心力が低下し、それに代わる港町での多極的な流通の定着過程が、そこには反映されているのではないだろうか。

今回分類した中国産磁器は、報告・未報告資料に関わらず破片毎に型式を特定し、個別にメモ写真を添えてデータ化した上で収納している。限られた時間での整理ということもあり、一部に帰属型式が確定的でない状態のものもあるが、将来行われるであろう総括的な分析において個別の型式の確定とその組成のもつ意味がより明確にされることを期待したい。なお整理にあたり、中島恒次郎（太宰府市都市計画課）・片桐孝浩（香川県教育委員会）・上野進氏（香川県文化振興課）各氏の御教示を得た。

註

1. 渡部明夫 1982「讃岐出土の輸入陶磁」(『森貞次郎博士古稀記念古文化論集』)によると、第6次調査(1979年度、渡部氏は1977年度の「第5次調査」とするが、記述内容から1979年度の誤記と判断される)での輸入陶磁出土量を約680片とするが、今回の抽出作業では第6次調査出土点数は290点であり、大きく異なる。おそらく原稿執筆時(「1980年度までに6地点の発掘調査を実施したが」とあることから第7次調査までの発掘成果に接していたことになる)での讃岐国府跡出土総点数を渡部氏がカウントした概数が示されているのではないか。
2. 太宰府市教育委員会 2000『大宰府条坊跡XV 陶磁器分類編』
3. 佐藤竜馬 2015「讃岐における古代～中世土器編年をめぐる基礎作業(1) 9世紀後葉～11世紀前葉の供膳器種」『香川県埋蔵文化財センター年報』平成26年度
4. 片桐孝浩 1992「考察 古代から中世にかけての土器様相」『中小河川大東川改修工事(津ノ郷橋～弘光橋間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 川津元結木遺跡』(財)香川県埋蔵文化財調査センターほか
5. 讃岐国府跡5点、柞田八丁遺跡1点(椀)、旧練兵場遺跡1点(水注)、下川津遺跡1点(椀)、大浦浜遺跡2点(椀)
6. 報告資料として抽出された数であり、全出土点数ではないものの、大勢としては大きな変化はないと考える。
7. 流通中継「点」としたのは、まだこの時期には港湾と集落が一体化したような「港町」が本格的な形成に至っていないと見られることによる。このタイプの3遺跡は、直近に建物遺構が認められない海浜部での状況が想定できる。Ⅸ期から「港町」的な景観が形成される(浜ノ町遺跡)が、それはこの遺跡が所在する野原や、讃岐を代表する港町の宇多津・仁尾・志度などの町場形成と相前後して連動する現象と捉えられる。
8. 橋本久和 1984「高槻市上牧・宮田遺跡出土の中国陶磁」『貿易陶磁研究』No.4、日本貿易陶磁研究会
9. 池崎譲二 1984「博多出土陶磁器の組成について」『貿易陶磁研究』No.4、日本貿易陶磁研究会
10. 手塚直樹 1984「鎌倉出土の陶磁器について」『貿易陶磁研究』No.4、日本貿易陶磁研究会
11. 八重樫忠郎 1996「輸入陶磁器から見た柳御所跡—内部地区と外部地区—」『中近世土器の基礎研究』XI、日本中世土器研究会
12. この時期の讃岐国府には留守所(1062～1292年：康平5～正応5まで文書発給)が置かれ、在地有力層や土着貴族層からなる在庁官人がいたことが諸史料から確認できる。留守所の文書を見ると、当初は在地有力層(佐伯・凡・綾等)が「府老」「大國造」「大掾」を名乗る段階があり、1084年(応徳1)以降は中央貴族(藤原・橘・紀等)が大介として署名し在地有力層の連署が見られなくなる段階へと変化するが、このことはもちろん在地有力層の凋落を示すのでないことは、1184年(寿永3)に平家から離反した「阿波讃岐の在庁ども」(『平家物語』)で、源頼朝の御家人となった14名(『吾妻鏡』)のうち藤大夫資光以下6名が綾氏の流れを汲む讃岐藤原氏、5名が三野首領の一族であることからもうかがえる。
13. 吉岡康暢 1997「新しい交易体系の成立」『考古学による日本歴史』9 交易と交通、雄山閣
14. 博多遺跡群では、報告書掲載分だけでも十瓶山窯産甕の可能性をもつものが14例認められる。これに大宰府、武蔵寺経塚(福岡県筑紫野市)、山ノ下経塚(大分県中津市)、鏡神社経塚(佐賀県唐津市)等の事例を加えると、博多を中心とした北部九州に明確な分布集中域が認められる。
15. 高松城下層の港湾施設周辺では、西村型土器椀の存在は極めて少数派であり、沿岸部海上交通による讃岐国内の流通はさほど顕著ではなかったといえる。
16. 「松山津」は、しばしば比定地が取沙汰される雄山・雌山東側の内湾部(松山郷)にとどまらず、広義にはその西側の旧綾川河口部周辺(林田郷)を含めた方が、国府津としての機能をより明確に示せると考える。梶取名(現在の坂出市林田町東梶・西梶)や、臨海部の交易中継点と推測される総社神社遺跡(8～12世紀)は、林田郷に存在する。
17. 網野善彦 2004「海民の諸身分とその様相」『網野善彦著作集第7巻 中世の非農業民と天皇』岩波書店(初出は1971)



種別	遺跡名	面積 (㎡)	対象範囲	点数/㎡	㎡/点	出土点数
国府	讃岐国府跡	2255	全調査区合計	0.349点/㎡	2.87㎡/点	786
		2147	輸入陶磁出土地区合計	0.366点/㎡	2.73㎡/点	786
		920	1977・79限定	0.691点/㎡	1.45㎡/点	636
流通中継点	大浦浜遺跡	23100	全調査区合計	0.017点/㎡	59.63㎡/点	394
	木太中村遺跡	642	調査区全体	0.031点/㎡	32.1㎡/点	20
	高松城西の丸町B・C	1357	礫敷き周辺	0.049点/㎡	20.56㎡/点	66
生産集落	西村遺跡Ⅱ・Ⅲ	4113	Ⅱ 西村北地区東部	0.019点/㎡	51.41㎡/点	約80
		1529	Ⅱ 川北地区	0.013点/㎡	76.45㎡/点	20
		2728	Ⅲ 山原地区	0.056点/㎡	17.95㎡/点	152
	8370	上記3地点合計	0.030点/㎡	33.21㎡/点	252	
	西末則遺跡J区	5050	屋敷地2単位	0.008点/㎡	117.44㎡/点	約43
居館	西打遺跡B2区	3028	屋敷地56.5×53.6m	0.0026点/㎡	378.50㎡/点	8
	空港跡地Ⅳ区画1	14300	屋敷地110×130m	0.0032点/㎡	310.87㎡/点	46

博多地下鉄1号線A・B区	644		45.464点/㎡	0.02㎡/点	29279
博多祇園駅出入口2・3区	440		8.625点/㎡	0.12㎡/点	3795
上記合計	1084		30.511点/㎡	0.03㎡/点	33074
宮田遺跡A・B区	594		0.194点/㎡	5.17㎡/点	115
鎌倉蔵屋敷遺跡	650		1.357点/㎡	0.74㎡/点	882
鎌倉蔵屋敷東遺跡	240		1.258点/㎡	0.79㎡/点	302
具同中山遺跡	9000	14世紀以降を除く	0.061点/㎡	16.27㎡/点	553
浜ノ町遺跡	1450		0.025点/㎡	40.27㎡/点	36

表8 讃岐国府跡中国磁器出土点数と県内・外主要遺跡との比較

遺跡名	調査回数	出土遺構	所属時期					文献
			Ⅵ古・中	Ⅵ新	Ⅶ古	Ⅶ中・新	不明	
博多遺跡群		70号井戸					2	福岡市教委1988『福岡市埋蔵文化財調査報告書第184集 都市計画道路博多駅築港線関係埋蔵文化財調査報告(Ⅱ) 博多』
		SX33		1				福岡市教委1989『福岡市埋蔵文化財調査報告書第205集 都市計画道路博多駅築港線関係埋蔵文化財調査報告Ⅳ 博多』
		954号土坑	1					
	77	490号遺構		1				福岡市教委1995『福岡市埋蔵文化財調査報告書第394集 博多45博多遺跡群第77次調査の概要』
	85	1443号遺構	1					福岡市教委1997『福岡市埋蔵文化財調査報告書第522集 博多57博多遺跡群第85次調査の概要』
		425号遺構		1				福岡市教委2002『福岡市埋蔵文化財調査報告書第706集 博多80御供所疎開跡地道路関係埋蔵文化財調査報告書』
	142	SE-159		1				福岡市教委2005『福岡市埋蔵文化財調査報告書第848集 博多102博多遺跡群第142次調査の概要』
	172	SD240		1				福岡市教委2010『福岡市埋蔵文化財調査報告書第1086集 博多135 博多遺跡群第172次調査報告』
		SK288		1				
		D区SK-539	1					
188	SE1053					1	福岡市教委2011『福岡市埋蔵文化財調査報告書第1125集 博多142 博多遺跡群第188次調査報告』	
191	SE032		2				福岡市教委2013『福岡市埋蔵文化財調査報告書第1197集 博多144 博多遺跡群第191次調査報告』	
合計			3	8	0	0	3	14

表9 博多遺跡群出土の十瓶山窯産の可能性をもつ須恵器甕



参考・引用文献

- 出石一雄 1974 「讃岐の古代中心地域における条里と国府」『五色台の自然 -1-』香川県自然科学館
- 岡田唯吉 1942 「讃岐國々府遺蹟考」『鎌田共済会叢書第四輯』
- 片桐孝浩 1995 「讃岐出土の東北系土器について -特に黒色土器について-」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要Ⅲ』財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
- 木下晴一 1997 「讃岐国分寺跡」『空から見た古代遺跡と条里』大明堂
- 木下 良 1975 「山陰・山陽・南海」『日本歴史地理総説』
- 木下 良 1977 「国府の十字街について」『歴史地理学会紀要』
- 木下 良 1983 「地方都市」『講座考古地理学第2巻古代都市』学生社
- 金田章裕 1988 「第六章条里と村落生活第3節讃岐の条里遺構」『香川県史1 原始・古代』
- 金田章裕 1995 「国府の形態と構造について」『国立歴史民俗博物館研究報告第63集』国立歴史民俗博物館
- 佐藤竜馬 2012 「讃岐国府周辺における土地利用形態 -発掘調査成果からの素描-」『香川県埋蔵文化財センター研究紀要』8
- 角田文衛 1938 「国分寺の設置」『国分寺の研究』
- 角田文衛 1958 「国府と国分寺」『国府の歴史地理学的研究』
- 角田文衛 1996 「国分寺の創設」『新修国分寺の研究第6巻』吉川弘文館
- 乗松真也 2010 「大正期における綾歌郡府中村の史跡調査 -史蹟名勝天然記念物保存法施行に伴う一地方自治体の対応-」『香川県埋蔵文化財センター研究紀要Ⅵ』香川県埋蔵文化財センター
- 藤井直正 1978 「讃岐開法寺考」『史迹と美術』第485号
- 藤岡謙二郎 1958 「都市と交通路の歴史地理学的研究」大明堂
- 川畑進・松本豊胤 1977 「開法寺跡」『佛教藝術』116号佛教藝術学会編 毎日新聞社
- 森下英治 1997 「丸亀平野条里型地割の考古学的検討」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要Ⅴ特集7世紀の讃岐』
- 米崎 旭・乗松真也 2003 「宇多津町伊勢町遺跡について」『香川史学』30号香川史学会
- 渡部明夫 1980 「讃岐国の須恵器生産について」『鏡山猛先生古稀記念古文化論叢』鏡山猛先生古稀記念論文集刊行会
- 渡部明夫 1983 「讃岐国府跡の発掘調査と問題点」『香川史学』第13号
- 渡部明夫 2006 「讃岐国分寺の考古学的研究」
- 渡邊 誠 2009 「地方における有様式平窯の受容と展開 -讃岐国の事例から-」『香川考古第11号』香川考古刊行会
- 渡邊 誠 2014 「史跡讃岐国分尼寺跡の伽藍とその造営」『考古学研究会岡山9月例会発表資料』
- 香川県教育委員会ほか 2004 『サンポート高松総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第6冊 浜ノ町遺跡』
- 香川県教育委員会 2007 『空港跡地遺跡Ⅸ』
- 香川県教育委員会 2011 『平成22年度香川県内遺跡発掘調査 讃岐国府跡発掘調査概報』
- 香川県教育委員会 2013 『平成23・24年度香川県内遺跡発掘調査 讃岐国府跡発掘調査概報』
- 香川県教育委員会 2014 『平成25年度香川県内遺跡発掘調査 讃岐国府跡発掘調査概報』
- 香川県埋蔵文化財センター 2010 『讃岐国府跡を探る』
- 香川県埋蔵文化財センター 2011 『讃岐国府跡探索事業平成21・22年度地形・地名調査報告』
- 香川県埋蔵文化財センター 2013 『讃岐国府跡探索事業平成23・24年度地形・地名調査 讃岐国府跡の既往の調査成果の検討 穴薬師(綾織塚)古墳の確認調査』
- 香川県埋蔵文化財センター 2014 『讃岐国府跡探索事業平成25年度新宮古墳・醍醐3号墳の確認調査』
- 高松市歴史資料館 1996 『第11回特別展讃岐の古瓦展』
- 善通寺市教育委員会 2003 『四国学院大学構内遺跡発掘調査報告書』

次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
2	11	1	SD77001最上層		B1	土師質土器	小皿	
2	11	2	SD77001最上層	B1	礫混	土師質土器	小皿	
2	11	3	SD77001最上層		B1	土師質土器	小皿	
2	11	4	SD77001最上層		B1	土師質土器	小皿	
2	11	5	SD77001最上層		B1	土師質土器	杯	
2	11	6	SD77001最上層		B1	白磁	碗	白磁碗Ⅱ 1
2	11	7	SD77001最上層		B1	青磁	碗	龍泉窯系青磁碗Ⅰ 不明
2	11	8	SD77001最上層		B1	須恵器	碗	
2	11	9	SD77001最上層		B1	須恵器	碗	
2	11	10	SD77001最上層		B1	須恵器	燗台形	
2	11	11	SD77001最上層		B1	須恵器	燗台形	
2	11	12	SD77001最上層		B1	緑釉瓦	瓦	軒先瓦？
2	11	13	SD77001最上層		B1	瓦	扁行唐草文軒平瓦	開法寺 KH202 型式
2	11	14	SD77001最上層		B1	瓦	扁行唐草文軒平瓦	開法寺 KH203 型式
2	11	15	SD77001最上層		B1	瓦	扁行唐草文軒平瓦	開法寺 KH203 型式
2	11	16	SD77001最上層		B1	瓦	11葉単弁蓮華文軒丸瓦	讚岐国府式 KF101 型式
2	11	17	SD77001最上層		B1	瓦	11葉単弁蓮華文軒丸瓦	讚岐国府式 KF101 型式
2	11	18	SD77001最上層		B1	瓦	軒丸瓦	讚岐国府式 KF101 型式？
2	11	19	SD77001a	A1		黒色土器	碗	
2	11	20	SD77001a	B1		須恵器	碗	
2	11	21	SD77001a	B1		土師質土器	足釜	
2	11	22	SD77001 b	C1		須恵器	碗	
2	11	23	SD77001 b	B1		瓦	丸瓦	玉縁式
2	11	24	SD77001 b	B1		瓦	扁行唐草文軒平瓦	
2	11	25	SD77001 c	C1		土師質土器	小皿	
2	11	26	SD77001 c	C1		土師質土器	小皿	
2	11	27	SD77001 c	C1		土師質土器	小皿	
2	11	28	SD77001 c	C1		土師質土器	小皿	
2	11	29	SD77001 c	D1		土師質土器	小皿	
2	11	30	SD77001 c	C1		土師質土器	台付皿	
2	11	31	SD77001 c	C1		土師質土器	杯	
2	11	32	SD77001 c	D1		土師質土器	杯	
2	11	33	SD77001 c	C1		土師質土器	杯	
2	11	34	SD77001 c	D1		土師質土器	杯	
2	11	35	SD77001 c	C1		須恵器	碗	
2	11	36	SD77001 c	C1		須恵器	碗	
2	11	37	SD77001 c	D1		須恵器	碗	
2	11	38	SD77001 c	C1		土師質土器	碗	
2	11	39	SD77001 c	C1		土師質土器	碗	
2	11	40	SD77001 c	C1		土師質土器	碗	
2	11	41	SD77001 c	C1		瓦器	碗	
2	11	42	SD77001 c	C1		白磁	碗	白磁碗Ⅳ口縁非 c
2	11	43	SD77001 c	C1		青磁	碗	白磁碗Ⅳ 不明
2	11	44	SD77001 c	C1		黒色土器	碗	
2	11	45	SD77001a ~ c	C1		土師質土器	小皿	
2	11	46	SD77001a ~ c	B1		須恵器	小皿	
2	11	47	SD77001a ~ c	B1		土師質土器	碗	
2	11	48	SD77001a ~ c	C1		青磁	碗	龍泉窯系青磁碗Ⅱ b
2	11	49	SD77001a ~ c	B1		青磁	碗	同安窯系青磁碗Ⅰ 1b
2	11	50	SD77001a ~ c	C1	C2	白磁	碗	白磁碗Ⅴ 2a
2	11	51	SD77001a ~ c	A1		須恵器	鉢	
2	11	52	SD77001a ~ c	C1	C2	瓦	丸瓦	
2	11	53	SD77002	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	54	SD77002	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	55	SD77002	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	56	SD77002	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	57	SD77002	C1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	58	SD77002	C1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	59	SD77002	C1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	60	SD77002	C1		須恵器	鉢	遺構位置不明
2	11	61	SD77003	E1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	62	SD77003	E1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	63	SD77003	E1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	11	64	SD77003	E1		土師質土器	杯	遺構位置不明
2	11	65	SD77003	E1		土師質土器	杯	遺構位置不明
2	11	66	SD77003	E1		土師質土器	杯	遺構位置不明
2	11	67	SD77003	E1		土師質土器	杯	遺構位置不明
2	11	68	SD77003	E1		青磁	碗	同安窯系青磁碗Ⅰ 1b 遺構位置不明
2	11	69	SD77003	E1		瓦器	碗	遺構位置不明
2	11	70	SD77003	E1		瓦器	碗	遺構位置不明
2	11	71	SD77003	E1		須恵器	碗	遺構位置不明
2	11	72	SD77003	E1		土師質土器	碗	遺構位置不明
2	12	73	SE77001		上層礫群	瓦	均整唐草文軒平瓦	讚岐国分寺 SKM01B 型式
2	13	74	SK77001	D1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	13	75	SK77001	D1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	13	76	SK77001	D1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	13	77	SK77001	D1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	13	78	SK77001	D1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	13	79	SK77001	D1		土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	13	80	SK77001	D1		土師質土器	杯	遺構位置不明
2	13	81	SK77001	D1		土師質土器	杯	遺構位置不明
2	13	82	SK77001	D1		瓦器	碗	遺構位置不明
2	13	83	SK77001	D1		瓦器	碗	遺構位置不明
2	13	84	SK77001	D1		瓦器	碗	遺構位置不明
2	13	85	SK77001	D1		瓦器	碗	遺構位置不明
2	13	86	SK77001	D1		黒色土器	碗	遺構位置不明
2	13	87	SK77001	D1		石器	石硯	遺構位置不明
2	13	88	SK77014	C1		土師質土器	皿	遺構位置不明
2	13	89	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	90	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	91	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	92	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	93	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	94	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	95	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	96	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	97	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	98	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	99	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	100	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	101	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	102	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	103	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	104	SX77001	C1		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	105	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	106	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	107	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	108	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	109	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	110	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	111	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	112	SX77001	C2		土師質土器	小皿	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	113	SX77001	C2		土師質土器	杯	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	114	SX77001	C2		土師質土器	杯	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	115	SX77001	C2		土師質土器	杯	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い
2	13	116	SX77001	C2		土師質土器	杯	遺構位置不明、SD77001 最上層の可能性が高い



次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
2	14	225	SX77014		C1	白磁	碗	白磁碗IV口縁非c 遺構位置不明
2	14	226	SX77014		C1	須恵器	碗	遺構位置不明
2	14	227	SX77014		C1	土師質土器	杯	遺構位置不明
2	14	228	SX77014		C1	土師質土器	杯	遺構位置不明
2	14	229	SX77014		C1	土師質土器	杯	遺構位置不明
2	14	230	SX77014		C1	土師質土器	杯	遺構位置不明
2	14	231	SX77014		C1	土師質土器	杯	遺構位置不明
2	14	232	SX77014		C1	土師質土器	杯	遺構位置不明
2	14	233	SX77014		C1	土師質土器	杯	遺構位置不明
2	14	234	SX77014		B1	黒色土器	碗	遺構位置不明
2	14	235	SX77014		C1	瓦器	碗	遺構位置不明
2	14	236	SX77014		B1	白磁	碗	白磁碗IV 2a 遺構位置不明
2	14	237	SX77014		C1	須恵器	甕	遺構位置不明
2	14	238	SX77015		B1	土師質土器	杯	遺構位置不明
2	14	239	SX77015		B1	土師質土器	杯	遺構位置不明
2	14	240	SX77015		B1	須恵器	碗	遺構位置不明
2	14	241	SX77015		B1	須恵器	鉢	遺構位置不明
2	14	242	SX77015		B1	須恵器	鉢	遺構位置不明
2	14	243	SX77016		C1	土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	14	244	SX77016		C1	土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	14	245	SX77016		C1	灰釉陶器	碗	遺構位置不明
2	14	246	SX77016		C1	瓦器	碗	遺構位置不明
2	14	247	SX77017		C1	土師質土器	小皿	遺構位置不明
2	14	248	SX77018		B1	須恵器	甕	遺構位置不明
2	14	249	SX77018		B1	須恵器	鉢	遺構位置不明
2	14	250	SX77018		B1	土製品	燗足釜	遺構位置不明
2	14	251	SX77018		B1	土師質土器	足釜	遺構位置不明
2	14	252	SX77018		B1	土師質土器	足釜	遺構位置不明
2	15	253	段状遺構		7層	瓦	瓦	十葉素弁蓮華文軒丸瓦 開法寺 KH101 型式
2	15	254	段状遺構		7層	黒色土器	杯	
2	15	255	段状遺構	A2	6層	須恵器	蓋	
2	15	256	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	257	段状遺構		6層	須恵器	蓋	
2	15	258	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	259	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	260	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	261	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	262	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	263	段状遺構	D2	6層	須恵器	蓋	
2	15	264	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	265	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	266	段状遺構		6層	須恵器	蓋	
2	15	267	段状遺構	A2	6層	須恵器	蓋	
2	15	268	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	269	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	270	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	271	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	272	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	273	段状遺構		6層	須恵器	蓋	
2	15	274	段状遺構		6層	須恵器	蓋	
2	15	275	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	276	段状遺構	A2	6層	須恵器	杯	
2	15	277	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	278	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	279	段状遺構	A2	6層	須恵器	杯	
2	15	280	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	281	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	282	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	283	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	284	段状遺構	A2	6層	須恵器	杯	
2	15	285	段状遺構	A2	6層	須恵器	杯	
2	15	286	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	287	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	288	段状遺構	A2	6層	須恵器	杯	
2	15	289	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	290	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	291	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	292	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	293	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	294	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	295	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	296	段状遺構	A2	6層	須恵器	杯	
2	15	297	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	298	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	299	段状遺構		6層	須恵器	杯	
2	15	300	段状遺構	A2	6層	須恵器	杯	
2	15	301	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	302	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	303	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	304	段状遺構	B2	6層	須恵器	杯	
2	15	305	段状遺構	A2	6層	須恵器	皿	
2	15	306	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	307	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	308	段状遺構	A2	6層	須恵器	皿	
2	15	309	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	310	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	311	段状遺構	A2	6層	須恵器	皿	
2	15	312	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	313	段状遺構		6層	須恵器	皿	
2	15	314	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	315	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	316	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	317	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	見込みにヘラ記号
2	15	318	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	319	段状遺構	B2	6層	須恵器	皿	
2	15	320	段状遺構	A2	6層	須恵器	皿	
2	15	321	段状遺構	B2	6層	須恵器	盤	
2	15	322	段状遺構	A2	6層	須恵器	高坏	
2	15	323	段状遺構	B2	6層	須恵器	高坏	
2	15	324	段状遺構	B2	6層	須恵器	高坏	
2	15	325	段状遺構	A2	6層	須恵器	高坏	
2	15	326	段状遺構	B2	6層	須恵器	蓋	
2	15	327	段状遺構	B2	6層	須恵器	壺	水瓶 他地域産
2	15	328	段状遺構		6層	須恵器	長頸壺	
2	15	329	段状遺構	A2	6層	須恵器	双耳杯	
2	15	330	段状遺構	A2	6層	須恵器	円面碗	
2	15	331	段状遺構	A2	6層	須恵器	転用碗	蓋内面を碗面に転用
2	15	332	段状遺構		6層	須恵器	転用碗	蓋内面を碗面に転用
2	15	333	段状遺構	B2	6層	須恵器	転用碗	杯見込みを碗面に転用
2	15	334	段状遺構		6層	須恵器	転用碗	甕胴部内面を碗面に転用
2	15	335	段状遺構	B2	6層	土師質土器	杯	
2	15	336	段状遺構		6層	土師質土器	杯	
2	15	337	段状遺構	B2	6層	土師質土器	杯	異形品
2	15	338	段状遺構	B2	6層	土師質土器	杯	異形品
2	15	339	段状遺構		6層	須恵器	甕	
2	15	340	段状遺構	B2	6層	須恵器	甕	

次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
2	16	341	段状遺構	B2	6層	黒色土器	杯	
2	16	342	段状遺構	B2	6層	黒色土器	杯	
2	16	343	段状遺構	A2	6層	黒色土器	杯	
2	16	344	段状遺構	A2	6層	黒色土器	杯	
2	16	345	段状遺構	A2	6層	黒色土器	杯	
2	16	346	段状遺構	A2	6層	黒色土器	杯	
2	16	347	段状遺構	A2	6層	黒色土器	杯	
2	16	348	段状遺構	B2	6層	黒色土器	高坏	
2	16	349	段状遺構	B2	6層	土師器	甕	
2	16	350	段状遺構	B2	6層	土師器	甕	
2	16	351	段状遺構	A2	6層	土師器	甕	
2	16	352	段状遺構	B2	6層	土師器	甕	
2	16	353	段状遺構	B2	6層	土師器	甕	
2	16	354	段状遺構	B2	6層	土師器	甕	
2	16	355	段状遺構	B2	6層	土師器	甕	
2	16	356	段状遺構		6層	瓦	移動式甕	
2	16	357	段状遺構	A2	6層	瓦	瓦罔	玉縁式
2	16	358	段状遺構	B2	6層	白磁	焼成硬質・砂粒少	白磁鉢Ⅲ 上位層からの混入品
2	16	359	段状遺構	B2	6層	土師器	杯	上位層からの混入品
2	16	360	段状遺構	B2	6層	土師器	杯	上位層からの混入品
2	16	361	段状遺構	B2	6層	土師器	台付皿	上位層からの混入品
2	16	362	段状遺構	B2	6層	土師器	杯	上位層からの混入品
2	16	363	段状遺構	B2	6層	土師器	杯	上位層からの混入品
2	16	364	段状遺構	B2	6層	土師器	杯	上位層からの混入品
2	16	365	段状遺構	B2	6層	土師器	杯	上位層からの混入品
2	17	366	段状遺構	B2	5層	須恵器	蓋	
2	17	367	段状遺構	A2	5層	須恵器	蓋	
2	17	368	段状遺構	B2	5層	須恵器	蓋	
2	17	369	段状遺構	A2	5層	須恵器	蓋	
2	17	370	段状遺構	B2	5層	須恵器	蓋	
2	17	371	段状遺構	A2	5層	須恵器	蓋	
2	17	372	段状遺構	B2	5層	須恵器	杯	
2	17	373	段状遺構	A2	5層	須恵器	壺	天井部に別個体融着
2	17	374	段状遺構	A2	5層	須恵器	壺	他地域?
2	17	375	段状遺構	A2	5層	須恵器	転用硯	蓋内面を硯面に転用
2	17	376	段状遺構	C2	5層	須恵器	転用硯	臑胴部内面を硯面に転用
2	17	377	段状遺構	A2・B2	5層	須恵器	鉢	他地域産(西播磨)
2	17	378	段状遺構	A2	5層	須恵器	鉢	
2	17	379	段状遺構	B2	5層	緑袖陶器	碗	近江産 10c
2	17	380	段状遺構	B2	5層	灰袖陶器	碗	美濃産 10c 後半
2	17	381	段状遺構	A2	5層	黒色土器	杯	
2	17	382	段状遺構	B2	5層	土師器	杯	
2	17	383	段状遺構	B2	5層	土師器	杯	
2	17	384	段状遺構	A2	5層	土師器	杯	
2	17	385	段状遺構	A2	5層	土師器	杯	
2	17	386	段状遺構	B2	5層	土師器	杯	
2	17	387	段状遺構	C2	5層	黒色土器	碗	
2	17	388	段状遺構	A2	5層	土師器	台付皿	
2	17	389	段状遺構	A2	5層	土師器	台付皿	
2	17	390	段状遺構	C2	5層	土師器	台付皿	
2	17	391	段状遺構	B2	5層	土師器	台付皿	
2	17	392	段状遺構	B2	5層	土師器	台付皿	
2	17	393	段状遺構	B2	5層	土師器	杯	
2	17	394	段状遺構	A2	5層	土師器	台付皿	
2	17	395	段状遺構	C2	5層	土師器	台付皿	
2	17	396	段状遺構	C2	5層	土師器	台付皿	
2	17	397	段状遺構	B2	5層	弥生土器	甕	遠賀川式土器
2	17	398	段状遺構	A2	5層	瓦	平瓦	
2	17	399	段状遺構	C2	5層	瓦	八葉複弁蓮華文軒丸瓦	鴨廃寺 KM107B 型式
2	17	400	段状遺構	B2	5層	瓦	瓦罔	焼成硬質・砂粒少
2	17	401	段状遺構	B2	4~5層	土師器	杯	
2	17	402	段状遺構	A2	4~5層	土師器	皿	
2	17	403	段状遺構	A2	4~5層	土師器	小皿	
2	17	404	段状遺構	A2	4~5層	土師器	小皿	
2	17	405	段状遺構	B2	4~5層	土師器	小皿	
2	17	406	段状遺構	B2	4~5層	土師器	小皿	
2	17	407	段状遺構	B2	4~5層	土師器	小皿	
2	17	408	段状遺構	A1	4~5層	土師器	小皿	
2	17	409	段状遺構	B2	4~5層	土師器	杯	
2	17	410	段状遺構	A2	4~5層	土師器	杯	
2	17	411	段状遺構	B2	4~5層	黒色土器	碗	
2	17	412	段状遺構	A2	4~5層	黒色土器	碗	
2	17	413	段状遺構	B2	4~5層	土師器	碗	
2	17	414	段状遺構	B2	4~5層	土師器	碗	吉備系?
2	17	415	段状遺構	B2	4~5層	土師器	碗	吉備系?
2	17	416	段状遺構	B2	4~5層	土師器	碗	
2	17	417	段状遺構	A2	4~5層	土師器	碗	
2	17	418	段状遺構	A2	4~5層	土師器	碗	
2	17	419	段状遺構	A2	4~5層	土師器	碗	
2	17	420	段状遺構	B2	4~5層	須恵器	碗	
2	17	421	段状遺構	A2	4~5層	瓦器	碗	楠葉型
2	17	422	段状遺構	A3	4~5層	土師器	杯	
2	17	423	段状遺構	A2	4~5層	土師器	台付皿	
2	17	424	段状遺構	A2	4~5層	土師器	台付皿	
2	17	425	段状遺構	A3	4~5層	白磁	碗	白磁碗Ⅳ類口縁非C類
2	17	426	段状遺構	B2	4~5層	白磁	碗	白磁碗Ⅶ2類
2	17	427	段状遺構	B2	4~5層	須恵器	鉢	
2	17	428	段状遺構	A2	4~5層	須恵器	鉢	
2	17	429	段状遺構	B2	4~5層	土師器	鉢	
2	18	430	段状遺構	C2	4層	土師器	小皿	
2	18	431	段状遺構	B2	4層	土師器	小皿	
2	18	432	段状遺構	B2	4層	土師器	小皿	
2	18	433	段状遺構		4層	土師器	小皿	
2	18	434	段状遺構	B2	4層	土師器	小皿	
2	18	435	段状遺構	B2	4層	土師器	小皿	
2	18	436	段状遺構	B2	4層	土師器	小皿	
2	18	437	段状遺構	B2	4層	土師器	小皿	
2	18	438	段状遺構	B2	4層	土師器	小皿	
2	18	439	段状遺構	B2	4層	土師器	小皿	

次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
2	18	440	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	441	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	442	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	443	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	444	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	445	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	446	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	447	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	皿	
2	18	448	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	449	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	450	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	451	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	452	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	453	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	454	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	455	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	456	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	457	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	458	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	459	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	460	段状遺構	B1	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	461	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	462	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	463	段状遺構	B1	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	464	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	465	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	466	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	467	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	468	段状遺構	B1	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	469	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	口縁内外面に油煙付着
2	18	470	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	471	段状遺構		4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	472	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	473	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	474	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	475	段状遺構		4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	476	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	477	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	478	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	479	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	480	段状遺構		4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	481	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	482	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	483	段状遺構		4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	484	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	485	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	486	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	487	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	488	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	489	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	490	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	491	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	492	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	493	段状遺構		4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	494	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	495	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	496	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	
2	18	497	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	小皿	



次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
2	18	498	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	499	段状遺構		4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	500	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	501	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	502	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	503	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	504	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	505	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	506	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	507	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	508	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	509	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	510	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	小皿	
2	18	511	段状遺構	B2	4層土器溜	須恵器	皿	
2	18	512	段状遺構		4層土器溜	須恵器	皿	
2	18	513	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	口縁内外面に油煙付着
2	18	514	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	515	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	516	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	517	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	518	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	口縁内外面に油煙付着
2	18	519	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	520	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	521	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	522	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	口縁内外面に油煙付着
2	18	523	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	524	段状遺構		4層土器溜	土師質土器	杯	見込みに油煙付着
2	18	525	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	526	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	527	段状遺構		4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	528	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	529	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	口縁内外面に油煙付着
2	18	530	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	口縁内外面に油煙付着
2	18	531	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	532	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	533	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	534	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	535	段状遺構	B1	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	536	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	537	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	538	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	539	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	540	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	541	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	542	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	543	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	544	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	545	段状遺構	B1	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	546	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	547	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	548	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	549	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	550	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	551	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	台付皿	
2	18	552	段状遺構	B2	4層土器溜	土師質土器	台付皿	
2	18	553	段状遺構	A2	4層土器溜	土師質土器	杯	
2	18	554	段状遺構	A2	4層土器溜	瓦器	椀	
2	18	555	段状遺構	B2	4層土器溜	瓦器	椀	

次数	挿入番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
2	18	556	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	瓦器	椀	
2	18	557	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	瓦器	椀	
2	18	558	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	瓦器	椀	
2	18	559	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	瓦器	椀	
2	18	560	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	瓦器	椀	
2	18	561	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	瓦器	椀	
2	18	562	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	椀	
2	18	563	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	椀	
2	18	564	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	椀	
2	18	565	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	須恵器	椀	
2	18	566	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	須恵器	椀	
2	18	567	段状遺構	B1	4層土器溜 j)	須恵器	椀	
2	18	568	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	須恵器	椀	
2	18	569	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	須恵器	椀	
2	18	570	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	須恵器	椀	
2	18	571	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	椀	吉備系
2	18	572	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	573	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	574	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	575	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	576	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	577	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	578	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	579	段状遺構	B1・B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	580	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	581	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	582	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	583	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	18	584	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	椀	
2	18	585	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	土師質土器	椀	
2	18	586	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	土師質土器	椀	
2	19	587	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	19	588	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	19	589	段状遺構	B2・C2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	19	590	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	19	591	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	黑色土器	椀	
2	19	592	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	593	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	白磁	碗	
2	19	594	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	白磁	碗	
2	19	595	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	596	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	597	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	598	段状遺構	B1	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗V 3a類
2	19	599	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	600	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	601	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	602	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV 1a類
2	19	603	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV 1a類
2	19	604	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	白磁	碗	
2	19	605	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV 1a類
2	19	606	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV 1類口縁不明
2	19	607	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV 1a類
2	19	608	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV 1類口縁不明
2	19	609	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗IV 1類口縁不明
2	19	610	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗VII 2類
2	19	611	段状遺構	A2	4層土器溜 j)	白磁	碗	白磁碗VII 2類
2	19	612	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	須恵器	不明	異形品
2	19	613	段状遺構	B2	4層土器溜 j)	須恵器	水瓶	

次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
2	19	614	段状遺構	C2	4層土器溜り	須恵器	円面硯	
2	19	615	段状遺構	C1	4層	須恵器	風字硯	
2	19	616	段状遺構	B1	4層	須恵器	風字硯	
2	19	617	段状遺構	C2	4層土器溜り	須恵器	風字硯	瓦質焼成
2	19	618	段状遺構	B2	4層土器溜り	土師質土器	小型壺	
2	19	619	段状遺構	A2	4層土器溜り	土師質土器	小壺	
2	19	620	段状遺構	B2	4層土器溜り	土師質土器	足釜	
2	19	621	段状遺構	B2	4層土器溜り	須恵器	鉢	
2	19	622	段状遺構	C2	4層土器溜り	瓦	7葉単弁蓮華文軒丸瓦	讃岐国分寺 SKM21A 型式
2	19	623	段状遺構	C1	4層	瓦	軒丸瓦	瓦当部落落、国府式 KF101 型式丸瓦部の可能性
2	19	624	段状遺構	B2	4層	瓦	軒丸瓦	型式不明
2	19	625	段状遺構	C2	4層土器溜り	瓦	唐草文軒平瓦	凸面に荒い縄目タタキ(斜)
2	19	626	段状遺構	B2	4層土器溜り	瓦	瓦磚	焼成不良、土師質
2	19	628	包含層	3層上位	須恵器	風字硯		
2	19	629	包含層	3層上位	緑釉陶器	碗		近江産 10c
2	19	630	包含層	不明	陶器	山茶碗		
2	19	631	2トレンチ	不明	4層相当	土師質土器	小皿	
2	19	632	包含層	2トレンチ	不明	須恵器	転用硯	蓋内面を硯面に転用
2	19	633	2トレンチ西調査区外	表面採集		瓦	扁行唐草文軒平瓦	開法寺 KH202 型式
3	21	1	SD78001	-	-	須恵器	杯	
3	21	2	SD78001	-	-	土師質土器	杯	
3	21	3	SD78001	-	-	須恵器	壺	
3	21	4	SD78001	-	-	須恵器	壺	
3	21	5	SD78001	-	-	須恵器	鉢	
3	21	6	SD78001	-	-	須恵器	転用硯	蓋内面を硯面に転用
3	22	7	SP780068	-	-	土師質土器	杯	
3	22	8	SP780068	-	-	土師質土器	杯	
3	22	9	包含層	3層	白磁	皿		
4	25	1	SK78005	-	-	土師質土器	小皿	
4	25	2	SK78005	-	-	土師質土器	小皿	
4	25	3	SK78005	-	-	土師質土器	皿	
4	25	4	SK78005	-	-	土師質土器	杯	
4	25	5	SK78005	-	-	土師質土器	杯	
4	25	6	SK78005	-	-	瓦器	椀	
4	25	7	SK78005	-	-	瓦器	椀	
4	25	8	SK78005	-	-	瓦器	椀	
4	25	9	SK78005	-	-	褐釉陶器	四耳壺	
4	25	10	SK78005	-	-	須恵器	壺	
4	25	11	SK78005	-	-	須恵器	壺	
4	25	12	SE78001	-	井戸枠石組	土師質土器	小皿	
4	25	13	SE78001	-	井戸枠石組	土師質土器	小皿	
4	25	14	SE78001	-	井戸枠石組	土師質土器	杯	
4	25	15	SE78001	-	埋め戻し土	土師質土器	杯	
4	25	16	SE78001	-	埋め戻し土	土師質土器	杯	
4	25	17	SE78001	-	埋め戻し土	瓦器	椀	
4	26	18	SK78002	-	-	越州窯系青磁	碗	越州系焼成 I
4	26	19	SD78003	-	-	灰釉陶器	壺	猿投産か美濃産、10世紀前半
4	26	20	SD78003	-	-	須恵器	壺	
4	26	21	SD78003	-	-	土製品	加工円盤	焼成土師質
4	26	22	SD78003	-	-	土製品	加工円盤	焼成須恵質
4	26	23	SD78003	-	-	土製品	加工円盤	焼成土師質
4	26	24	SD78005	-	-	土師質土器	小皿	
4	26	25	SD78005	-	-	土師質土器	皿	
4	26	26	SD78005	-	-	土師質土器	杯	
4	26	27	SD78005	-	-	土師質土器	椀	
4	26	28	SD78005	-	-	須恵器	杯	
4	26	29	SD78005	-	-	土師質土器	足釜	
4	26	30	SD78005	-	-	土師質土器	足釜	
4	26	31	SD78005	-	-	須恵器	壺	
4	26	32	SD78005	-	-	土師質土器	捏鉢	
4	26	33	SD78005	-	-	土製品	加工円盤	焼成須恵質
4	26	34	SD78005	-	-	土製品	加工円盤	焼成須恵質
4	26	35	SD78007	-	-	瀬戸美濃系陶器	折縁皿	
4	26	36	SD78007	-	-	土製品	加工円盤	焼成須恵質
4	26	37	SD78008	-	-	土師質土器	小皿	
4	26	38	SD78008	-	-	土師質土器	小皿	
4	26	39	SD78008	-	-	土師質土器	小皿	
4	26	40	SD78008	-	-	土師質土器	杯	
4	26	41	SD78008	-	-	土師質土器	皿	
4	26	42	SD78008	-	-	土師質土器	皿	
4	26	43	SD78008	-	-	土師質土器	皿	
4	26	44	SD78008	-	-	青磁	椀	
4	26	45	SD78008	-	-	土師質土器	足釜	
4	26	46	SD78008	-	-	土師質土器	足釜	
4	26	47	SD78008	-	-	土師質土器	鍋	
4	26	48	SD78008	-	-	土師質土器	鍋	
4	26	49	SD78008	-	-	土師質土器	搦鉢	
4	26	50	SD78008	-	-	土師質土器	把手付鍋	
4	26	51	SD78008	-	-	瓦	平瓦	
4	26	52	SD78008	-	-	瓦質土器	花瓶	
4	26	52	SD78008	-	-	土製品	加工円盤	焼成須恵質
4	26	54	包含層	3層	緑釉陶器	椀		近江産 10c
4	26	55	包含層	表土	青磁	皿		
4	26	56	包含層	3層	瓦	均整唐草文軒平瓦		讃岐国府式 KF201 型式
5	27	1	包含層	2層	土師質土器	小皿		
5	27	2	包含層	2層	黒色土器	椀		
5	27	3	包含層	2層	青磁	碗		同安窯系青磁焼成 I 1 不明
5	27	4	包含層	3層	土師質土器	焙烙		
5	27	5	包含層	3層	土師質土器	杯		
5	27	6	包含層	3層	須恵器	杯		
5	27	7	包含層	3層	須恵器	杯		
5	27	8	包含層	3層	須恵器	杯		
5	27	9	包含層	3層	緑釉陶器	皿		美濃産か近江産 9c 末~10c 初頭
5	27	10	包含層	3層	灰釉陶器	椀		猿投産 9c 後半
5	27	11	包含層	3層	須恵器	鉢		
5	27	12	包含層	3層	須恵器	転用硯		杯見込み部を硯面に転用
5	27	13	包含層	3層	須恵器	鉢		
5	27	14	包含層	4層	瓦	丸瓦		
5	27	15	包含層	4層	土師質土器	小皿		
5	27	16	包含層	4層	土師質土器	杯		
5	27	17	包含層	4層	土師質土器	杯		

次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
5	27	18	包含層		4層	土師質土器	杯	
5	27	19	包含層		4層	土師質土器	杯	
5	27	20	包含層		4層	黒色土器	碗	
5	27	21	包含層		4層	黒色土器	碗	
5	27	22	包含層		4層	須恵土器	壺	
5	27	23	包含層	(道路遺構)	5層	土師質土器	杯	
5	27	24	包含層	(道路遺構)	5層	土師質土器	杯	
5	27	25	包含層	(道路遺構)	5層	瓦	平瓦	
5	27	26	P6			土師質土器	碗	
5	27	27	D5			灰釉陶器	碗	美濃産10c前半
5	29	28	石組(苑池)			須恵土器	杯	
6	32	1	包含層	E2	1層	緑釉陶器	碗	美濃産か近江産
6	32	2	包含層	G1	3層	須恵土器	面碗	
6	32	3	包含層		4層	緑釉陶器	碗	近江産10c
6	32	4	包含層	F1・G1	5層	土師質土器	小皿	
6	32	5	包含層	G1	5層	土師質土器	小皿	
6	32	6	包含層	G1	5層	土師質土器	杯	
6	32	7	包含層	G1	5層	土師質土器	杯	
6	32	8	包含層	G1	5層	土師質土器	杯	
6	32	9	包含層	G1	5層	土師質土器	杯	
6	32	10	包含層	F1・G1	5層	須恵土器	碗	
6	32	11	包含層	F1・G1	5層	黒色土器	碗	
6	32	12	包含層	F1・G1	5層	黒色土器	碗	
6	32	13	包含層	F1・G1	5層	黒色土器	碗	
6	32	14	包含層	F1	5層	土師質土器	碗	
6	32	15	包含層	G1	5層	土師質土器	碗	
6	32	16	包含層	F1・G1	5層	土師質土器	台付皿	
6	32	17	包含層	F1	5層	須恵土器	杯	
6	32	18	包含層	F1	5層	須恵土器	杯	
6	32	19	包含層	G1	5層	須恵土器	杯	
6	32	20	包含層	G1	5層	土師質土器	把手付鉢	
6	32	21	包含層	G1	5層	土師質土器	火鉢	
6	32	22	包含層	F1・G1	5層	青磁	皿	龍泉窯系青磁皿I1不明
6	32	23	包含層	E1	5層	土製品	燭台形	
6	32	24	包含層	C2・D2	6層	土師質土器	小皿	
6	32	25	包含層	E1	6層	土師質土器	小皿	
6	32	26	包含層	D1	6層	土師質土器	小皿	
6	32	27	包含層	D1	6層	土師質土器	小皿	
6	32	28	包含層	A2	6層	土師質土器	小皿	
6	32	29	包含層	D2	6層	土師質土器	小皿	
6	32	30	包含層	E1	6層	土師質土器	小皿	
6	32	31	包含層	F1	6層	土師質土器	小皿	
6	32	32	包含層		6層	土師質土器	小皿	
6	32	33	包含層	E1	6層	土師質土器	小皿	
6	32	34	包含層		6層	土師質土器	台付皿	
6	32	35	包含層	B3	6層	土師質土器	台付皿	
6	32	36	包含層	B3	6層	土師質土器	台付皿	
6	32	37	包含層	F1	6層	土師質土器	杯	
6	32	38	包含層	F1	6層	土師質土器	杯	
6	32	39	包含層	F2	6層	土師質土器	杯	
6	32	40	包含層	F2	6層	土師質土器	杯	
6	32	41	包含層		6層	土師質土器	杯	
6	32	42	包含層		6層	土師質土器	杯	
6	32	43	包含層	G2	6層	土師質土器	杯	
6	32	44	包含層	G2	6層	土師質土器	杯	
6	32	45	包含層	E1	6層	土師質土器	杯	
6	32	46	包含層	E1	6層	土師質土器	杯	
6	32	47	包含層	C2・D2	6層	土師質土器	杯	
6	32	48	包含層	F1	6層	土師質土器	台付碗	
6	32	49	包含層	D1	6層	土師質土器	台付碗	
6	32	50	包含層		6層	土師質土器	碗	
6	32	51	包含層	D1	6層	土師質土器	碗	
6	32	52	包含層	D1	6層	土師質土器	碗	
6	32	53	包含層	A2	6層	黒色土器	碗	
6	32	54	包含層	F2・G2	6層	黒色土器	碗	
6	32	55	包含層	H4	6層	黒色土器	碗	
6	32	56	包含層	F1	6層	黒色土器	碗	
6	32	57	包含層		6層	黒色土器	足釜	
6	32	58	包含層	F2・G2	6層	瓦器	皿	
6	32	59	包含層		6層	瓦器	皿	
6	32	60	包含層	E2	6層	須恵土器	碗	
6	32	61	包含層	D1	6層	瓦器	碗	
6	32	62	包含層	D1	6層	瓦器	碗	
6	32	63	包含層	D1	6層	須恵土器	碗	
6	32	64	包含層	D1	6層	須恵土器	碗	
6	32	65	包含層	C2・D2	6層	須恵土器	碗	
6	32	66	包含層		6層	白磁	碗	白磁碗II1
6	32	67	包含層	E2	6層	白磁	碗	白磁碗IV非C
6	32	68	包含層	D2	6層	白磁	碗	白磁碗IV非C
6	32	69	包含層		6層	白磁	碗	白磁碗IV非C
6	32	70	包含層	B4	6層	白磁	碗	白磁碗IV非C
6	32	71	包含層	B4	6層	白磁	碗	白磁碗V
6	32	72	包含層		6層	白磁	碗	白磁碗V
6	32	73	包含層		6層	白磁	碗	白磁碗III1a
6	32	74	包含層	B3	6層	白磁	碗	白磁碗VI
6	32	75	包含層	D1	6層	白磁	碗	白磁碗IV口縁非c
6	32	76	包含層	D1	6層	白磁	碗	白磁碗IV口縁非c
6	32	77	包含層	D1	6層	白磁	碗	白磁碗VI2a
6	32	78	包含層	B4	6層	白磁	碗	白磁皿V1aor2a
6	32	79	包含層	C1	6層	白磁	碗	白磁碗V4a
6	32	80	包含層	B4	6層	白磁	碗	白磁碗VIII1
6	32	81	包含層	D2	6層	白磁	碗	白磁碗II1
6	32	82	包含層		6層	白磁	皿	白磁皿VI1b
6	32	83	包含層	C1	6層	白磁	皿	白磁皿V1aor2a
6	32	84	包含層	E2	6層	白磁	皿	白磁皿V2b
6	32	85	包含層	B4	6層	白磁	皿	白磁皿V1aor2a
6	32	86	欠番					
6	32	87	包含層		6層	青磁	皿	龍泉窯系青磁皿I1不明
6	32	88	包含層	E1	6層	青磁	碗	同安窯系青磁碗I1不明
6	32	89	包含層	A2	6層	青磁	碗	同安窯系青磁碗I1b
6	32	90	包含層	D1	6層	白磁	皿	白磁皿III1
6	32	91	包含層	G2	6層	緑釉陶器	壺	中国南方産
6	32	92	包含層	C3	6層	緑釉陶器	壺	中国南方産
6	32	93	包含層	B4	6層	緑釉陶器	壺	中国南方産
6	32	94	包含層		6層	緑釉陶器	壺	中国南方産
6	32	95	包含層	G3	~6層	緑釉陶器	壺	中国南方産
6	32	96	包含層	G5				
6	32	97	包含層	A2	6層	緑釉陶器	壺	中国南方産
6	32	98	包含層	B3	6層	緑釉陶器	壺	中国南方産
6	32	99	包含層	E1	6層	青磁	壺	越州窯系青磁壺
6	32	99	包含層	H4	6層		山茶碗	
6	32	100	包含層	G2	~6層	灰釉陶器	碗	美濃産10c
6	32	101	包含層	F1	6層	灰釉陶器	転用碗	碗の見込みを碗面転用、赤色顔料と墨付着 猿投産か美濃産10c

次数	挿入番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
6	32	102	包含層	G3	6層	灰釉陶器	碗	美濃産9c末
6	32	103	包含層		6層	緑釉陶器	碗	篠産10c
6	32	104	包含層	B4	6層	灰釉陶器	碗	猿投窯産9c後半
6	32	105	包含層	D1	6層	土製品	燗台形	
6	32	106	包含層		6層	土製品	燗台形	
6	32	107	包含層	B4	6層	土製品	燗台形	
6	33	108	包含層	E1	6層	須恵器	蓋	
6	33	109	包含層	F2	6層	須恵器	杯	
6	33	110	包含層		6層	須恵器	杯	
6	33	111	包含層		6層	須恵器	杯	
6	32	112	包含層		6層	須恵器	杯	
6	33	113	包含層	E1	6層	須恵器	杯	
6	33	114	包含層		6層	須恵器	杯	
6	33	115	包含層		6層	須恵器	皿	
6	33	116	包含層		6層	須恵器	皿	
6	33	117	包含層	E1	6層	須恵器	杯	
6	33	118	包含層	D2	6層	土師器	杯	
6	33	119	包含層	B4	6層	須恵器	蓋	
6	33	120	包含層	E1	6層	須恵器	面硯	焼成瓦質
6	33	121	包含層		6層	須恵器	風字硯	蓋内面を硯面に転用
6	33	122	包含層	C3・D36	6層	須恵器	転用硯	産地不明
6	33	123	包含層	G2・G36	6層	緑釉陶器	皿	
6	33	124	包含層		6層	土製品	鑿羽口	
6	33	125	包含層	G2	6層	瓦	11葉単弁蓮華文軒丸瓦	讃岐国府式 KF101 型式
6	33	126	包含層	E2	7層	土師質器	小皿	口縁部内外面に油煙
6	33	127	包含層	G5	7層	土師質器	杯	口縁部内外面に油煙
6	33	128	包含層	G5	7層	土師質器	杯	
6	33	129	包含層	E1・A27	7層	土師質器	杯	
6	33	130	包含層	G4・G57	7層	土師質器	杯	
6	33	131	包含層	A2	7層	土師質器	付皿	
6	33	132	包含層	G5	7層	土師質器	付皿	
6	33	133	包含層	G4	7層	土師質器	付皿	
6	33	134	包含層	G4・G57	7層	土師質器	付皿	
6	33	135	包含層	E2	7層	須恵器	碗	
6	33	136	包含層	A2	7層	須恵器	碗	
6	33	137	包含層	E1	7層	白磁	皿	白磁皿V 1aor2a
6	33	138	包含層	A2	7層	白磁	皿	白磁皿V 2a
6	33	139	包含層	G1	7層	白磁	碗	白磁碗VI 2a
6	33	140	包含層	B 2	~7層	白磁	碗	白磁碗II 1
6	33	141	包含層	D2	7層	白磁	碗	白磁碗IV 2旧III
6	33	142	包含層	A2	7層	白磁	碗	白磁碗VIII 1
6	33	143	包含層	E1	7層	須恵器	蓋	
6	33	144	包含層	G1	7層	須恵器	蓋	
6	33	145	包含層	A2	7層	須恵器	杯	
6	33	146	包含層	F1	7層	須恵器	杯	
6	33	147	包含層		7層	須恵器	蓋	
6	33	148	包含層	A2	7層	須恵器	蓋	
6	33	149	包含層	A2	7層	須恵器	杯	
6	33	150	包含層	G2	7層	須恵器	杯	
6	33	151	包含層		7層	須恵器	杯	
6	33	152	包含層	G2	7層	須恵器	杯	
6	33	153	包含層	G1	7層	須恵器	杯	
6	33	154	包含層	G1	7層	須恵器	皿	
6	33	155	包含層	G2	7層	灰釉陶器	碗	美濃産9c末
6	33	156	包含層	E2	7層	灰釉陶器	小碗	猿投窯産9c後半
6	33	157	包含層	A2	7層	緑釉陶器	碗	篠産10c
6	33	158	包含層	E2	7層	須恵器	甕	
6	33	159	包含層	G2	7層	須恵器	頸壺	
6	33	160	包含層	A2	7層	須恵器	長頸壺	
6	33	161	包含層	F2	7層	須恵器	壺	
6	33	162	包含層	E2	7層	須恵器	面硯	
6	33	163	包含層	G2	7層	須恵器	面硯	杯見込み・底面を硯面に転用
6	33	164	包含層	E2	7層	須恵器	転用硯	蓋内面を硯面に転用
6	33	165	包含層	F1	7層	須恵器	軒丸瓦	讃岐国府式 KF101 丸瓦部か
6	34	166	SP79254.79255	B4		土師器	甕	
6	34	167	SP79241	C2		柱根		ヒノキ材か
6	34	168	SD79518	A2		須恵器	蓋	
6	34	169	SD79518	A2		須恵器	蓋	
6	34	170	SD79518	A2		須恵器	杯	
6	34	171	SD79518	A2		須恵器	杯	
6	36	172	SD79003			土師質器	皿	
6	36	173	SD79003	G1・G2		土師質器	皿	
6	36	174	SD79003	G1・G2		土師質器	皿	
6	36	175	SD79003	G1・G2		土師質器	皿	
6	36	176	SD79003	F1・G1		瓦器	皿	
6	36	177	SD79003	F1・G1		土師質器	付皿	
6	36	178	SD79003	G1・G2		土師質器	杯	
6	36	179	SD79003	F1・G1		土師質器	杯	
6	36	180	SD79003	F1・G1		土師質器	杯	
6	36	181	SD79004	F1		須恵器	皿	
6	36	182	SD79004	F1		土師質器	杯	
6	36	183	SD79004	F1		土師質器	杯	
6	36	184	SD79004	F1		土師質器	杯	
6	36	185	SD79004	F1		白磁	碗	白磁碗II 1
6	36	186	SD79004	E1		須恵器	碗	
6	36	187	SD79004	F1		青磁	碗	同安窯系青磁碗I 1a
6	36	188	SD79003			土製品	燗台形	
6	36	189	SD79105	B3		須恵器	蓋	
6	36	190	SD79105	B3		須恵器	蓋	
6	36	191	SD79105	B3		須恵器	杯	
6	欠番	192						
6	36	193	SD79105	B3		須恵器	杯	
6	36	194	SD79105	B1・B2		須恵器	蓋	
6	36	195	SD79105	B1・B2		須恵器	高坏	
6	36	196	SD79105	B1・B2		須恵器	直口壺	
6	36	197	SD79105	F2		須恵器	甕	
6	36	198	SD79005	F2		土師質器	小皿	
6	36	199	SD79005	F2		黒色土器	碗	
6	36	200	SD79005	F2		白磁	皿	白磁皿V 1
6	36	201	SD79006	F2		黒色土器	碗	
6	36	202	SD79006	F2		白磁	碗	白磁碗II 1
6	36	203	SD79007			須恵器	杯	
6	36	204	SD79007			須恵器	鉢	
6	36	205	SD79007	D2		土師質器	小皿	
6	36	206	SD79007			土師質器	杯	
6	36	207	SD79008			須恵器	蓋	
6	36	208	SD79008			須恵器	杯	
6	36	209	SD79008			須恵器	高坏	
6	36	210	SD79008	D1		土師質器	小皿	
6	36	211	SD79008			土師質器	小皿	
6	36	212	SD79008			土師質器	小皿	
6	36	213	SD79008			瓦器	碗	
6	36	214	SD79008			土師質器	碗	
6	36	215	SD79008			土師質器	羽釜	
6	36	216	SD79008			須恵器	転用硯	甕胴部片平面を硯面に転用

次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
6	36	217	SD79009		G3	土師質土器	小皿	
6	36	218	SD79009		G3	土師質土器	小皿	
6	36	219	SD79009		G3	土師質土器	椀	
6	36	220	SD79009		G3	土師質土器	皿	
6	36	221	SD79009		G3	土師質土器	椀	
6	36	222	SD79011		E1	土師質土器	小皿	
6	36	223	SD79012		E2	土師質土器	杯	
6	36	224	SD79012		E2	土師質土器	椀	
6	36	225	SD79012		E2	須恵器	蓋	
6	36	226	SD79014		G3	土師質土器	小皿	
6	36	227	SD79014		G3	土師質土器	小皿	
6	36	228	SD79014		G3	土師質土器	小皿	
6	36	229	SD79014		H4	土師質土器	杯	
6	36	230	SD79014		H4	土師質土器	杯	
6	36	231	SD79014		H4	黒色土器	椀	
6	36	232	SD79014		H4	黒色土器	椀	
6	36	233	SD79014		H4	黒色土器	椀	
6	36	234	SD79014		H4	土師質土器	椀	
6	36	235	SD79014		H4	土師質土器	椀	
6	36	236	SD79014		H4	土師質土器	椀	
6	36	237	SD79014		H4	土師質土器	椀	
6	36	238	SD79014		H4	須恵器	椀	
6	36	239	SD79014		H4	須恵器	鉢	
6	36	240	SD79014		H4	須恵器	ハンソウ	
6	36	241	SD79014		H4	須恵器	杯	
6	36	242	SD79016		H4	土師質土器	小皿	
6	36	243	SD79016		H4	土師質土器	杯	
6	36	244	SD79021		A2	土師質土器	椀	
6	36	245	SD79021		A2	須恵器	杯	
6	36	246	SD79021		A2	黒色土器	椀	
6	36	247	SK79002		F1	土師質土器	皿	
6	36	248	SK79002		F1	土師質土器	皿	
6	36	249	SK79002		F1	土師質土器	杯	
6	36	250	SK79002		F1	土師質土器	杯	
6	36	251	SK79002		F1	土師質土器	杯	
6	36	252	SK79002		F1	白磁	碗	白磁椀IV 2a
6	36	253	SK79005		H4	土師器	甕	
6	37	254	SE79001		G4	掘方裏込土	土師質土器	
6	37	255	SE79001		G4	井戸枠内埋	土師質土器	
6	37	256	SE79001		G4	め戻し土	土師質土器	椀
6	37	257	SE79001		G4	井戸枠内埋	土師質土器	椀
6	37	258	SE79001		G4	め戻し土	土師質土器	杯
6	37	259	SE79001		G4	井戸枠内埋	土師質土器	小皿
6	37	260	SE79001		G4	め戻し土	黒色土器	椀
6	37	261	SE79001		G4	井戸枠内埋	黒色土器	椀
6	37	262	SE79001		G4	め戻し土	黒色土器	椀
6	37	263	SE79001		G4	井戸枠内埋	黒色土器	椀
6	37	264	SE79001		G4	め戻し土	黒色土器	椀
6	37	265	SE79001		G4	井戸枠内埋	土師質土器	椀
6	37	266	SE79001		G4	め戻し土	黒色土器	椀
6	37	267	SE79001		G4	井戸枠内埋	黒色土器	椀
6	37	268	SE79001		G4	め戻し土	黒色土器	椀
6	37	269	SE79001		G4	井戸枠内埋	黒色土器	椀
6	37	270	SE79001		G4	め戻し土	須恵器	杯
6	37	271	SE79001		G4	井戸枠内埋	須恵器	蓋
6	37	272	SE79001		G4	め戻し土	須恵器	杯
6	37	273	SE79001		G4	井戸枠内埋	黒色土器	椀
6	37	274	SE79001		G4	め戻し土	白磁	皿
6	37	275	SE79001		G4	井戸枠内埋	青磁	皿
6	37	276	SE79001		G4	め戻し土	土師器	甕
6	37	277	SE79001		G4	井戸枠内埋	土製品	移動式竈
6	37	278	SE79001		G4	め戻し土	須恵器	鉢
6	37	279	SE79001		G4	井戸枠内埋	瓦	平瓦
6	37	280	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	281	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	282	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	283	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	284	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	285	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	286	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	287	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	288	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	289	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	290	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	291	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	38	292	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	293	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	294	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	295	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	296	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	297	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	298	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	299	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	300	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	301	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	302	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	303	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	39	304	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	40	305	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	40	306	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材
6	40	307	SE79001		G4	井戸枠縦板	木器	板材

次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
6	41	308	ST79001			白磁	碗	白磁碗Ⅳ 1a
6	41	309	ST79001			土師質土器	皿	
6	41	310	SP79207	G3		須恵器	風車	
6	45	311	SP79112	F2		須恵器	風車	
7	45	1	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	2	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	3	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	4	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	5	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	6	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	7	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	8	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	9	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	10	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	11	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	12	SD80010	al	上層	土師質土器	皿	
7	45	13	SD80010	al	上層	黒色土器	碗	
7	45	14	SD80010	al	上層	黒色土器	碗	
7	45	15	SD80010	al	上層	黒色土器	碗	
7	45	16	SD80010	al	上層	黒色土器	碗	
7	45	17	SD80010	al	上層	黒色土器	碗	
7	45	18	SD80010	al	上層	黒色土器	碗	
7	45	19	SD80010	al	上層	黒色土器	碗	楠葉型
7	45	20	SD80010	al	上層	須恵器	碗	楠葉型
7	45	21	SD80010	al	上層	須恵器	碗	
7	45	22	SD80010	al	上層	須恵器	碗	
7	45	23	SD80010	al	上層	土師質土器	高甕	坏
7	45	24	SD80010	al	上層	土師質土器	甕	
7	45	25	SD80010	al	上層	須恵器	甕	
7	45	26	SD80010	al	上層	青磁	甕	越州系青磁碗
7	45	27	SD80010	al	上層	緑釉陶器	碗	越州系青磁碗Ⅰ
7	45	28	SD80010	al	上層	緑釉陶器	碗	防長か近江産 9 c 末～10c
7	45	29	SD80010	c1	上層	土師質土器	碗	防長か近江産 9 c 末～10c
7	45	30	SD80010	c1	上層	土師質土器	甕	
7	45	31	SD80010	al	中層	土師質土器	甕	
7	45	32	SD80010	不明	不明	土師質土器	小皿	
7	45	33	SD80010	不明	不明	土師質土器	台付皿	
7	45	34	SD80010	不明	不明	土師質土器	台付皿	
7	45	35	SD80010	不明	不明	黒色土器	碗	
7	45	36	SD80010	不明	不明	黒色土器	碗	
7	45	37	SD80010	不明	不明	黒色土器	碗	
7	45	38	SD80010	不明	不明	黒色土器	碗	
7	45	39	SD80010	不明	不明	土師質土器	碗	
7	45	40	SD80010	不明	不明	土師質土器	碗	
7	45	41	SD80010	不明	不明	土師質土器	碗	
7	45	42	SD80010	不明	不明	須恵器	甕	
7	45	43	SD80010	不明	不明	須恵器	甕	
7	45	44	SD80010	不明	不明	須恵器	甕	
7	45	45	SD80010	不明	不明	須恵器	甕	
7	45	46	SD80010	al	上層	瓦	風車	瓦
7	45	47	SD80010	al	上層	瓦	軒丸瓦	型式不明
7	45	48	SD80010	al	上層	瓦	軒丸瓦	型式不明
7	45	49	SD80010	al	上層	瓦	丸瓦	行基式
7	45	50	SD80010	al	上層	瓦	丸瓦	行基式
7	45	51	SD80010	al	上層	瓦	丸瓦	行基式
7	46	52	SD80010	al	上層	瓦	平瓦	行基式
7	46	53	SD80010	al	上層	瓦	平瓦	
7	46	54	SD80010	al	上層	瓦	平瓦	
7	46	55	SD80010	al	上層	瓦	平瓦	
7	46	56	SD80010	c1	上層	瓦	丸瓦	玉縁式
7	46	57	SD80010	c1	上層	瓦	丸瓦	
7	46	58	SD80010	c1	中層	瓦	丸瓦	
7	47	59	SD80010	c1	中層	瓦	丸瓦	
7	47	60	SD80010	c1	中層	瓦	均整	唐草文軒平瓦
7	47	62	SD80010	c1	中層	瓦	平瓦	讃岐国府式 KF201 型式
7	47	63	SD80010	c1	中層	瓦	平瓦	
7	47	65	SD80010	c1	中層	瓦	平瓦	
7	47	65	SD80010	c1	中層	瓦	平瓦	
7	47	66	SD80010	c1	中層	瓦	平瓦	
7	47	67	SD80010	c1	中層	瓦	平瓦	
7	47	67	SD80010	c1	中層	瓦	平瓦	
7	47	68	SD80010	c1	中層	瓦	平瓦	
7	48	69	SD80014	a0	上層	土師質土器	小皿	
7	48	70	SD80014	a0	上層	土師質土器	杯	
7	48	71	SD80014	a0	上層	須恵器	杯	
7	48	72	SD80014	a0	上層	須恵器	杯	
7	48	73	SD80014	a0	上層	須恵器	杯	
7	48	74	SD80014	a0	上層	須恵器	杯	
7	48	75	SD80014	a0	上層	須恵器	杯	
7	48	76	SD80014	a0	上層	土師質土器	甕	
7	48	77	SD80010・80014 間	a0	築地	須恵器	杯	
7	48	78	SD80010・80014 間	a0	築地	須恵器	杯	
7	48	79	SD80010・80014 間	a0	築地	須恵器	蓋	
7	48	80	SD80010・80014 間	a0	築地	須恵器	杯	
7	50	81	SE80001		上層	土師質土器	小皿	
7	50	82	SE80001		上層	土師質土器	小皿	
7	50	83	SE80001		上層	土師質土器	小皿	
7	50	84	SE80001		上層	土師質土器	小皿	
7	50	85	SE80001		上層	土師質土器	小皿	
7	50	86	SE80001		上層	土師質土器	小皿	
7	50	87	SE80001		上層	土師質土器	小皿	
7	50	88	SE80001		上層	土師質土器	杯	
7	50	89	SE80001		上層	須恵器	碗	
7	50	90	SE80001		上層	須恵器	碗	
7	50	91	SE80001		上層	須恵器	碗	
7	50	92	SE80001		上層	須恵器	碗	
7	50	93	SE80001		上層	須恵器	碗	
7	50	94	SE80001		上層	瓦器	碗	
7	50	95	SE80001		上層	土師質土器	杯	
7	50	96	SE80001		上層	白磁	皿	白磁皿Ⅲ不明
7	50	97	SE80001		上層	青磁	皿	同安窯系青磁皿Ⅰ 2b
7	50	98	SE80001		上層	青磁	碗	龍泉窯系青磁碗Ⅰ 4a
7	50	99	SE80001		上層	青磁	碗	同安窯系青磁碗Ⅰ Ⅰ不明
7	50	100	SE80001		下層(曲物内)	土師質土器	小皿	
7	50	101	SE80001		下層(曲物内)	土師質土器	小皿	
7	50	102	SE80001		下層(曲物内)	土師質土器	杯	
7	50	103	SE80001		下層(曲物内)	土師質土器	杯	

次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
7	50	104	SE80001		下層(曲物内)	土師質土器	杯	
7	50	105	SE80001		下層(曲物内)	黒色土器	椀	
7	50	106	SE80001		下層(曲物内)	須恵器	椀	
7	50	107	SE80001		下層(曲物内)	須恵器	甕	
7	50	108	SE80001		下層(曲物内)	瓦	軒丸瓦	瓦当接合面にヘラ描
7	50	109	SE80001		最下層	土師質土器	小皿	
7	50	110	SE80001		最下層	土師質土器	小皿	
7	50	111	SE80001		最下層	土師質土器	小皿	
7	50	112	SE80001		最下層	土師質土器	小皿	
7	50	113	SE80001		最下層	土師質土器	杯	
7	50	114	SE80001		最下層	白磁	碗	白磁碗IV 2 不明
7	51	115	SD80001		最上層	土師質土器	碗	白磁碗V 不明体部
7	51	116	SD80001		最上層	白磁	碗	
7	51	117	SD80002			土師質土器	杯皿	
7	51	118	SD80004			青磁	皿	龍泉窯系青磁皿 I 2c
7	51	119	SD80005			土師質土器	小皿	
7	51	120	SD80005			土師質土器	杯	
7	51	121	SD80005			土師質土器	杯	
7	51	122	SD80005			土師質土器	椀	
7	51	123	SD80005			瓦器	椀	
7	51	124	SD80005			瓦器	椀	
7	51	125	SD80005			須恵器	椀	
7	51	126	SD80005			須恵器	椀	
7	51	127	SD80005			須恵器	甕	
7	51	128	SD80005			須恵器	甕	
7	51	129	SD80011	A7		土師質土器	小皿	
7	51	130	SD80011	A7		土師質土器	小皿	
7	51	131	SD80011	A7		土師質土器	小皿	
7	51	132	SD80011	A7		土師質土器	小皿	
7	51	133	SD80011	A7		土師質土器	小皿	
7	51	134	SD80011	A7		土師質土器	小皿	
7	51	135	SD80011	A7		土師質土器	小皿	
7	51	136	SD80011	A7		土師質土器	小皿	
7	51	137	SD80011	A7		土師質土器	小皿	
7	51	138	SD80011	A7		土師質土器	杯	
7	51	139	SD80011	A7		土師質土器	杯	
7	51	140	SD80011	A7		土師質土器	杯	
7	51	141	SD80011	A7		土師質土器	椀	
7	51	142	SD80011	A7		須恵器	椀	
7	51	143	SD80011	A7		須恵器	甕	
7	51	144	SD80011	A7		須恵器	甕	
7	51	145	SD80011	A7		土師質土器	高坏	
7	51	146	SD80013	A9		土師質土器	小皿	
7	51	147	包含層	D4	4層	緑釉陶器	碗	猿投産 9c 後半
7	51	148	包含層	E4	4層	灰釉陶器	椀	美濃産 10c 前半
7	51	149	包含層	B3	4層	須恵器	杯	
7	51	150	包含層	I6	4層	須恵器	皿	
7	51	151	包含層	A3	5層	須恵器	風字硯	
7	51	152	包含層	C7	5層	緑釉陶器	椀	近江産 9c 末~10c
7	51	153	包含層		5層	須恵器	甕	
7	51	154	包含層		6層	土師質土器	小皿	
7	51	155	包含層	C1	6層	土師質土器	杯	
7	51	156	包含層		6層	土師質土器	杯	
7	51	157	包含層		6層	土師質土器	付皿	
7	51	158	包含層		6層	須恵器	皿	
7	51	159	包含層		6層	瓦器	皿	
7	51	160	包含層		6層	土師質土器	杯	
7	51	161	包含層		6層	土師質土器	椀	
7	51	162	包含層	C1	6層	黒色土器	椀	
7	51	163	包含層		6層	黒色土器	椀	
7	51	164	包含層	E1	6層	瓦器	椀	
7	51	165	包含層	D3	6層	灰釉陶器	椀	美濃産 10c 前半
7	51	166	包含層		6層	緑釉陶器	椀	防長産か
7	51	167	包含層	B3	6層	灰釉陶器	壺	猿投産 9c 後半
7	51	168	包含層	D4	6層	瓦	丸瓦	玉縁式
7	51	169	包含層	C1	6層	土製品	燭台形	
7	51	170	包含層	E1	7層	須恵器	蓋	天井部外面に1条沈線有
7	51	171	包含層	A2	7層	黒色土器	椀	
7	51	172	包含層		7層	緑釉陶器	椀	近江産 10c
7	51	173	包含層	C4	7層	緑釉陶器	皿	近江産 9c 末~10c 初頭
7	51	174	包含層	C2	7層	灰釉陶器	椀	美濃産 10c 前半
7	51	175	包含層	A7	7層	石器	石鍋	滑石製
7	51	176	包含層	A3	7層	須恵器	風字硯	
7	51	177	包含層	A9	7層	須恵器	円面硯	
7	51	178	包含層	A3	7層	瓦	丸瓦	玉縁式
8	54	1	包含層	L5	3~5層	緑釉陶器	椀	美濃産か近江産 9c 末~10c 初
8	54	2	包含層	A7	3~5層	緑釉陶器	椀	洛北産 9c 後半(古)
8	54	3	包含層	B5	3~5層	緑釉陶器	椀	洛北産 10c 前半
8	54	4	包含層	J5	3~5層	緑釉陶器	椀	猿投産
8	54	5	包含層		3~5層	緑釉陶器	皿	美濃産か近江産 9c 末~10c 初
8	54	6	包含層	I5	3~5層	緑釉陶器	椀	美濃産か近江産 9c 末~10c 初
8	54	7	包含層	H5	3~5層	灰釉陶器	椀	美濃産 10c 前半
8	54	8	包含層	C5	3~5層	須恵器	長頸壺	
8	54	9	包含層		3~5層	施釉陶器	椀	
8	54	10	包含層	I5	3~5層	梅釉陶器	四耳壺	
8	54	11	包含層	G5	3~5層	須恵器	双耳壺	
8	54	11-2	包含層	F5	5層	須恵器	風字硯	
8	54	12	包含層	D5	6層	緑釉陶器	椀	洛西産 9c 後半
8	54	13	包含層	E6	6層	緑釉陶器	椀	洛北産 10c 前半
8	54	14	包含層	D5	6層	緑釉陶器	椀	洛西産 9c 末
8	54	15	包含層	K5	6層	緑釉陶器	椀	洛西産
8	54	16	包含層	A 5~6層	6層	緑釉陶器	椀	篠産 10c 中葉
8	54	17	包含層	D5				
8	54	18	包含層	E2	6層	須恵器	不明	
8	54	19	包含層	B5	7層	緑釉陶器	椀	洛西産 9c 末
8	54	20	包含層	E7	7層	緑釉陶器	椀	篠産 9c 末~10c 初
8	54	21	包含層	A6	7層	緑釉陶器	椀	猿投産 9c 後半
8	54	22	包含層	B5	7層	緑釉陶器	椀	洛西産 10c 前半
8	54	23	包含層	A6	7層	緑釉陶器	椀	篠産 9c 末~10c 初
8	54	24	包含層	A5	7層	緑釉陶器	椀	洛西産 9c 末~10c 初
8	54	25	包含層	E6	7層	緑釉陶器	椀	美濃産か近江産 9c 末~10c 初
8	54	26	包含層	B5	7層	緑釉陶器	椀	近江産 10c 前半
8	54	27	包含層	E7	7層	灰釉陶器	椀	美濃産 9c 後半
8	54	28	包含層	G5	7層	灰釉陶器	椀	猿投産 9c 前半
8	54	29	包含層	A5	7層	灰釉陶器	椀	猿投産か美濃産 10c
8	54	30	包含層	E7	7層	灰釉陶器	壺	猿投産?
8	54	31	包含層	A5	7層	越州窯系青磁	碗	越州系青磁碗 I
8	54	32	包含層	E7	7層	須恵器	盤	
8	54	33	包含層	A5	8層	緑釉陶器	椀	美濃産か近江産 9c 末~10c 初



次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
8	54	34	包含層	A5	8層	緑釉陶器	碗	篠産 10c 前半
8	54	35	包含層	E6	8層	緑釉陶器	碗	洛西産
8	54	36	包含層	A7	8層	緑釉陶器	碗	篠産
8	54	37	包含層	A6	8層	緑釉陶器	碗	篠産 9 c 後半
8	54	38	包含層	A7	8層	緑釉陶器	碗	洛北産
8	54	39	包含層	B5	8層	緑釉陶器	碗	洛西産 9c 後半
8	54	40	包含層	A5	8層	緑釉陶器	皿	篠産
8	54	41	包含層	A6	8層	緑釉陶器	皿	洛西産 9c 後半
8	54	42	包含層	A6	8層	緑釉陶器	皿	洛西産 9c 後半
8	54	43	包含層	A7	8層	緑釉陶器	碗	防長産
8	54	44	包含層	A6	8層	緑釉陶器	碗	洛西産
8	54	45	包含層	A7	8層	緑釉陶器	碗	篠産
8	54	46	包含層	A5	8層	須恵器	皿	
8	54	47	包含層		8層	須恵器	皿	外底面に墨書「盃」
8	54	48	包含層	B5	8層	緑釉素地	碗	篠産
8	54	49	包含層	E5	8層	須恵器	双耳壺	西播磨産
8	54	50	包含層	C5	8層	須恵器	双耳門面硯	西播磨産
8	54	51	包含層	A5	8層	須恵器	門面硯	
8	54	52	包含層	A5	8層	須恵器	門面硯	
8	54	53	包含層	A6	8層	須恵器	転用硯	甕胴部内面を硯面に転用(完存)
8	54	54	包含層	C5	8層	須恵器	転用硯	甕胴部内面を硯面に転用(完存)
8	54	55	包含層	A6	8層	土師器	皿	畿内系
8	54	56	包含層	A6	8層	土師器	皿	畿内系
8	54	57	包含層	C5	8層	土師器	皿	畿内系
8	54	58	包含層	A6	8層	土師器	皿	畿内系
8	54	59	包含層	B5	8層	土師器	皿	京都系
8	54	60	包含層	A6	8層	土師器	皿	
8	54	61	包含層	A7	9層	須恵器	蓋杯	
8	56	62	包含層	C5	9層	須恵器	杯	
8	54	63	包含層	B5	9層	須恵器	杯	
8	54	64	包含層	C5	9層	土師器	高坏	畿内系、外面に赤彩
8	56	65	SD81001	16・17		瓦器	碗	
8	56	66	SD81001	16・17		青磁	皿	同安窯系青磁皿 I 2b
8	56	67	SD81001			土師質土器	足釜	
8	56	68	SD81001	16・17		土師質土器	足釜	
8	56	69	SD81001			土師質土器	鍋	
8	56	70	SD81002	16・17		土師質土器	小皿	
8	56	71	SD81002	16・17		土師質土器	小皿	
8	56	72	SD81002	16・17		土師質土器	小皿	
8	56	73	SD81002	16・17		土師質土器	小皿	
8	56	74	SD81002	16・17		土師質土器	小皿	
8	56	75	SD81002	16・17		土師質土器	小皿	
8	56	76	SD81002	16・17		土師質土器	小皿	
8	56	77	SD81002	16・17		土師質土器	小皿	
8	56	78	SD81002	16・17		黒色土器	碗	
8	56	79	SD81002	17		施釉陶器	碗	
8	56	80	SD81002	16・17		須恵器	杯	
8	56	81	SD81002	I7		須恵器	皿	
8	56	82	SD81002	16・17		土師質土器	足釜	
8	56	83	SD81002	I7		土師器	甕	
8	56	84	SD81003			土師質土器	小皿	
8	56	85	SD81004			黒色土器	碗	
8	56	86	SD81005			土師質土器	小皿	
8	56	87	E4 溝			須恵器	杯	6層上面から掘り込み
8	56	88	E6 溝	E6		須恵器	蓋杯	6層上面から掘り込み
8	56	89	E6 溝	E6		須恵器	杯	6層上面から掘り込み
8	56	90	E6 溝	E6		白磁	皿	6層上面から掘り込み
8	56	91	E6 溝	E6		緑釉陶器	碗	防長産
8	56	92	SD81007	A5・B5上層		土師質土器	蓋付皿	
8	56	93	SD81007	A5～上層		土師質土器	台付皿	
8	56	94	SD81007	D5・B5上層		緑釉陶器	皿	産地不明
8	56	95	SD81007	A5～上層		須恵器	杯	
8	56	96	SD81007	D5・A5～上層		須恵器	壺	
8	56	97	SD81007	D5	下層	須恵器	杯	
8	56	98	SD81007	B5	下層	須恵器	杯	
8	56	99	SD81007		下層	須恵器土器	小皿	
8	56	100	SD81007	A6	下層	須恵器土器	甕	
8	56	101	SD81007		下層	須恵器土器	甕	
8	56	102	SD81007		下層	黒色土器	碗	
8	56	103	SD81007		下層	黒色土器	碗	
8	56	104	SD81008	上層溝		土師質土器	小皿	
8	56	105	SD81008		最上層	土師質土器	小皿	
8	56	106	SD81008		最上層	土師質土器	小皿	
8	56	107	SD81008		最上層	須恵器	壺	
8	56	108	SD81008	A7	最上層	須恵器	杯	
8	56	109	SD81008		最上層	須恵器	杯	
8	56	110	SD81008		最上層	土師器	甕	
8	56	111	SD81008	A6	最上層	須恵器	甕	
8	56	112	SD81008		最上層	緑釉陶器	碗	近江産
8	56	113	SD81008		最上層	緑釉陶器	碗	篠投産 9 c 後半
8	56	114	SD81008	A6	最上層	緑釉陶器	碗	篠投産
8	56	115	SD81008	A5	上層	土師質土器	小皿	
8	56	116	SD81008	A5	上層	土師質土器	小皿	
8	56	117	SD81008	A6	上層	土師質土器	小皿	
8	56	118	SD81008	A7	上層	土師質土器	杯	
8	56	119	SD81008	A5	上層	土師質土器	杯	
8	56	120	SD81008	A5	上層	黒色土器	碗	
8	56	121	SD81008	A5	上層	土師質土器	碗	
8	56	122	SD81008	A5	上層	黒色土器	碗	
8	56	123	SD81008	A6	上層	黒色土器	碗	
8	56	124	SD81008	A7	上層	瓦器	碗	
8	56	125	SD81008	A5	上層	須恵器	碗	
8	56	126	SD81008	A5	上層	須恵器	碗	
8	56	127	SD81008	A7	上層	緑釉陶器	碗	篠産 10c
8	56	128	SD81008	A6	下層	土師質土器	小皿	
8	56	129	SD81008	A7	下層	土師質土器	杯	
8	56	130	SD81008	A6	下層	土師質土器	杯	
8	56	131	SD81008	A7	下層	緑釉陶器	皿	洛西か篠産
8	56	132	SD81008	A7	下層	緑釉陶器	碗	近江産?
8	56	133	SD81008	A5	下層	緑釉陶器	碗	美濃産 10c 前半
8	56	134	SD81008	A5	下層	須恵器	杯	
8	56	135	SD81008	A6	下層	須恵器	杯	
8	56	136	SD81008	A7	下層	須恵器	杯	
8	56	137	SD81008	A6	下層	須恵器	杯	
8	56	138	SD81008	A5	下層	須恵器	杯	

次数	挿図番号	報文番号	報告遺構名	地区	層位	種別	器種	特記事項
8	56	139	SD81008	A7	下層	須惠器	杯	
8	56	140	SD81008	A5	下層	須惠器	杯	
8	56	141	SD81008	A5	下層	須惠器	皿	
8	56	142	SD81008	A 6	下層	須惠器	皿	
				A7				
8	56	143	SD81008	A5	下層	須惠器	皿	
8	56	144	SD81008	A 6	下層	須惠器	皿	
				A7				
8	56	145	SD81008	A5	下層	須惠器	甕	
8	56	146	SD81008	A5	下層	須惠器	甕	
8	56	147	SD81008	A5	下層	須惠器	甕	
8	56	148	SD81008	A5	下層	土師器	甕	
8	56	149	SD81008	A5	下層	土製品	移動式竈	
8	56	150	SD81008	A5	最下層	須惠器	杯	
8	56	151	SD81008	A5	最下層	黒色土器	椀	
8	56	152	SD81008	A5	最下層	土師質土器	椀	
9	59	1	包含層		3層	須惠器	蓋	
9	59	2	包含層		2層	須惠器	杯	
9	59	3	包含層		3層	須惠器	杯	
9	59	4	包含層		3層	須惠器	杯	
9	59	5	包含層		3層	土師質土器	高坏	
9	59	6	包含層		3層	須惠器	壺	
9	59	7	包含層		不明	土製品	燗台形	
9	59	8	包含層		2層	須惠器	甕	
9	59	9	包含層		3層	土師質土器	釜	
9	59	10	包含層		2層	土師質土器	火鉢	
9	60	11	SD84002			須惠器	蓋	
9	60	12	SD84002			須惠器	蓋	
9	60	13	SD84002			須惠器	蓋	
9	60	14	SD84002			須惠器	蓋	
9	60	15	SD84002			須惠器	蓋	
9	60	16	SD84002			須惠器	杯	
9	60	17	SD84002			須惠器	杯	
9	60	18	SD84002			須惠器	杯	
9	60	20	SD84002			須惠器	杯	
9	60	21	SD84002			須惠器	杯	
9	60	22	SD84002			須惠器	杯	
9	60	23	SD84002			須惠器	杯	
9	60	24	SD84002			須惠器	杯	
9	60	25	SD84002			須惠器	杯	
9	60	26	SD84002			須惠器	杯	
9	60	27	SD84002			須惠器	杯	
9	60	28	SD84002			須惠器	杯	
9	60	29	SD84002			須惠器	皿	
9	60	30	SD84002			須惠器	皿	
9	60	31	SD84002			須惠器	皿	
9	60	32	SD84002			須惠器	皿	
9	60	33	SD84002			須惠器	壺	
9	60	34	SD84002			須惠器	壺	
9	60	35	SD84002			土師器	皿	
9	60	36	SD84002			緑釉陶器	椀	洛西産 9c 後半
9	60	37	SD84002			黒色土器	椀	
9	60	38	SD84002			黒色土器	椀	
9	60	39	SD84002			黒色土器	椀	
9	60	40	SD84002			須惠器	杯	
9	60	41	SD84002			須惠器	杯	
9	60	42	SD84002			須惠器	ハソウ	
9	60	43	SD84002			須惠器	高坏	
9	60	44	SD84002			須惠器	高坏	
9	60	45	SD84002			土師器	高坏	
9	60	46	SD84002			土師器	杯	内系
9	60	47	SD84002			土師器	皿	内系
9	60	48	SD84002			土師器	皿	内系
9	60	49	SD84002			土師器	甕	
9	60	50	SD84002			土師器	甕	
9	60	51	SD84002			須惠器	甕	
9	60	52	SD84002			須惠器	甕	
9	60	53	SD84002			須惠器	甕	
9	60	54	SD84002			須惠器	甕	
9	60	55	SD84002			須惠器	甕	
9	60	56	SD84002			須惠器	甕	
9	60	57	SD84002			瓦	瓦	
9	60	58	SD84002			瓦	瓦	
9	60	59	SD84002			瓦	平瓦	
9	60	60	SD84002			瓦	平瓦	
9	60	61	SD84001			土師質土器	大皿	
9	60	62	SD84001			土師質土器	大皿	
9	60	63	SD84001			土師質土器	大皿	
9	60	64	SD84001			土師質土器	杯	
9	60	65	SD84001			土師質土器	把手付鍋	
9	60	66	SD84001			土師質土器	把手付鍋	
9	60	67	SD84001			土師質土器	茶釜形	
9	60	68	SP84024			土師質土器	椀	
9	60	69	SP84048			土師質土器	足釜	



1. 讃岐国府の立地 上が北



2. 遺跡遠景 南から



3. 遺跡遠景 南東から



4.1 トレンチ 3層礫群検出状況 北から



5.1 トレンチ 3層礫群検出状況 西から



6.1 トレンチ 3層礫群内緑釉丸瓦出土状況



7.3 層礫群内讃岐国府式軒丸瓦出土状況



8.1 トレンチ SE77001 を覆う 3層礫群 南から



11.1 トレンチ SE77001 北から



9.1 トレンチ SD77001 完掘状況 北から



10.1 トレンチ 南部4層上面遺構完掘状況 南から



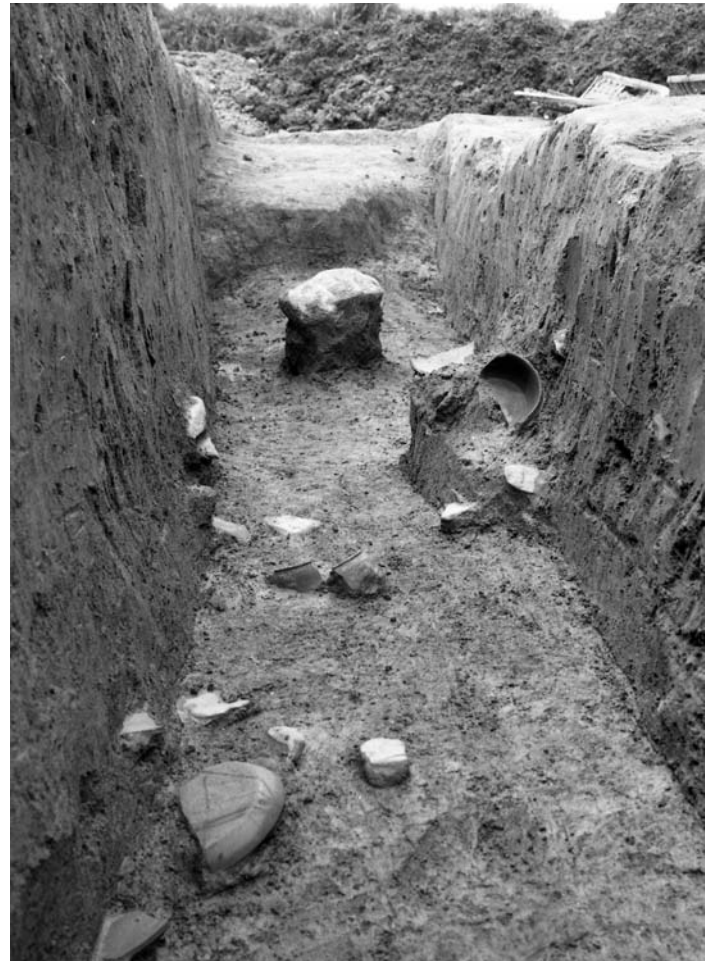
12.1 トレンチ 段状遺構 4層検出状況 南から



13.1 トレンチ段状遺構 4層土器群検出状況 東から



14.1 トレンチ段状遺構 4層土器群検出状況西から



16.1 トレンチ 段状遺構 6層土器群 (断面2付近) 検出状況 東から



15.1 トレンチ段状遺構 6層土器群 (B1区) 検出状況 東から



17.1 トレンチ 段状遺構 6層土器群 (B1区) 検出状況 南東から



18.1 トレンチ 段状遺構 6層土器群軒丸瓦 (KF103) 出土状況



19.1 トレンチ 段状遺構 6層土器群 (B1区) 検出状況 南から



20.1 トレンチ 段状遺構 (B1区) 検出状況 東から



21.1 トレン  
チ 段状遺  
構 (B1区) 検  
出状況 南  
東から



22.1 トレン  
チ 段状遺構  
(B1区) 検出  
状況 東から





23.1 トレンチ 段状遺構土層(断面2 B1区南) 北東から



24.1 トレンチ 段状遺構土層(断面2 B2区南) 北から



25.1 トレンチ 段状遺構土層(断面3 A2区南) 北から



26. 調査前の状況 東から



27. 東部完掘状況 西から



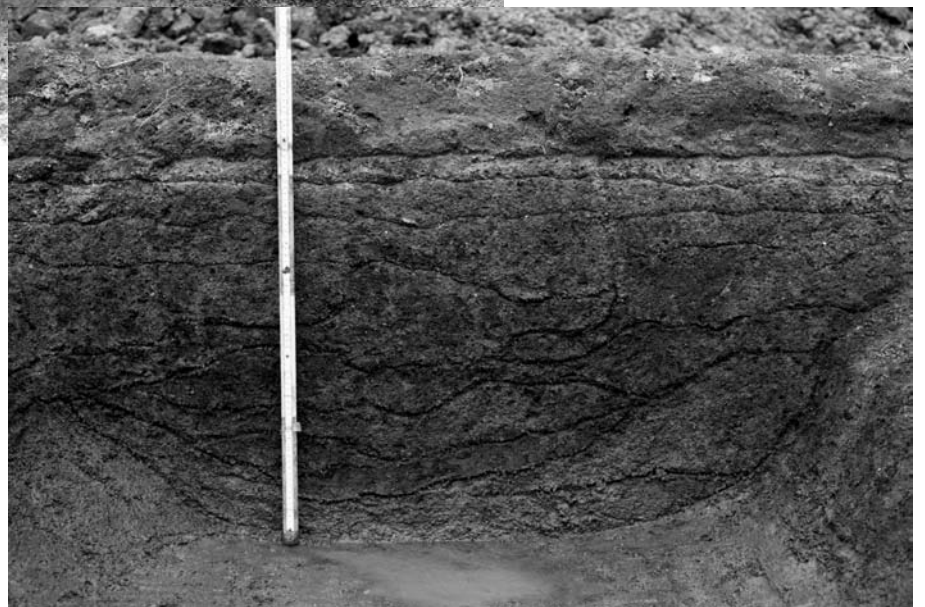
28. 西部完掘状況 東から



29.SD78001 全景 南から



30.SD78001 断面（南壁）北から



31.SD78001 断面（北壁）南から



32. 調査前の状況  
北西から



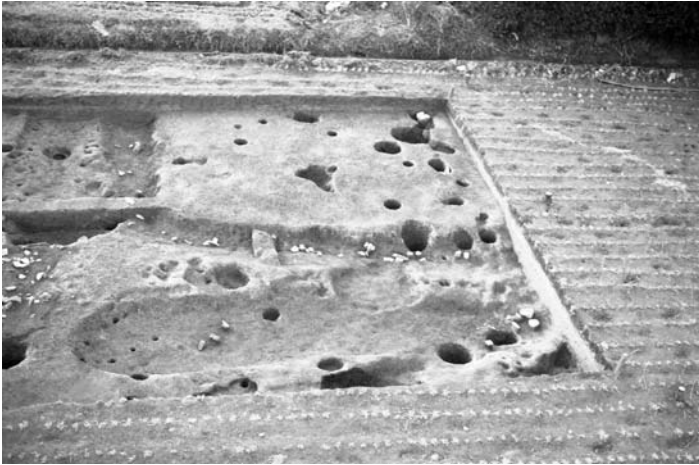
33. トレンチ全景  
北から



34. トレンチ全景  
南から



35.SB78001・SD78003 全景 北から



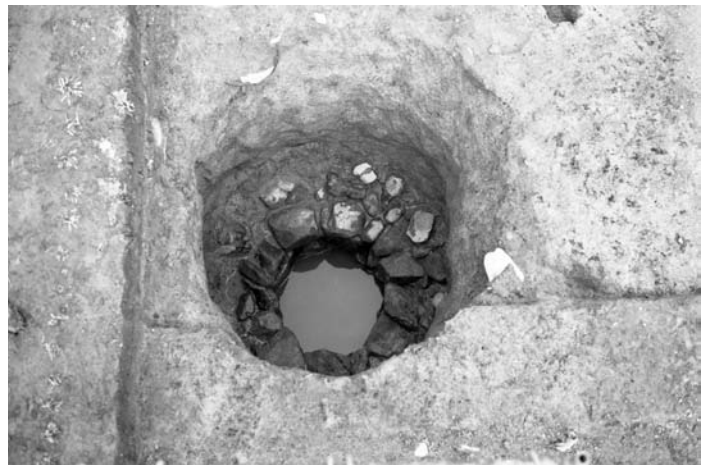
36.SD78006 付近全景 東から



37.SD78006 付近全景 北から



38.SE78001 全景 北から



39.SE78001 下層井戸側の石組 南から



40. 調査前の状況 (奥側の鼓岡社の丘陵) 北西から



41.D トレンチ道路遺構調査状況 南から



42.D トレンチ道路遺構全景 南から



43.D トレンチ道路遺構全景 北から



44.A トレンチ道路遺構全景 北から



45.D トレンチ土層(下部に道路遺構埋土)  
東から



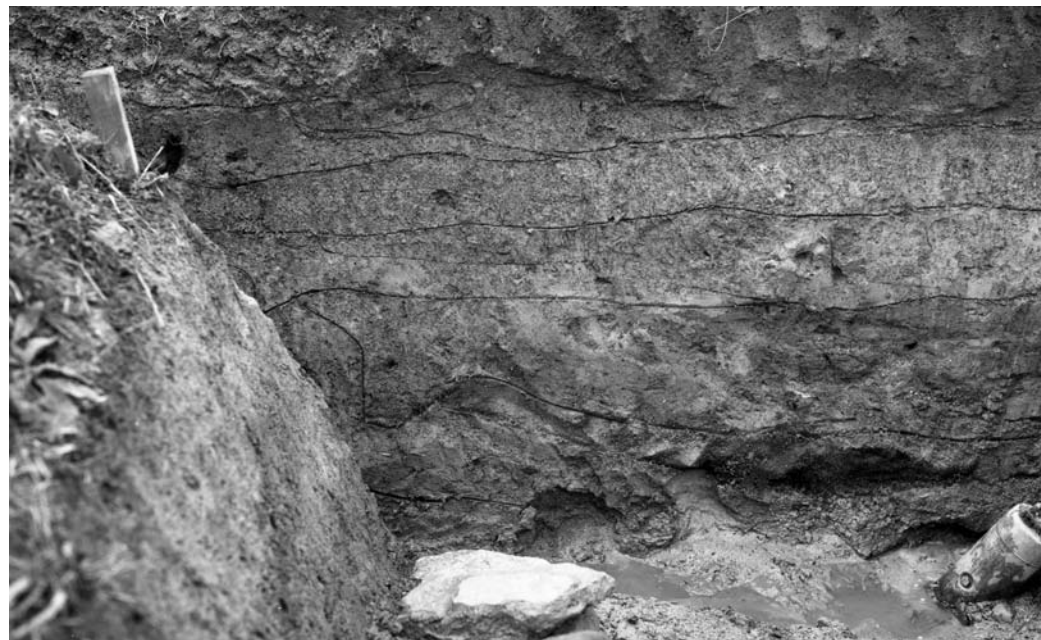
46.D トレンチ土層(下部に道路遺構埋土)  
東から



47.B トレンチ石組遺構 (苑池) 北から



48.B トレンチ石組遺構 (苑池) 西から



49.B トレンチ石組遺構 (苑池) 土層 東から





50. 調査前の状況 (右奥側の鼓岡社叢) 北から



51.F1 西壁土層 東から



52.C1 西壁土層 東から



53.G4・G56 層下位の落ち込み 西から



54.F1 以南6層上面遺構完掘 北から



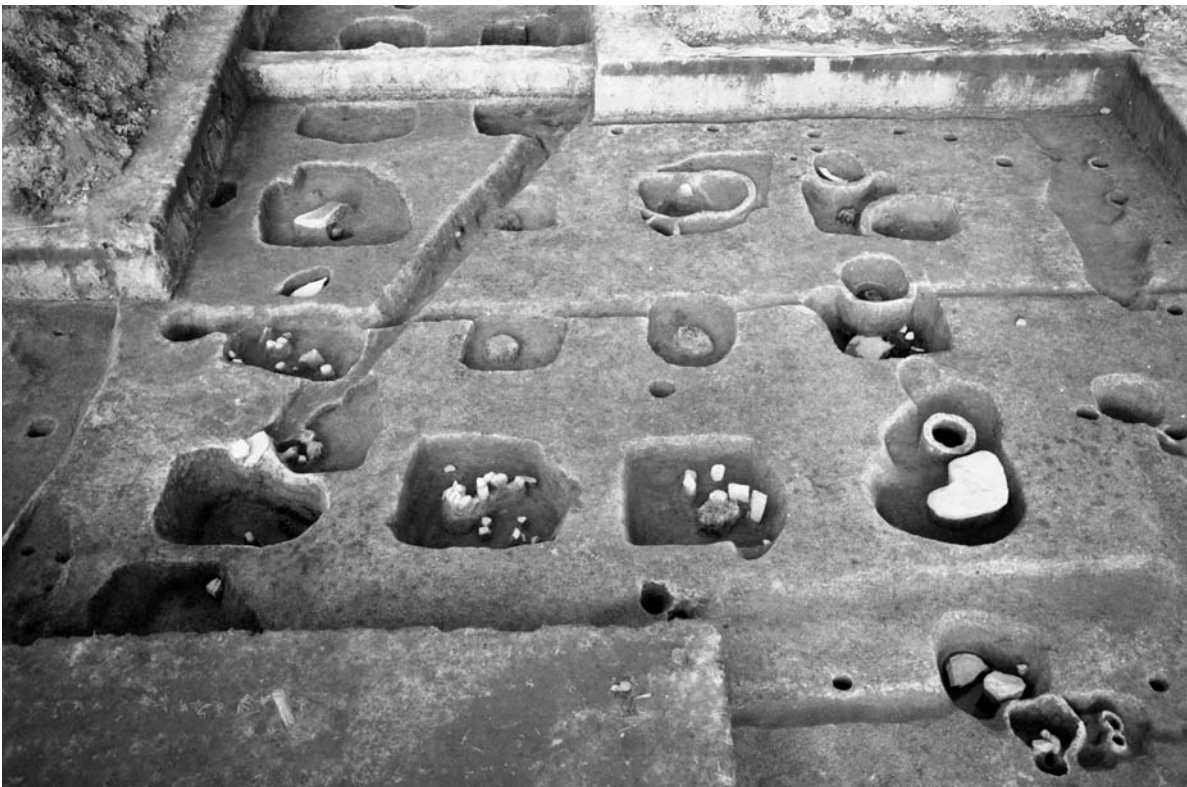
55.SB79001 検出状況 北から



56.SB79001 全景 北から



57.SB79001 全  
景 北西から



58.SB79001 全  
景 西から



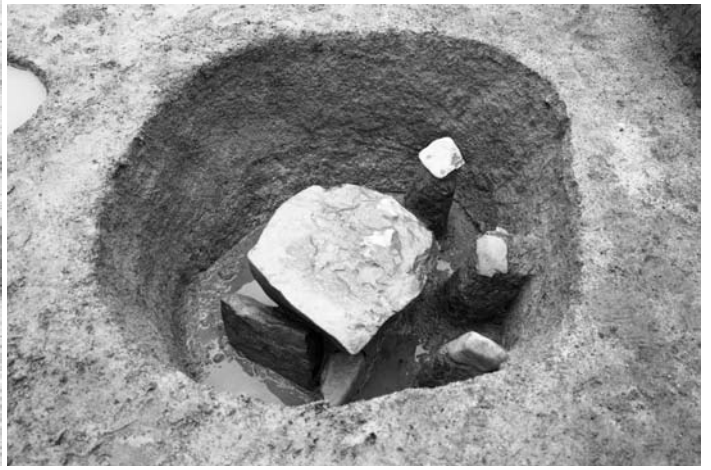
59.SB79001(SP79238) 柱根 北から



60.SB79001(SP79238) 柱根・根石検出 東から



61.SB79001(SP79241) 柱根 東から



62.SB79001(SP79254) 礎石?(石の下に柱根) 北東から



63.SB79001(SP79242) 柱根 西から



64.SB79001(SP79242) 柱根・根石 東から



65.SD79018・79518 全景 南から



66.SE79001・ST79001・79002 全景 北から



67.SE79001 上層の井側と礎石様の大石 北から



69.SE79001 縦板と横木の組合わせ状況



68.SE79001 井側と曲物 南から



70.SE79001 縦板と横木の組合わせ状況



71.SE79001 調査状況



72.A0・A1 築地 (SD80010・80014) 中層完掘状況 北から



73.A0・A1 築地 (SD80010・80014) 下層完掘状況 南から



74.A0 · A1 築地 (SD80010 · 80014) 中層完掘状況 東から



75.A0 · A1 築地 (SD80010 · 80014) 下層完掘状況 東から



76.A0・A1 築地 (SD80010・80014) 完掘状況 南東から



77.A1 築地 (SD80010) 断面 東から

78.A1 築地 (SD80010) 中層土師質土器 (31) 出土状況  
東から







79.C1 築地 (SD80010) 中層瓦出土状況 西から



80.C1 築地 (SD80010) ・SD80009 完掘状況 西から



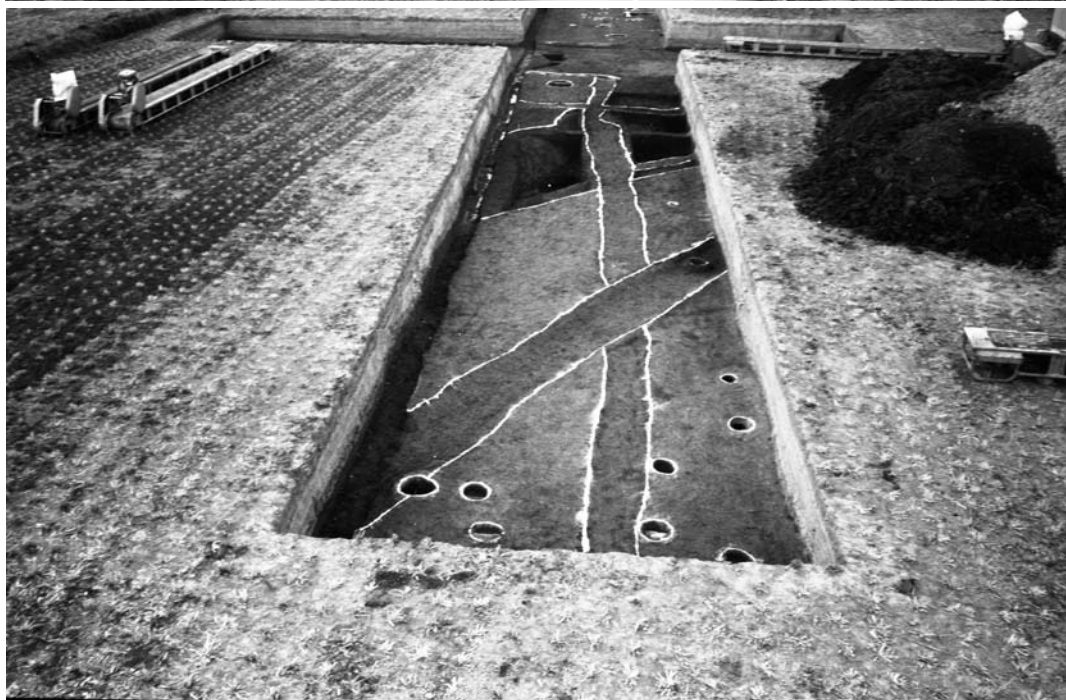
81.C1 築地 (SD80010) 中層瓦 (60) 出土状況



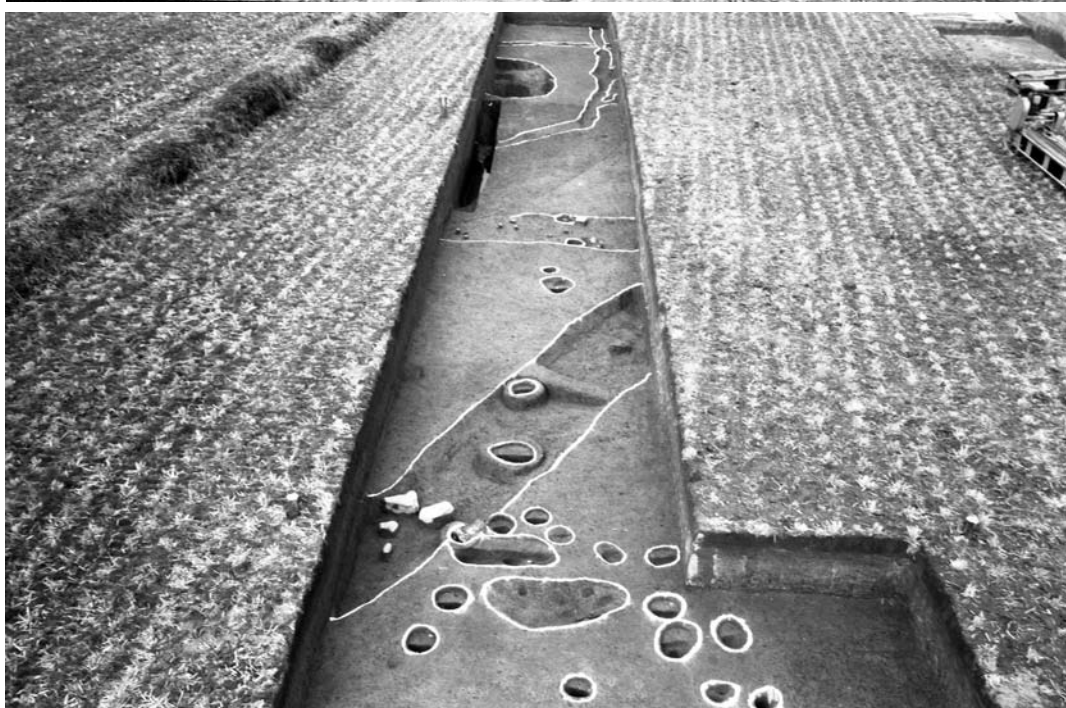
82.A0・A15 層上面検出の柱穴群 南から



83.A3 付近 SD80001・  
80008 完掘状況 南から



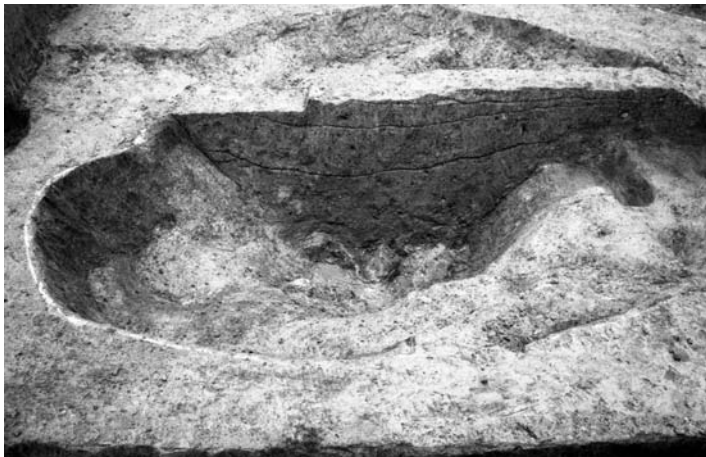
84.A6 付近 SD80002・  
80003 完掘状況 南から



85.A1 付近 SD80002 完掘  
状況 (奥に SE80001) 南  
から



86.SE80001 全景 西から



87.SE80001 上層断面 東から



88.SE80001 上層遺物出土状況 東から



89.SE80001 下層曲物検出状況 西から



90.SE80001 底面の礫群 西から



91.C5区付近 SD80001  
全景 西から



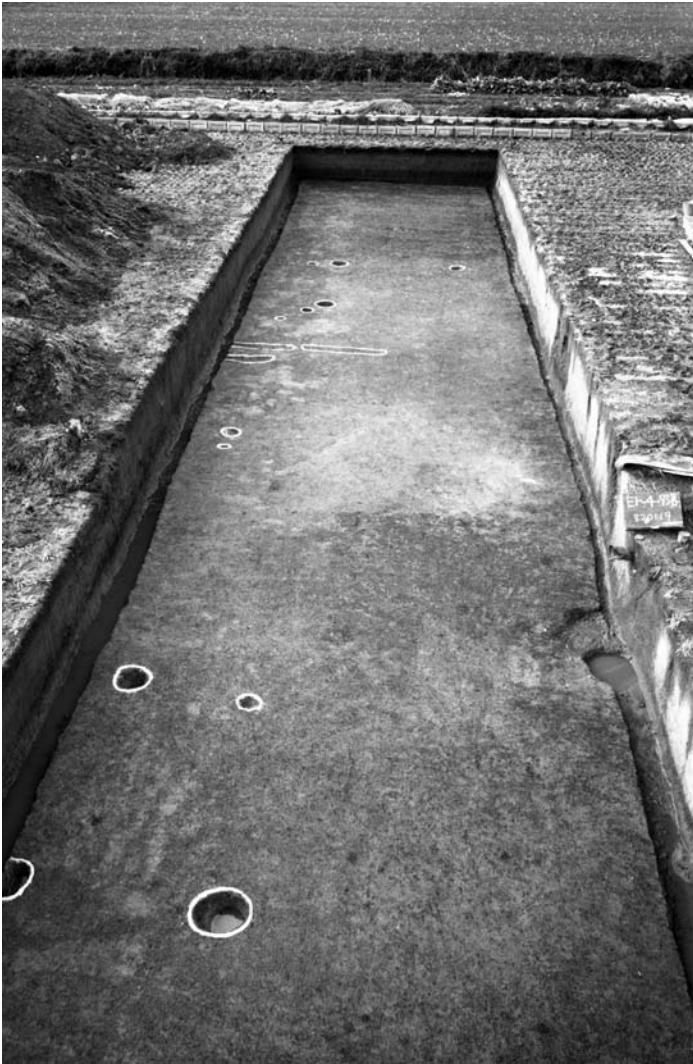
92.C5区付近 SD80001  
断面 西から



93.A10・11区西壁土層 南東から



94.C1区北壁・東壁土層 南から



95.E4 以西完掘状況 東から



96.E5 以南全景 北から



97.K5SD81012 全景 北から



98.G5 東壁土層 西から



99.A5 付近 SD81008 最上層検出状況 東から



101.A5 付近 SD81008 上層遺物出土状況 南東から



102.A5 付近 SD81008 上層完掘状況 東から



100.A5 付近 SD81008 上層検出状況 東から



103.A5 付近 SD81008 下層完掘状況 東から



104.A6・A7SD81008 下層完掘状況 東から



105. 調査区全景 南西から



106. 調査区全景 南から



107. 調査区中央部(東部)全景 北から



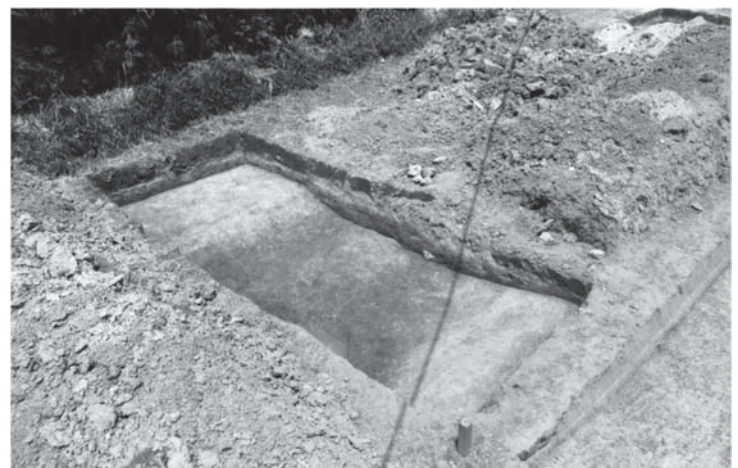
108. 調査区中央部(西部)全景 北から



109.SA84001 全景 北から



110.SA84001 全景 南から



111.SD84001 全景 南東から



112.SD84002 (南部) 全景 南西から



113.SD84002 (南部) 全景 北西から



114.SD84002 (中部) 全景 西から



115.SD84002 (中部) 断面 北から



116.SD84002 (北部) 断面 南から





2-12 凸面



2-12 凹面



2-15



2-13



2-16



2-24



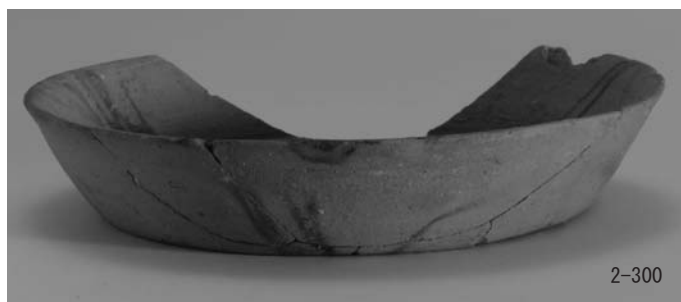
2-17

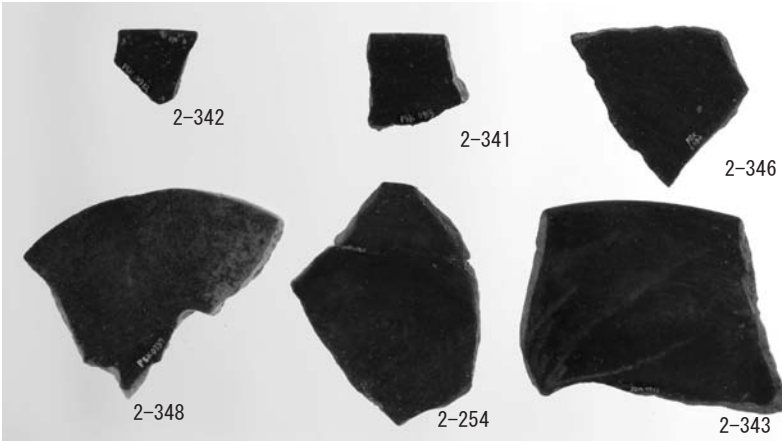
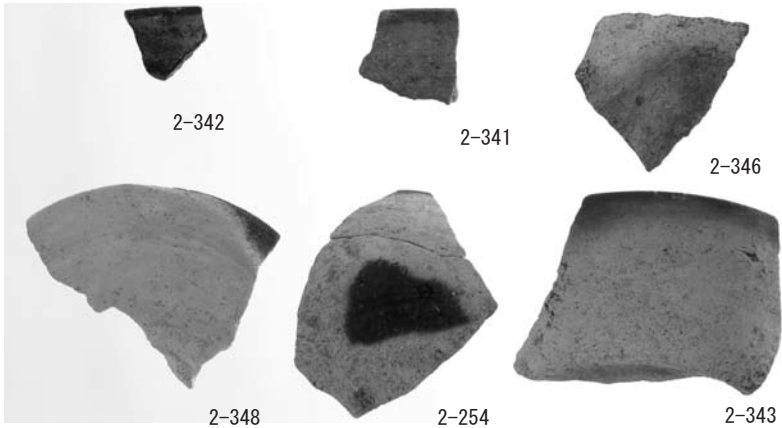


2-73



2-253







2-544



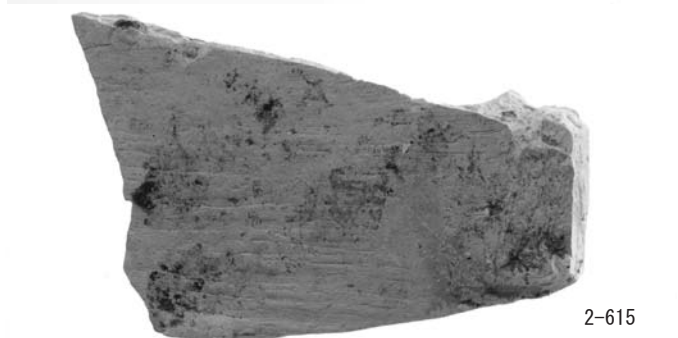
2-529



2-580



2-616



2-615



2-617



2-622



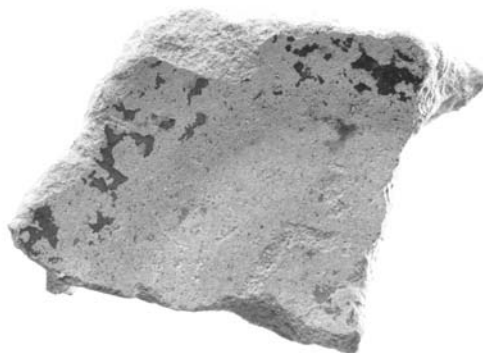
2-625



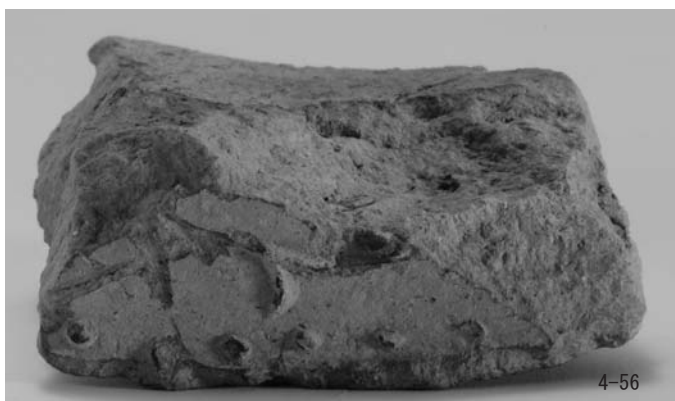
2-633



2-626



6-101



4-56



6-120



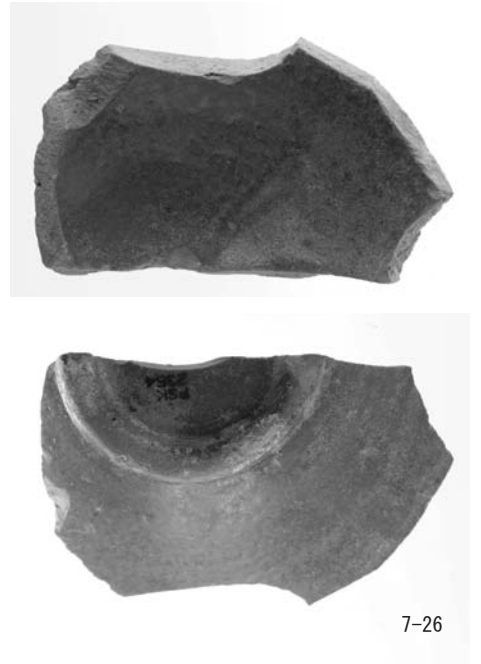
6-125



6-133

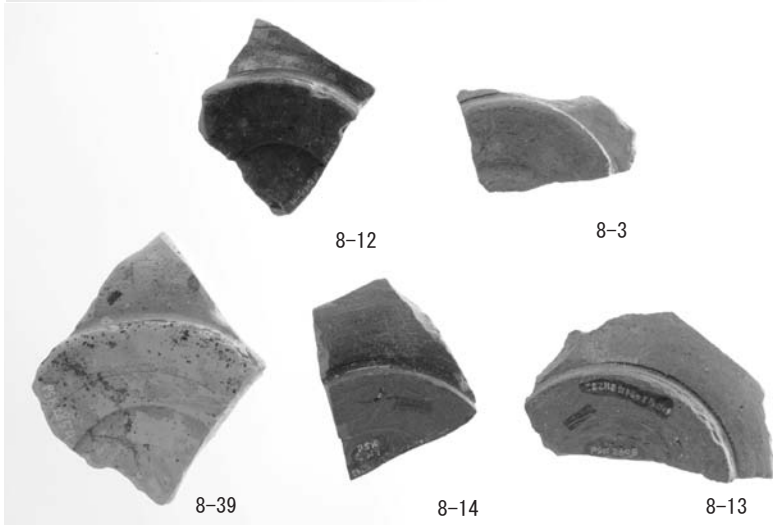
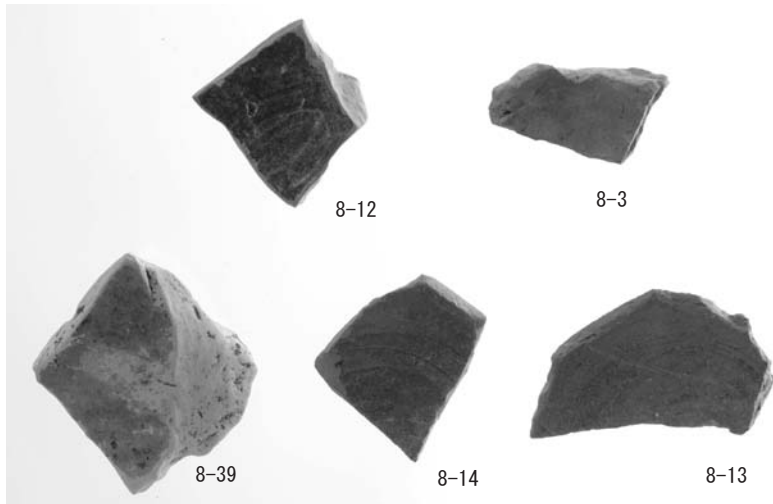


6-132





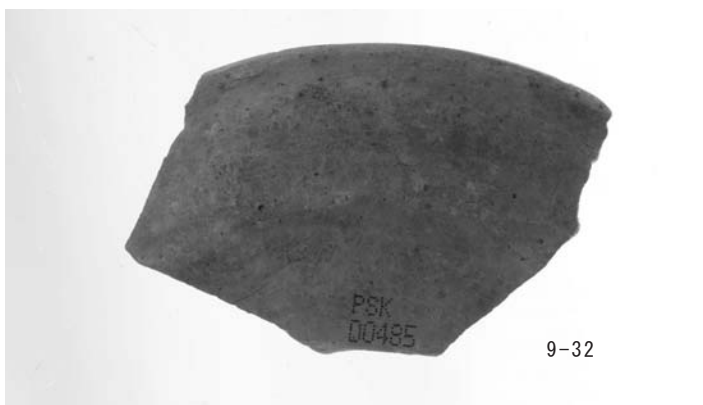
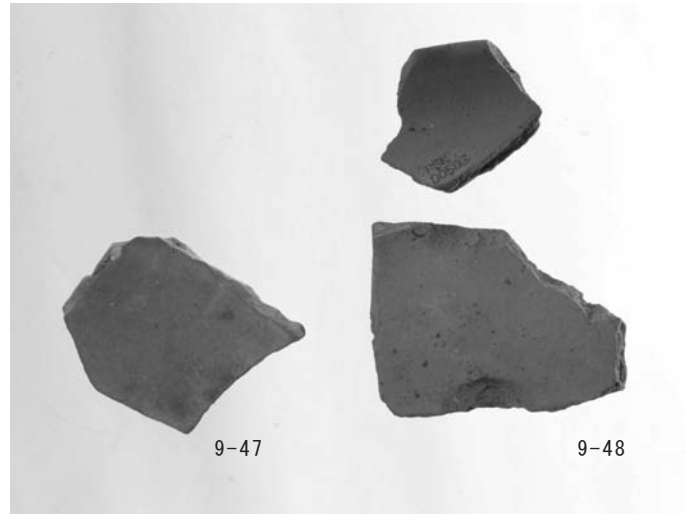
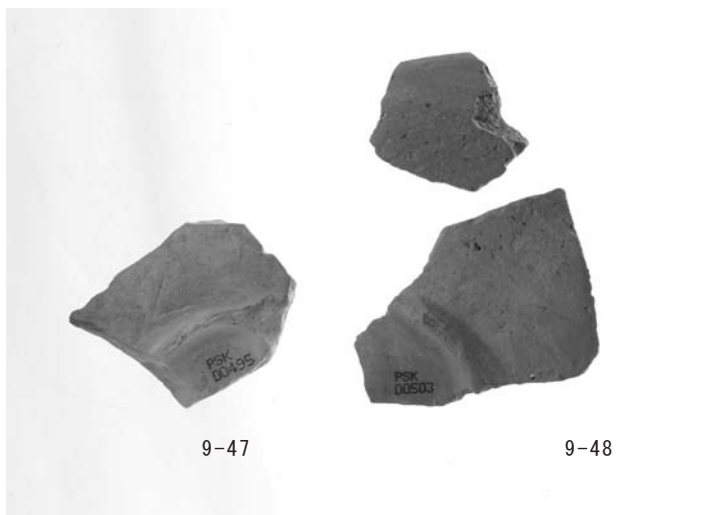
7-45



8-64



8-315





ふりがな	さぬきこくふあと			
書名	讃岐国府跡1			
編著者名	佐藤竜馬 信里芳紀			
編集機関	香川県埋蔵文化財センター			
所在地	〒 762-0024 香川県坂出市府中町南谷 TEL0877-48-2191 FAX0877-48-3249			
発行機関	香川県教育委員会			
発行年月日	平成 28 年3月			
総頁数	目次	本文	挿図枚数	写真枚数
166	8	120	71	175
所収遺跡名	所在地	コード(市町村)	北緯	東経
讃岐国府跡	香川県坂出市府中町 本村	370203	34° 17' 43"	133° 55' 03"
	調査期間	調査面積	調査原因	
	S52 ~ S59	2255 m <sup>2</sup>	遺跡内容確認調査	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
讃岐国府跡	官衙	古代～中世	掘立柱建物・溝他	須恵器・土師器・施釉陶器・ 中国産磁器・瓦・墨書土器 他
<p>要約</p> <p>香川県教育委員会が昭和 52 年度から昭和 59 年度に実施した讃岐国府跡の確認調査報告書。包蔵地西半部にあたる約 80,000 m<sup>2</sup>の中で 8 地点の確認調査を行い、各地点より 7 世紀から 13 世紀を中心とした国府関連の遺構・遺物を検出した。注目される遺構として、2 次調査の 9 世紀前葉の遺物を含む段状遺構、5 次調査の道路状遺構、6 次調査の大型総柱建物、8 次調査の築地遺構、9 次調査の大溝・柵列がある。出土遺物は、円面硯・風字硯・須恵器転用硯や施釉陶器、越州窯青磁を先駆けとする古代後半から中世前半までは輸入陶磁器が多量に出土している。これらの出土量は讃岐国内で屈指を誇るものであり、讃岐国府跡の存在を示すものとして注目される。以上の遺構・遺物の分布状況から、包蔵地西半部の国衙配置や変遷を推定し、輸入陶磁器の検討から讃岐国府跡をめぐる古代末から中世前半の流通を検討し、古代末～中世前半における国府の機能を推定した。</p>				

讃岐国府跡1

平成 28 年 3 月

編集 香川県埋蔵文化財センター

〒 762-0024 香川県坂出市

府中町字南谷 5001-4

TEL0877-48-2191

FAX0877-48-3249

印刷 株式会社美巧社